

れいわ ねん ど だい かい おう め し しょう が い し ゃ ち い き じ り つ し えん き よう ぎ かい し だい  
令和5年度第2回青梅市障害者地域自立支援協議会 次第

れいわ ねん がつ にち すい  
令和5年8月23日(水)  
ご ご じ じ  
午後2時～午後4時  
し やく し ょ かい かい ぎ し つ  
市役所2階201・202会議室

1 かい かい  
開会

2 あい さ つ  
あいさつ

3 ほう こ く じ こ う  
報告事項

(1) おう め し ぎ ゃ く たい はい ぐ う し ゃ ぼ う り よ く ぼ う し かん じ ょ う れ い し こ う  
青梅市虐待・配偶者暴力の防止に関する条例の施行について

(資料 1-1)

(資料 1-2)

(2) し な い ぎ ゃ く たい つ う ほう と う じ ょ う き よ う たい お う  
市内における虐待通報等の状況および対応について

(資料 2-1)

(資料 2-2)

(3) おう め し しょう が い し ゃ け い か く さ く て い き そ ち ょ う さ け つ か ほう こ く  
青梅市障害者計画策定のための基礎調査結果報告について

(資料 3-1)

(資料 3-2)

(4) そ の た  
その他

5 そ の た  
その他

き ょ う ぎ かい かい さい に つ い て  
協議会の開催日程について

(資料 4)

だい かい おう め し しょう が い し ゃ ち い き じ り つ し えん き よう ぎ かい  
第3回青梅市障害者地域自立支援協議会

れいわ ねん がつ にち  
令和5年12月11日(月) 午後2時～午後4時

おう め し や く し ょ かい かい ぎ し つ  
青梅市役所2階 202・203会議室

へい よ う かい さい や て い  
オンライン併用開催予定

い じ ょ う  
以上

青梅市虐待・配偶者暴力の防止に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待および配偶者からの暴力の防止に関する基本理念を定め、青梅市(以下「市」という。)、市民および関係団体の責務ならびに地域社会の役割を明らかにすることにより、虐待・配偶者暴力のない誰もが安心して暮らせるまちを実現することを目的とする。

(用語の定義)

第2条 この条例において次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 児童虐待 児童虐待の防止等に関する法律(平成12年法律第82号)第2条各号に掲げる行為をいう。
- (2) 高齢者虐待 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(平成17年法律第124号)第2条第4項および第5項に掲げる行為(同条第6項の規定により高齢者とみなして、養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する規定が適用される場合を含む。)をいう。
- (3) 障がい者虐待 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(平成23年法律第79号)第2条第6項、第7項および第8項に掲げる行為をいう。
- (4) 虐待 児童虐待、高齢者虐待および障がい者虐待をいう。
- (5) 配偶者からの暴力 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(平成13年法律第31号)第1条第1項に規定する配偶者からの暴力(同法第28条の2において準用する場合を含む。)をいう。
- (6) 虐待・配偶者暴力 虐待および配偶者からの暴力をいう。
- (7) 虐待・配偶者暴力の防止 虐待・配偶者暴力の予防、早期発見その他虐待・配偶者暴力の防止ならびに虐待を受けた被養護者等または被害者および虐待をした養護者等または被害者の配偶者に対する支援をいう。
- (8) 被養護者等 次に掲げる者をいう。

ア 児童(児童虐待の防止等に関する法律第2条に規定する児童をい

う。)

イ 高齢者（高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律第2条第1項の高齢者（同条第6項の規定により高齢者とみなされる者を含む。）をいう。）

ウ 障がい者（障害者基本法（昭和45年法律第84号）第2条第1号に規定する障害者をいう。）

(9) 被害者 配偶者からの暴力を受けた者をいう。

(10) 養護者等 次に掲げる者をいう。

ア 児童を現に監護する者

イ 高齢者を現に養護する者

ウ 障がい者を現に養護する者

(11) 市民 市の区域内（以下「市内」という。）に在住し、在勤し、または在学する個人および市内に事務所もしくは事業所を有する個人、法人または団体をいう。

(12) 関係団体 市内の学校、社会福祉施設、医療機関その他市内において虐待・配偶者暴力の防止に業務上関係のある団体または障がい者を雇用する事業主をいう。

(13) 関係行政機関 児童相談所、警察署その他虐待・配偶者暴力の防止に係る業務を行う公的機関をいう。

(14) 地域社会 市内における自然的基盤および社会的基盤の上で、多様な主体が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動を営むことによって成立する社会をいう。

2 この条例にいう「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含むものとする。

（基本理念）

第3条 虐待・配偶者暴力は、被養護者等および被害者の人権を著しく侵害する行為であり、何人もこれを決して行ってはならず、その防止に取り組まなければならない。

2 虐待・配偶者暴力の防止に関する施策および活動の推進は、生命または身体の安全と尊厳を守ることを最優先に、被養護者等または被害者の権利利益が最大限に確保されることおよび養護者等または配偶者に対する支援が重視されることを旨として、行われなければならない。

(市の責務)

第4条 市は、前条に規定する基本理念にのっとり、市民、関係団体、関係行政機関および地域社会と連携を図りながら、虐待・配偶者暴力の防止に関する施策を総合的に推進しなければならない。

2 市は、虐待・配偶者暴力の防止に関する正しい知識の普及および虐待・配偶者暴力の防止に関する意識の高揚を図るため、様々な機会をとらえて啓発活動を行うものとする。

(市民の責務)

第5条 市民は、虐待・配偶者暴力の防止の重要性に対する理解を深め、虐待・配偶者暴力のないまちを実現するために積極的な役割を果たすよう努めるとともに、市が実施する虐待・配偶者暴力の防止に関する施策に協力するよう努めなければならない。

(関係団体の責務)

第6条 関係団体は、虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、その早期発見に努めなければならない。

2 関係団体は、市が実施する虐待・配偶者暴力の防止に関する施策に協力するよう努めなければならない。

(地域社会の役割)

第7条 地域社会の構成員は、虐待・配偶者暴力の防止に関し、地域社会全体で取り組まなければならない課題であることを認識し、虐待・配偶者暴力の防止に対する理解を深め、被養護者等および配偶者のいる家庭が孤立することがないよう積極的に関わり合いを持つよう努めるとともに、声かけ、見守りを行う等市内において被養護者等および配偶者が安心して生活することができるための環境づくりに努めなければならない。

(虐待・配偶者暴力防止推進月間)

第8条 市は、広く虐待・配偶者暴力の防止についての理解と協力を求めるため、虐待・配偶者暴力防止推進月間を設ける。

2 前項の虐待・配偶者暴力防止推進月間は、毎年11月とする。

3 市は、虐待・配偶者暴力防止推進月間において、その趣旨にふさわしい事業を実施するものとする。

(公表)

第9条 市は、毎年度、虐待・配偶者暴力の防止に関する施策の実施状況

を公表するものとする。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

青梅市虐待・配偶者暴力の防止に関する条例 概要版

**目 的**

虐待・配偶者暴力のない誰もが安心して暮らせるまちの実現

**基本理念**

- ① 虐待・配偶者暴力は人権侵害行為であり、いかなる理由があっても禁止するものであり、その防止に取り組まなければなりません。(第 3 条 1)
- ② 児童・高齢者・障がい者の命と尊厳を守ることを最優先とし、虐待を受けた人の利益・人権をできる限り尊重します。また、虐待をした保護者・介護者・配偶者にも必要な支援を行います。(第 3 条 2)
- ③ 市、市民、関係団体、地域社会が、それぞれの責務または役割を自覚し、協力して解決に取り組めます。(第 4～7 条)

**市を挙げて取り組むべきこと**

**【市の責務】**

- 虐待・偶者暴力防止対策を推進します(第 4 条 1)
- 正しい知識の普及や意識高揚を図るために啓発活動を行います(第 4 条 2)」

**【市民の責務】**

- 虐待・配偶者暴力防止への理解を深めます(第 5 条)

**【関係団体の責務】**

- 虐待の早期発見に努めます(第 6 条 1)
- 市の施策に協力します(第 6 条 2)

**【地域社会の役割】**

- 児童・高齢者・障害者のいる家庭と積極的に関わり合いを持ち、安心して生活できる環境づくりに努めます。(第 7 条)

**虐待・配偶者暴力防止推進月間**

11 月に虐待・配偶者暴力防止推進月間を設け、その趣旨にふさわしい事業を実施することにより、広く理解と協力を求めていきます。(第 8 条)

**公 表**

毎年度、虐待・配偶者暴力の防止に関する施策の実施状況を公表します。(第 9 条)

資料 2-1、2-2 省略（虐待案件資料）

## 青梅市障害者計画策定のための基礎調査 結果概要

### 医療や健康について

- 現在の健康状態について、いずれの区分においても「医院、病院に通院している」が最も高くなっています。全体と比較して「健康である」は知的障害で高く、難病で低い傾向にあります。(問13)
- 医院、病院を利用したり、自宅で治療を受けたりするときに、困ったことについて、いずれの区分においても「医院、病院が近所がない」が最も高くなっていますが、全体と比較して、知的障害で「障害についての専門医療機関がない」、難病で「医療や訓練、健康に関する相談が気軽にできない」が高い傾向にあります。(問15)
- 過去1年間の健康診断の受診状況は、精神障害、自立支援医療で、全体と比較して「健康診断を受けていない」が高い傾向にあります。健康診断を受けなかった理由は、「その他」を除くと「会社、作業所をやめたから」「学校を卒業したから」の割合が高く、所属先がなくなった際に健康診断の受診が難しくなる傾向がうかがえます。(問16、17)

### 住まいについて

- 現在のお住まいについて、いずれの区分においても「家族の持家(一戸建て住宅)」が最も高くなっており、精神障害、自立支援医療では「民間賃貸アパート・マンション」、知的障害では「グループホーム等の共同生活の場」が全体と比較して高い傾向にあります。前回の調査より、知的障害のグループホーム利用の割合が高くなっているのは、近隣に知的障害者向けのグループホームが増加したものと考えられます。(問21)
- 手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「自宅で家族等とひとりで暮らしたい」が最も高くなっており、精神障害、自立支援医療では「アパートなどで一人で暮らしたい」、知的障害では「グループホーム等で共同生活がしたい」がその他の区分に比べて高く、現在のお住まいの傾向と類似しています。(問23)

### 支援の状況について

- 日常生活において何らかの支援が必要な方は回答者全体の60.2%となっており、前回(平成30年度)の調査結果と比較して、やや減少しています。また、何らかの支援が必要な方の介護を主に担っている方は、難病では「配偶者」、その他の区分においては「親」が最も高くなっています。(問24、24(1))  
また、主な介護者の年齢について、難病で52.7%、自立支援医療で37.5%が70歳以上であると回答しており、全体と比較して高齢の割合が高くなっています。全体では、前回の調査では60代の割合が最も高かったのに対し、今回の調査では70代の割合が最も高くなっており、介護者の高齢化が進んでいると考えられます。(問24(2))

## 日中の活動、外出について

- 障がいのある人が働くために必要な環境として、「周囲が自分の障がいを理解してくれること」が最も高くなっており、知的障害では「職場に良き指導者や先輩がいること」、精神障害では「勤務時間や日数を調整できること」、自立支援医療では「障がいに合った仕事であること」が全体と比較して高い傾向にあります。(問 30)
- 日常的な通園、通学、仕事等を除いたひと月の外出頻度について、どの区分も「月に 10 日以上」、「月に5～9日」の合計が5割を超えており、半数以上の方が週1回以上程度の外出をしていることがうかがえます。(問 32)  
また、「月に 10 日以上」、「月に5～9日」または「月に1～4日」外出している人が、外出の際に不便に感じることとしては、「特にない」が最も多くなっていますが、「電車などの交通機関の利用が不便」、「外出にお金がかかりすぎる」が上位となっています。前回の調査では、「電車などの交通機関の利用が不便」に次いで、「歩道に問題が多い」が上位でした。(問 32(3))

## 障害福祉サービスについて

- 日常生活を営む上で必要とする支援として、どの区分でも「障害福祉サービスについての情報提供、相談」が最も高くなっています。知的障害では「スポーツ教室、芸術・文化講座などの開催」「障がい児の緊急一時保護」、精神障害では「就労移行支援施設等の充実」が全体と比較して高い傾向にあります。前回の調査でも、全ての区分において「障害福祉サービスについての情報提供、相談」が最も高くなっています。(問 34)
- 市内の相談機関に相談したいこととして、全体では「特にない」が最も高く、次いで「福祉サービスの利用に関すること」の割合が高くなっています。また、精神障害、自立支援医療では、ほとんどの項目において、相談したいと回答した割合が、全体の結果と比較して高い傾向にあります。このことから、精神障害と自立支援医療では、その他の区分と比較して、相談したいことが多く、多岐に渡っていると考えられます。前回の調査では、知的障害と精神障害において「福祉サービスの利用に関すること」の割合が最も高く、全体としても「福祉サービスの利用に関すること」の割合が、今回と比較して高い傾向にありました。(問 38)

## 地域とのつながりについて

- ふだん地域の方々とお付き合いがあるかについて、全体では「ない」と答えた方が多く、特に知的障害、精神障害、自立支援医療は高い傾向にあります。(問 42)  
また、「ない」と答えた方の今後のお付き合いの希望としては、「現状のままでよい」が「地域の方々とお付き合いをしたい」を上回り、すべての区分で約8割を超えています。前回の調査でも同様の傾向でした。(問 43)

## 差別の解消や権利擁護について

- 日常生活の中で障がい者への差別や偏見を感じる可能性があるかについて、知的障害では「常を感じる」と「時々感じる」の合計が 36.5%と、全体と比較して高い傾向にあります。前回の調査と比較して、「常を感じる」と「時々感じる」の合計の割合は、全体や精神障害では低くなっていますが、知的障害においては前回よりも高くなっています。(問 46)

## 災害時の対応について

- 地震や台風などの災害が発生した場合、避難できるかについて、知的障害では「介助者(家族)がいれば避難できる」が6割台と高い傾向にあり、その他の区分では「一人で避難できる」が最も高くなっています。(問 53)
- 災害に対する準備として、「介助者(家族)がいれば避難できる」割合の高い知的障害では、「手助けをしてくれる人を頼んでいる」が全体と比較すると高い傾向にありますが、前回の調査と比較すると低くなっています。また、知的障害、精神障害、自立支援医療では「特に準備していない」が最も高くなっており、災害に対する準備をしていない人の割合が前回の調査よりも高くなっています。(問 54)
- 地域などの防災訓練に参加した経験については、いずれの区分においても「ない」が最も高く、精神障害、自立支援医療では「防災訓練が行われてるかわからない」と回答した割合が全体と比較して高い傾向にあります。前回の調査と比較して、「ない」および「防災訓練が行われてるかわからない」と回答した割合が増加傾向にあります。(問 56)

## 福祉施策について

- 行政に特に力を入れてほしい障がい者福祉施策は、すべての区分で「各種相談・情報提供の充実」が最も高くなっています。前回の調査結果と比較して、「各種相談・情報提供の充実」、「就労支援事業所など福祉的就労の場の拡充」と回答した方の割合が増加しています。(問 58)

青梅市の  
障害者計画策定のための基礎調査  
結果報告書  
(抜粋)

# 目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	3
1. あなた自身のことについて.....	6
2. 持っている手帳、受給者証について.....	9
3. 認定状況について.....	16
4. 暮らしの状況について.....	19
5. 医療や健康について.....	22
6. 住まいについて.....	31
7. 支援の状況について.....	34
8. 日中の活動について.....	43
9. 外出状況について.....	49
10. 障害福祉サービスについて.....	55
11. 障害福祉サービスなどの情報提供・相談支援について.....	80
12. 地域とのつながりについて.....	84
13. 差別の解消や権利擁護について.....	86
14. 災害時の対応について.....	91
15. 福祉施策について.....	98

# I アンケート調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、障がいのある方の生活状況や必要とされているサービス、取組等をお伺いし、「第6期青梅市障害者計画・第7期青梅市障害福祉計画・第3期青梅市障害児福祉計画」策定の基礎資料として活用することを目的に実施しました。

## 2. 調査概要

調査対象者	身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳、難病医療費助成受給者証をお持ちの方(無作為抽出)
調査期間	令和5年5月12日(金)～5月29日(月)
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式

## 3. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000件	914件	45.7%

## 4. 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇本報告書は、それぞれの手帳所持者別にクロス集計をかけることで、身体障害者手帳所持者・愛の手帳(療育手帳)所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者・難病医療費助成受給者証所持者・自立支援医療制度の利用者を別々に集計しています。よって、手帳を重複して所持している方は手帳ごとに計上されています。
- ◇複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において、身体障害者手帳所持者を〔身体障害〕、愛の手帳(療育手帳)所持者を〔知的障害〕、精神障害者保健福祉手帳所持者を〔精神障害〕、難病医療費助成受給者証の所持者を〔難病〕、自立支援医療制度の利用者を〔自立支援医療〕と表記しています。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

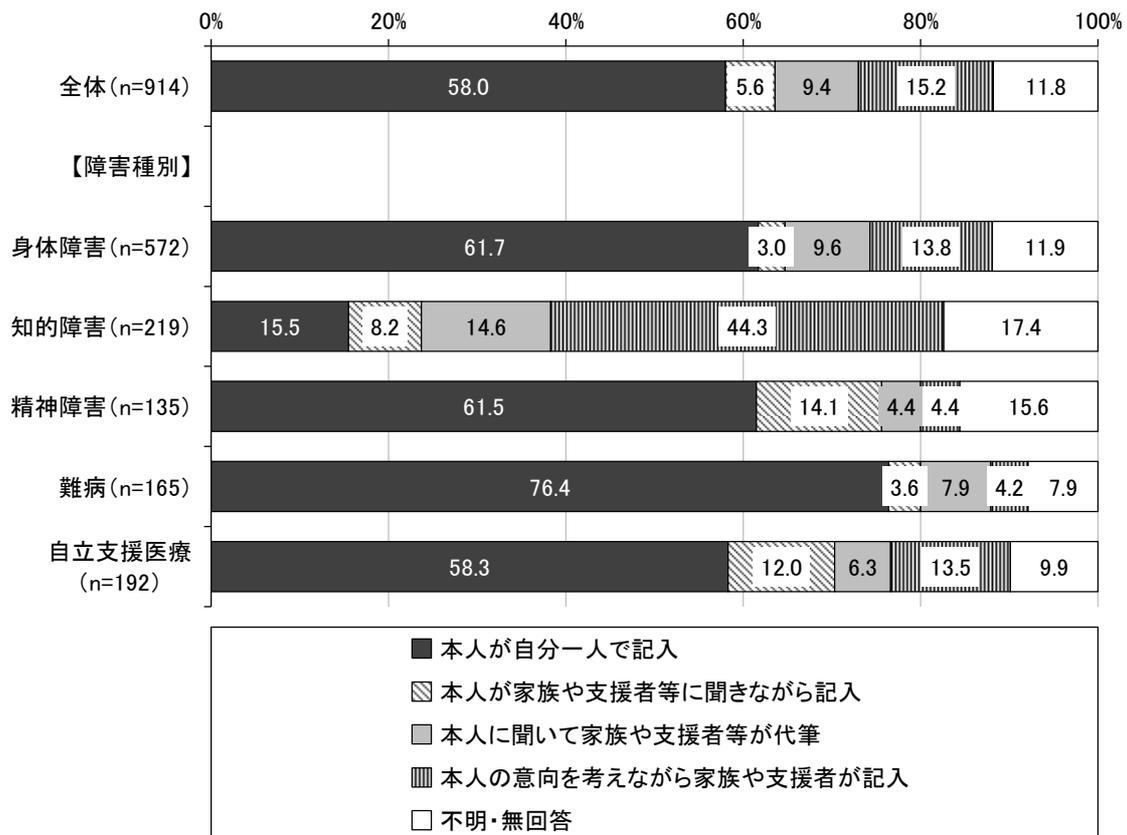
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答割合の高いもの**第1位**に網掛けをしています。
- ◇集計対象者総数（n）が少ない（10件未満）クロス集計については、分析文の記載を省略しています。

## Ⅱ アンケート調査結果

★この調査票はどなたが記入されますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「本人が自分一人で記入」が58.0%と最も高く、次いで「本人の意向を考えながら家族や支援者が記入」が15.2%、「本人に聞いて家族や支援者等が代筆」が9.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「本人の意向を考えながら家族や支援者が記入」、その他の区分においては「本人が自分一人で記入」が最も高くなっています。

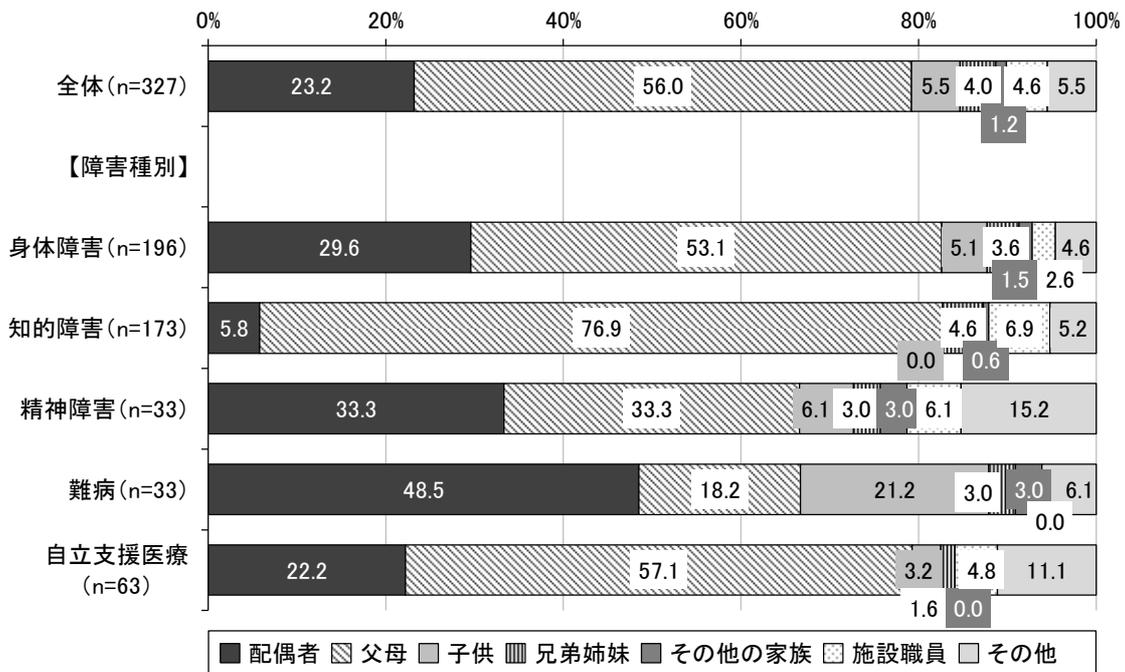


この調査票の記入について「本人に聞いて家族や支援者等が代筆」「本人の意向を考えながら家族や支援者が記入」に○をつけた方

★本人から見て、記入者はどなたですか。（番号に○印を1つだけつけてください。）

全体では、「その他」を除き「父母」が56.0%と最も高く、次いで「配偶者」が23.2%、「子供」が5.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、精神障害では「配偶者」「父母」、難病では「配偶者」、その他の区分においては「父母」が最も高くなっています。



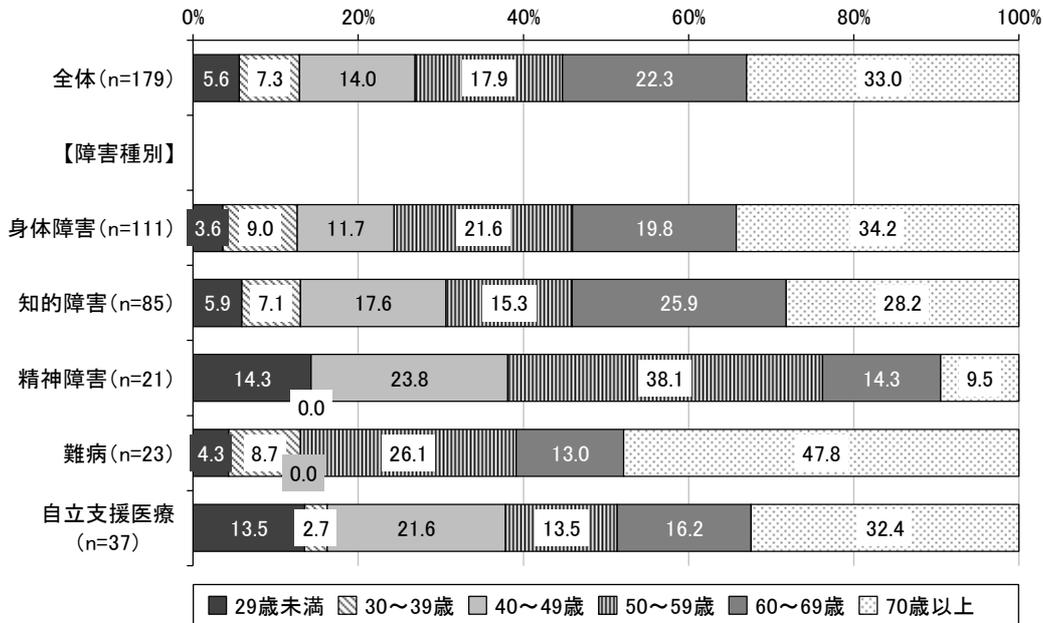
※不明・無回答を除く

この調査票の記入について「本人に聞いて家族や支援者等が代筆」「本人の意向を考えながら家族や支援者が記入」に○をつけた方

★差し支え無ければ、年齢と性別をご記入ください。（記入者）

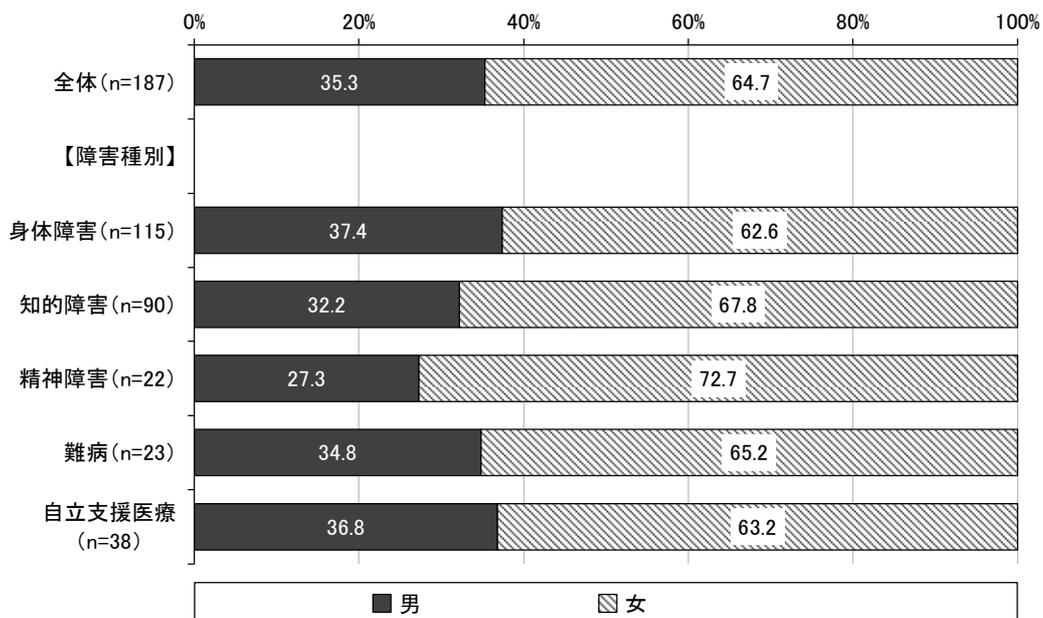
記入者の年齢についてみると、全体では「70歳以上」が33.0%と最も高く、次いで「60～69歳」が22.3%、「50～59歳」が17.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、精神障害では「50～59歳」、その他の区分においては「70歳以上」が最も高くなっています。



※不明・無回答を除く

記入者の性別についてみると、全体では「男」が35.3%「女」が64.7%となっています。手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「女」が高くなっています。

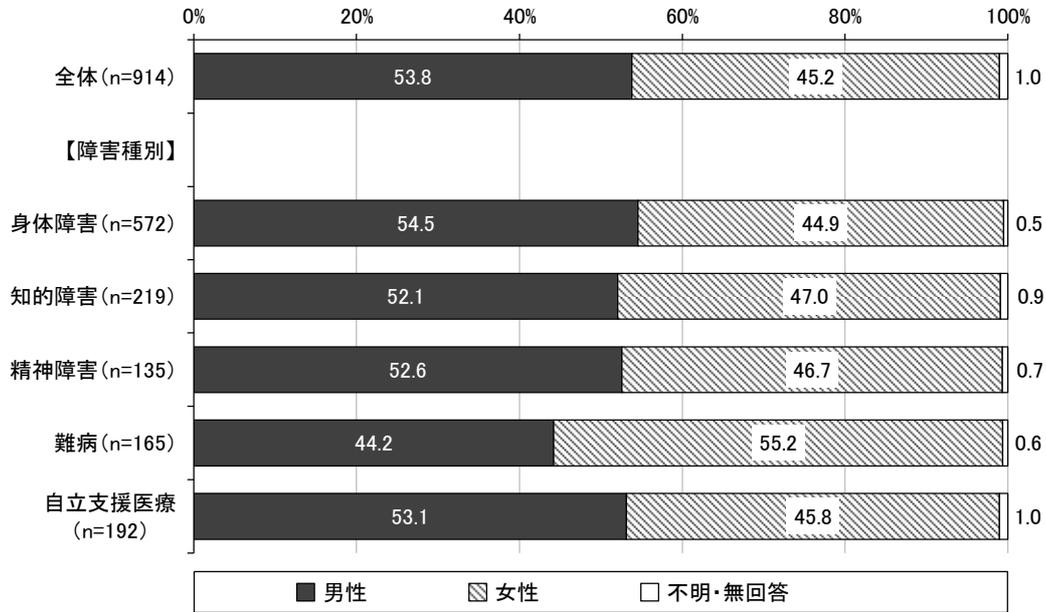


※不明・無回答を除く

# 1. あなた自身のことについて

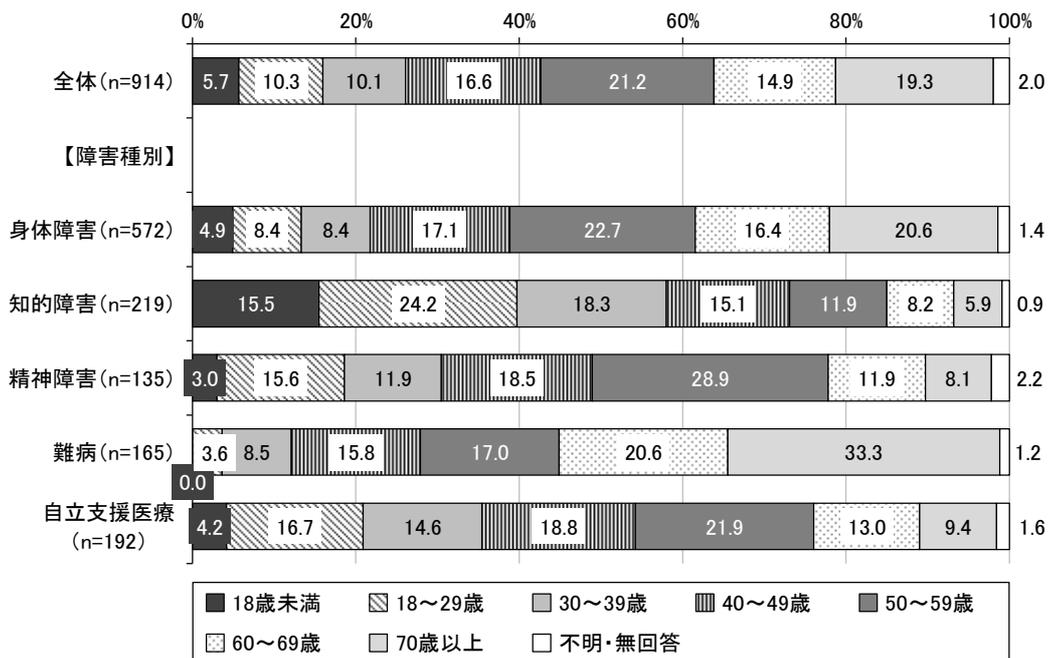
## 問1 あなたの性別と年齢（令和5年4月1日現在）をおうかがいします。

性別についてみると、全体では「男性」が53.8%、「女性」が45.2%となっています。  
 手帳の種類・診断別にみると、難病では「女性」、その他の区分においては「男性」が高くなっています。



年齢についてみると、全体では「50～59歳」が21.2%と最も高く、次いで「70歳以上」が19.3%、「40～49歳」が16.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「18～29歳」、難病では「70歳以上」、その他の区分においては「50～59歳」が最も高くなっています。



**問2 あなたは、どの地区にお住まいですか。(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「長淵地区」が16.1%と最も高く、次いで「大門地区」が15.0%、「河辺地区」が13.3%となっています。

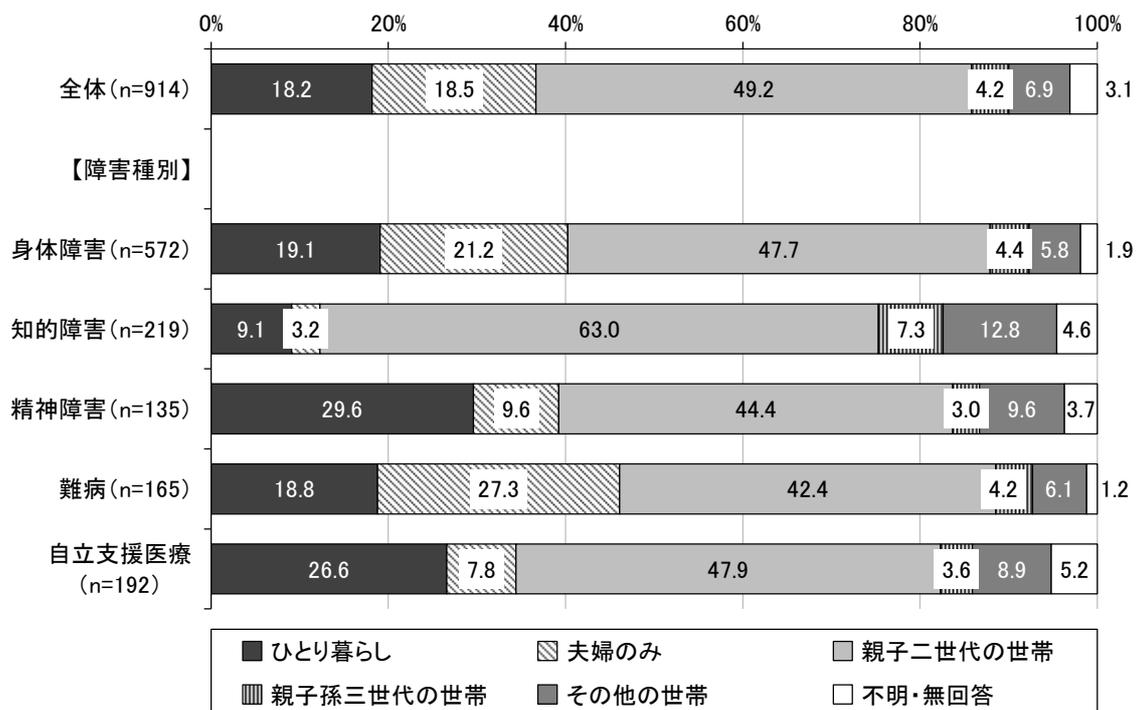
手帳の種類・診断別にみると、精神障害では「河辺地区」、その他の区分においては「長淵地区」が最も高くなっています。

単位：%		青梅地区	長淵地区	大門地区	梅郷地区	沢井地区	小曾木地区	成木地区	東青梅地区	新町地区	河辺地区	今井地区	不明・無回答
全体(n=914)		8.2	<b>16.1</b>	15.0	8.4	2.2	1.6	1.6	11.3	12.7	13.3	8.4	1.1
障害種別	身体障害(n=572)	8.2	<b>15.2</b>	14.7	8.9	2.6	1.2	1.4	12.8	13.8	12.6	7.7	0.9
	知的障害(n=219)	9.1	<b>18.3</b>	16.0	11.0	0.9	1.8	3.2	8.7	10.0	10.5	9.6	0.9
	精神障害(n=135)	8.1	14.1	17.0	8.1	0.7	2.2	2.2	10.4	6.7	<b>19.3</b>	10.4	0.7
	難病(n=165)	9.7	<b>18.8</b>	12.7	8.5	2.4	1.8	1.2	9.7	15.8	10.9	8.5	0.0
	自立支援医療(n=192)	6.3	<b>18.2</b>	16.7	8.3	0.0	1.6	1.6	8.9	10.9	16.7	9.9	1.0

**問3 あなたの世帯の家族構成をおうかがいします。(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「親子二世帯の世帯」が49.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が18.5%、「ひとり暮らし」が18.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「親子二世帯の世帯」が最も高くなっています。



問3で「親子二世代の世帯」に○印をつけた方

親子二世代の世帯（人数）

全体では「3人」が48.9%と最も高く、次いで「4人」が23.6%、「2人」が13.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「3人」が最も高くなっています。

単位：%		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	不明・無回答
全体 (n=450)		1.1	13.8	<b>48.9</b>	23.6	5.3	1.8	1.1	4.4
障害種別	身体障害 (n=273)	1.1	13.6	<b>49.8</b>	24.2	4.8	1.5	0.7	4.4
	知的障害 (n=138)	0.7	11.6	<b>47.1</b>	24.6	5.1	3.6	0.7	6.5
	精神障害 (n=60)	0.0	16.7	<b>41.7</b>	21.7	3.3	5.0	3.3	8.3
	難病 (n=70)	1.4	8.6	<b>50.0</b>	21.4	8.6	1.4	0.0	8.6
	自立支援医療 (n=92)	0.0	18.5	<b>45.7</b>	22.8	4.3	2.2	1.1	5.4

問3で「親子孫三世代の世帯」に○印をつけた方

親子孫三世代の世帯（人数）

全体では「4人」が36.8%と最も高く、次いで「6人」が21.1%、「5人」が15.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、知的障害では「4人」が最も高くなっています。

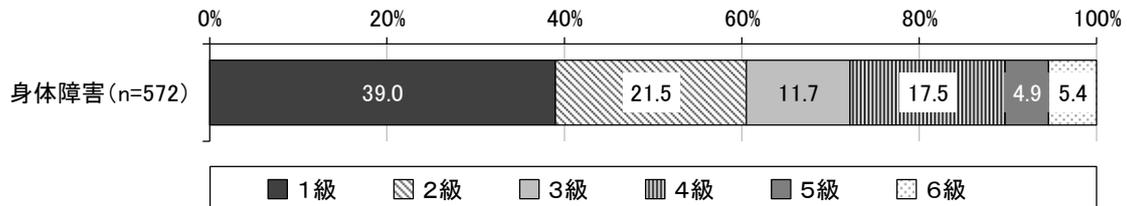
単位：%		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	不明・無回答
全体 (n=38)		2.6	0.0	2.6	<b>36.8</b>	15.8	21.1	5.3	5.3	10.5
障害種別	身体障害 (n=25)	4.0	0.0	0.0	<b>36.0</b>	4.0	32.0	4.0	8.0	12.0
	知的障害 (n=16)	0.0	0.0	0.0	<b>43.8</b>	25.0	12.5	6.3	6.3	6.3
	精神障害 (n=4)	0.0	0.0	0.0	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病 (n=7)	0.0	0.0	14.3	<b>28.6</b>	14.3	<b>28.6</b>	14.3	0.0	0.0
	自立支援医療 (n=7)	0.0	0.0	0.0	<b>57.1</b>	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0

## 2. 持っている手帳、受給者証について

《身体障害者手帳をお持ちの方におうかがいします》

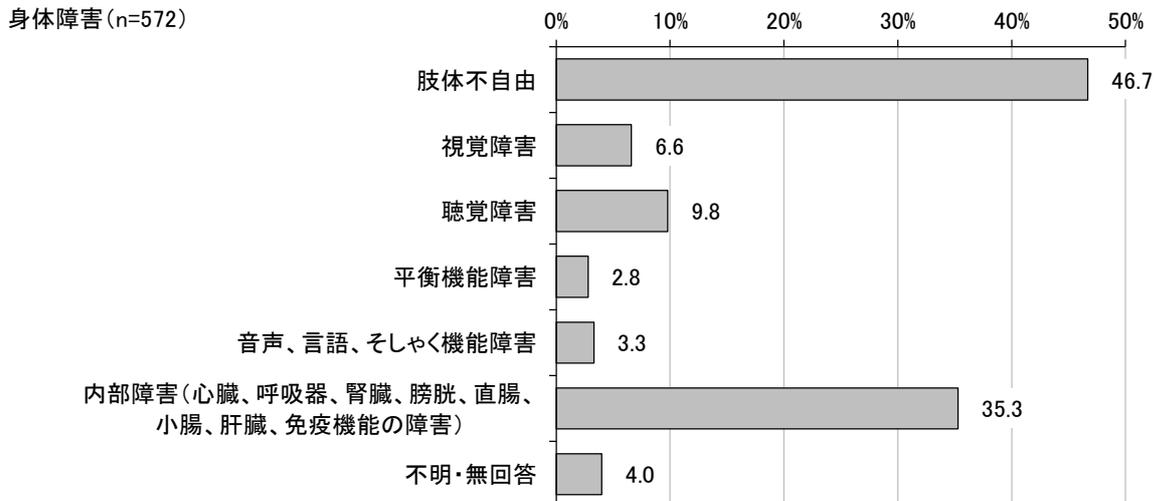
問4 身体障害者手帳の現在の所持状況についておうかがいします。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)

「1級」が39.0%と最も高く、次いで「2級」が21.5%、「4級」が17.5%となっています。



問4 (1) 手帳に記載された障害の内容はどれですか。  
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

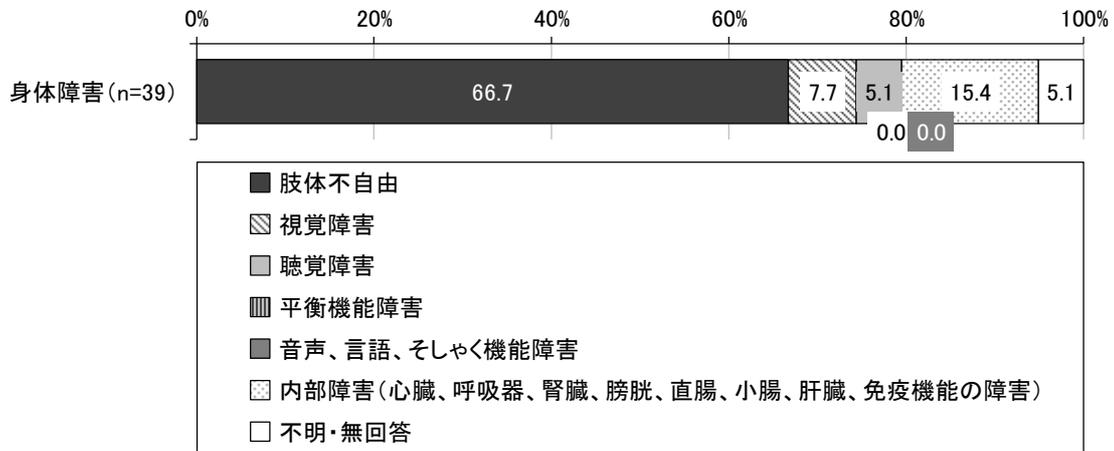
「肢体不自由」が46.7%と最も高く、次いで「内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、膀胱、直腸、小腸、肝臓、免疫機能の障害)」が35.3%、「聴覚障害」が9.8%となっています。



問4（1）で2つ以上に○印をつけた方

問4（2）主な障害を1つご記入ください。

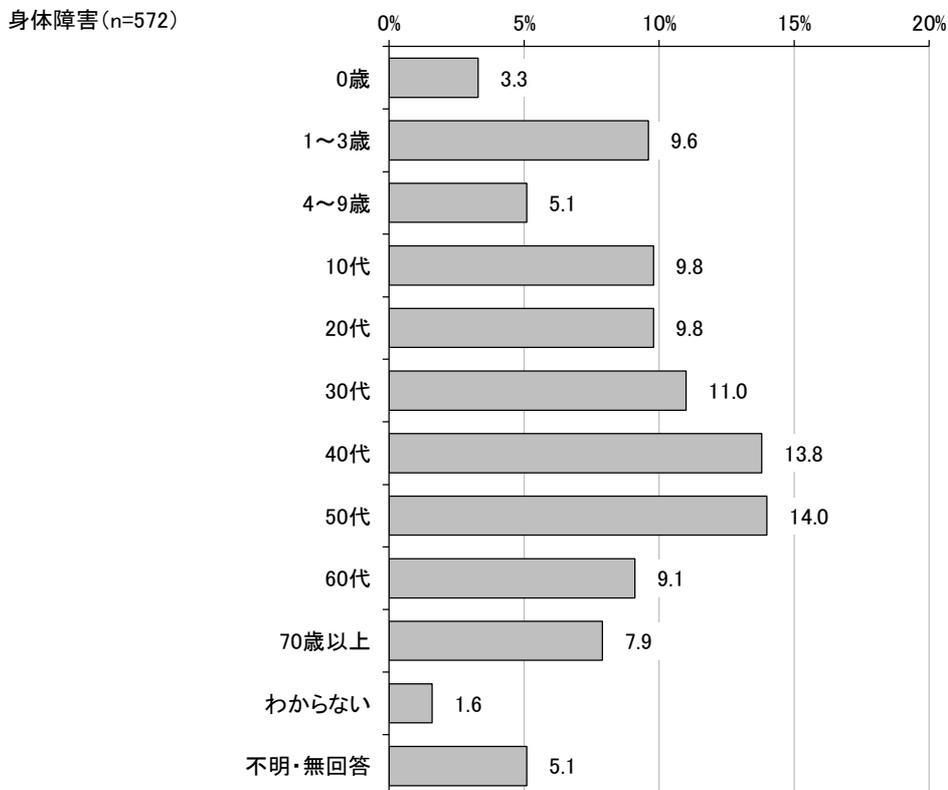
「肢体不自由」が66.7%と最も高く、次いで「内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、膀胱、直腸、小腸、肝臓、免疫機能の障害)」が15.4%、「視覚障害」が7.7%となっています。



問4（3）身体障害者手帳を初めて取得したのは何歳ごろですか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

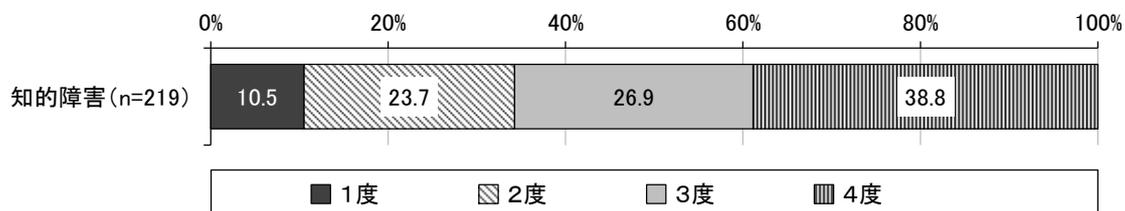
「50代」が14.0%と最も高く、次いで「40代」が13.8%、「30代」が11.0%となっています。



《愛の手帳をお持ちの方におうかがいします》

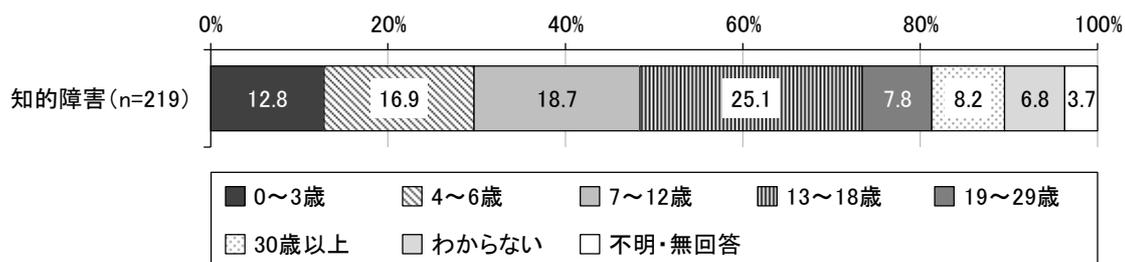
問5 愛の手帳の現在の所持状況についておうかがいします。  
 (番号に○印を1つだけつけてください。)

「4度」が38.8%と最も高く、次いで「3度」が26.9%、「2度」が23.7%となっています。



問5 (1) 愛の手帳を初めて取得したのは何歳ごろですか。  
 (番号に○印を1つだけつけてください。)

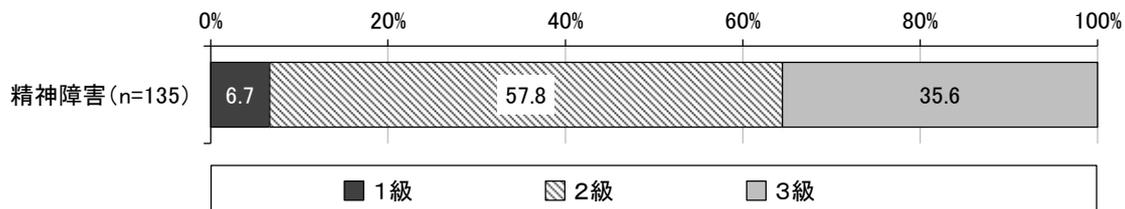
「13～18歳」が25.1%と最も高く、次いで「7～12歳」が18.7%、「4～6歳」が16.9%となっています。



《精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方におうかがいします》

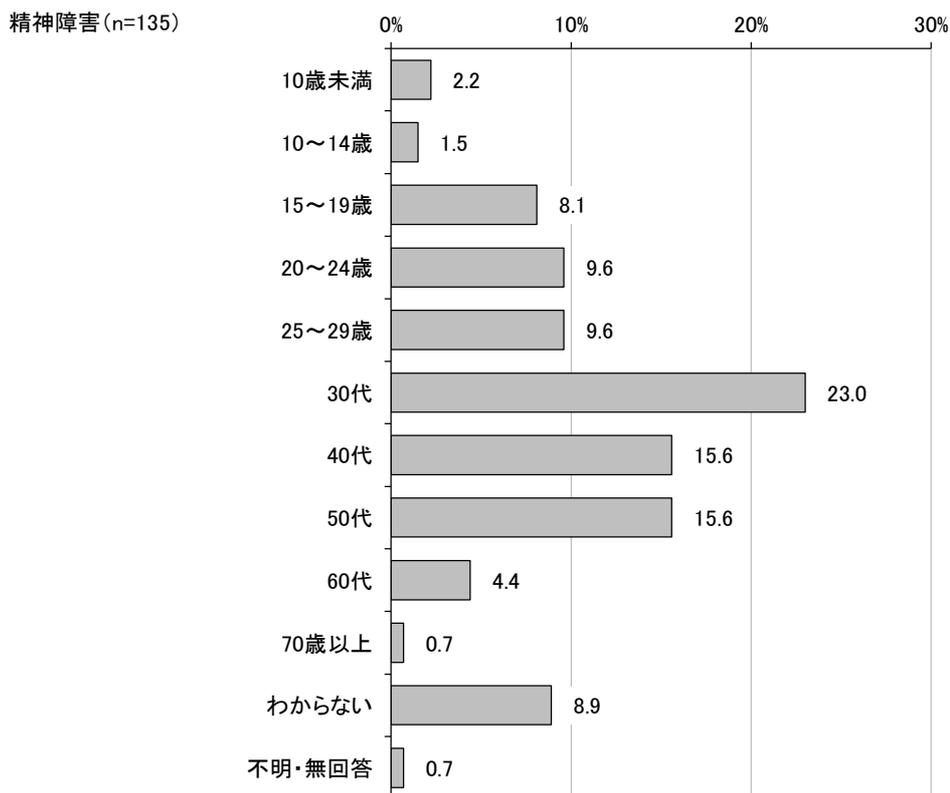
問6 精神障害者保健福祉手帳の現在の所持状況についておうかがいします。  
 (番号に○印を1つだけつけてください。)

「2級」が57.8%と最も高く、次いで「3級」が35.6%、「1級」が6.7%となっています。



問6 (1) 精神障害者保健福祉手帳を初めて取得したのは何歳ごろですか。  
 (番号に○印を1つだけつけてください。)

「30代」が23.0%と最も高く、次いで「40代」「50代」が15.6%、「20～24歳」「25～29歳」が9.6%となっています。



《難病医療費助成受給者証をお持ちの方におうかがいします》

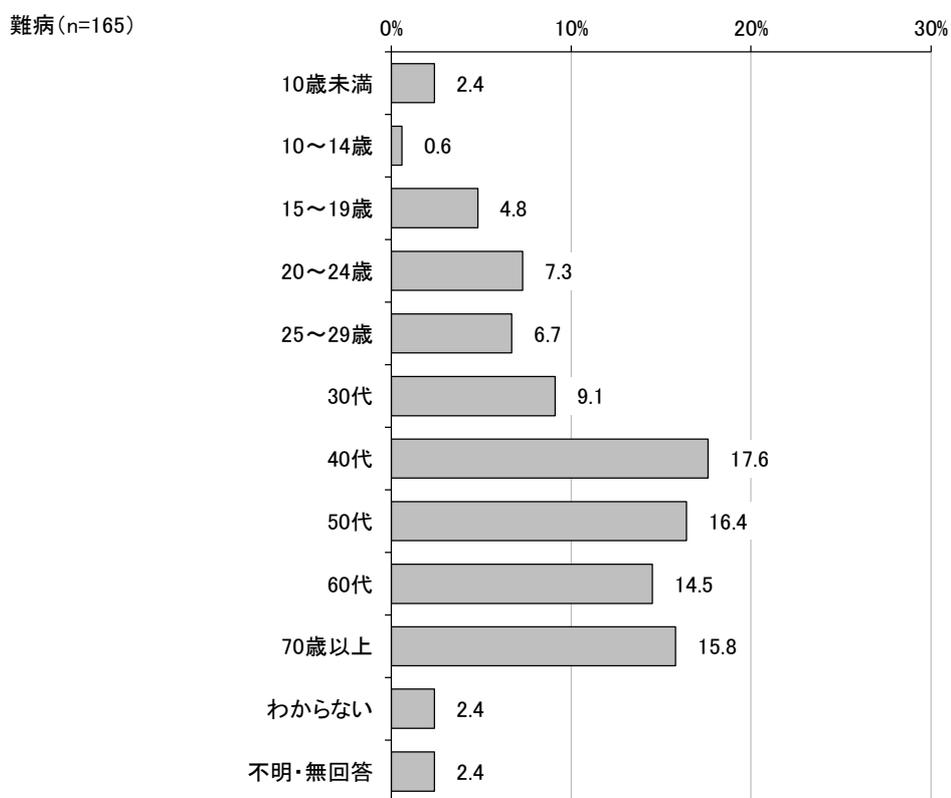
問7 現在り患している難病名を記入してください。

「潰瘍性大腸炎」が25件と最も高く、次いで「パーキンソン病」が16件、「全身性エリテマトーデス」が14件となっています。その他の疾患名については以下の通りです。

疾患名	件数	疾患名	件数
潰瘍性大腸炎	25	筋萎縮性側索硬化症	1
パーキンソン病	16	肺動脈性肺高血圧症	1
全身性エリテマトーデス	14	肥厚性皮膚骨膜炎	1
全身性強皮症	8	ファロー四徴症	1
もやもや病	8	広範脊柱管狭窄症	1
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	7	巨細胞性動脈炎	1
クローン病	7	シャルコー・マリー・トゥース病	1
網膜色素変性症	7	原発性硬化性胆管炎	1
特発性間質性肺炎	6	脊髄性筋萎縮症	1
後縦靭帯骨化症	4	天疱瘡	1
下垂体前葉機能低下症	4	自己免疫性溶血性貧血	1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	ミトコンドリア病	1
重症筋無力症	3	バージャー病	1
皮膚筋炎/多発性筋炎	3	ウェルナー症候群	1
一次性ネフローゼ症候群	3	肥大型心筋症	1
IgA 腎症	3	フェニルケトン尿症	1
特発性大腿骨頭壊死症	3	高安動脈炎	1
筋ジストロフィー	3	ラスマッセン脳炎	1
自己免疫性肝炎	3	多系統萎縮症	1
多発性硬化症/視神経脊髄炎	2	原発性胆汁性胆管炎	1
シェーグレン症候群	2	全身性アミロイドーシス	1
黄色靭帯骨化症	2	原発性免疫不全症候群	1
下垂体性 ADH 分泌異常症	2	顕微鏡的多発血管炎	1
多発性嚢胞腎	2	慢性血栓性肺高血圧症	1
ベーチェット病	2	好酸球性副鼻腔炎	1
		悪性関節リウマチ	1
		成人スチル病	1

**問8 難病の診断を受けたのはいつですか。(番号に○印を1つだけつけてください。)**

「40代」が17.6%と最も高く、次いで「50代」が16.4%、「70歳以上」が15.8%となっています。

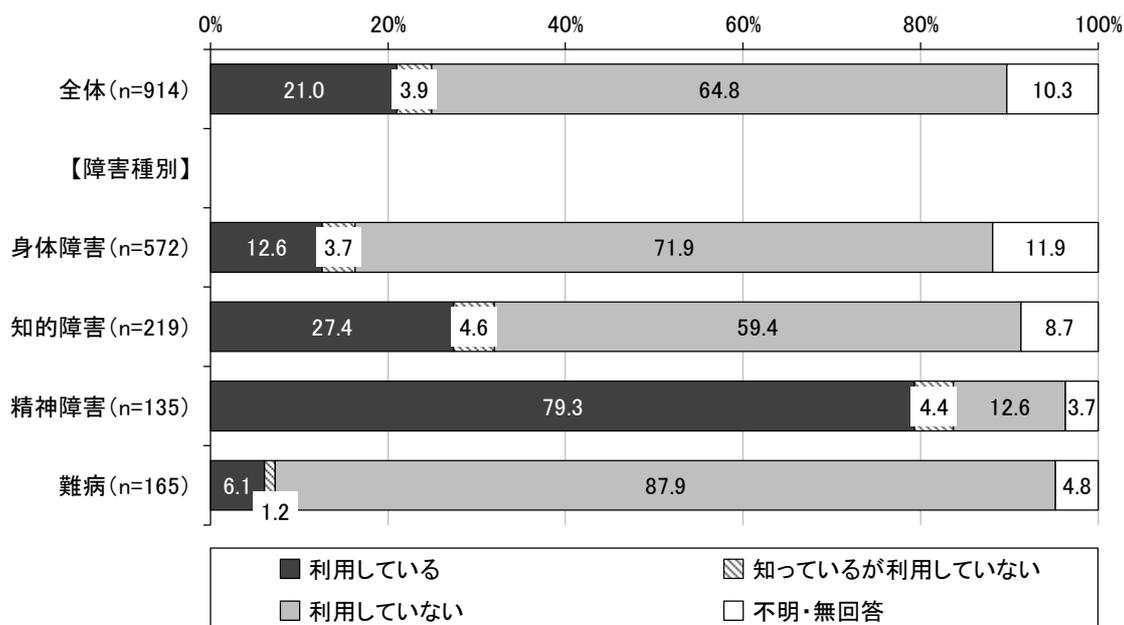


《全員の方におうかがいします》

問9 自立支援医療（精神通院医療、更生医療、育成医療）制度を利用していますか。  
 （番号に○印を1つだけつけてください。）

全体では「利用していない」が64.8%と最も高く、次いで「利用している」が21.0%、「知っているが利用していない」が3.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、精神障害では「利用している」、その他の区分においては「利用していない」が最も高くなっています。

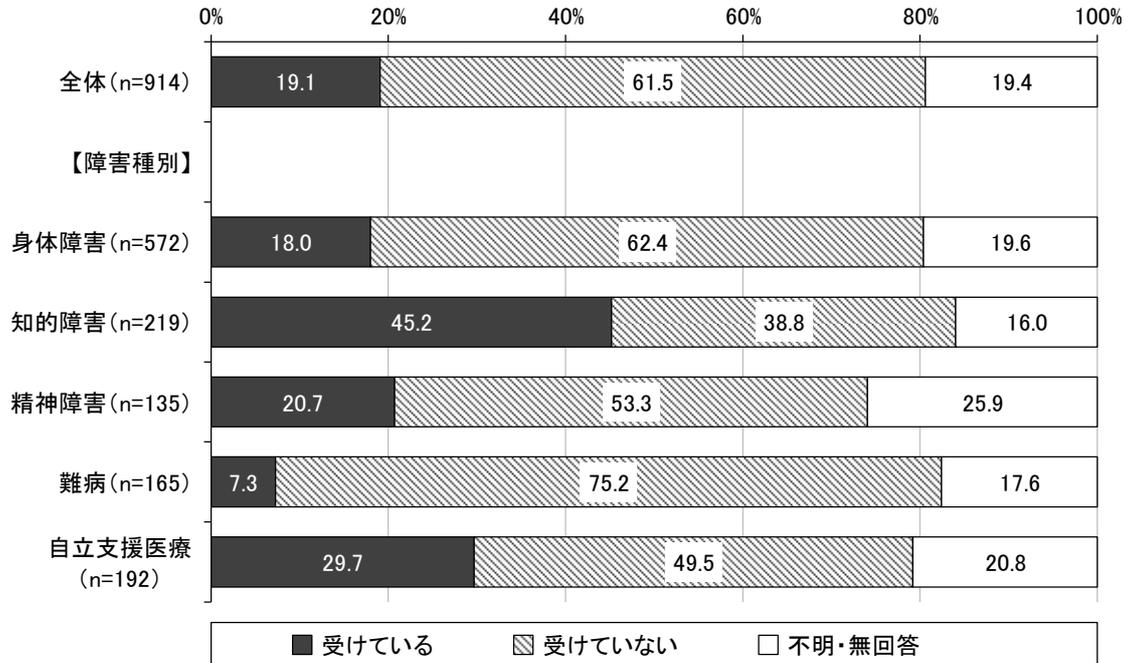


### 3. 認定状況について

問10 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「受けている」が19.1%、「受けていない」が61.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「受けている」、その他の区分においては「受けていない」が高くなっています。



問 10 で「受けている」に○印をつけた方

問 10（1）障害福祉サービス受給者証に記載された区分をおうかがいします。  
（番号に○印を1つだけつけてください。）

18 歳未満の方についてみると、全体では「わからない」が 63.6%と最も高く、次いで「区分2」「区分3」が 9.1%となっています。

18 歳未満の方

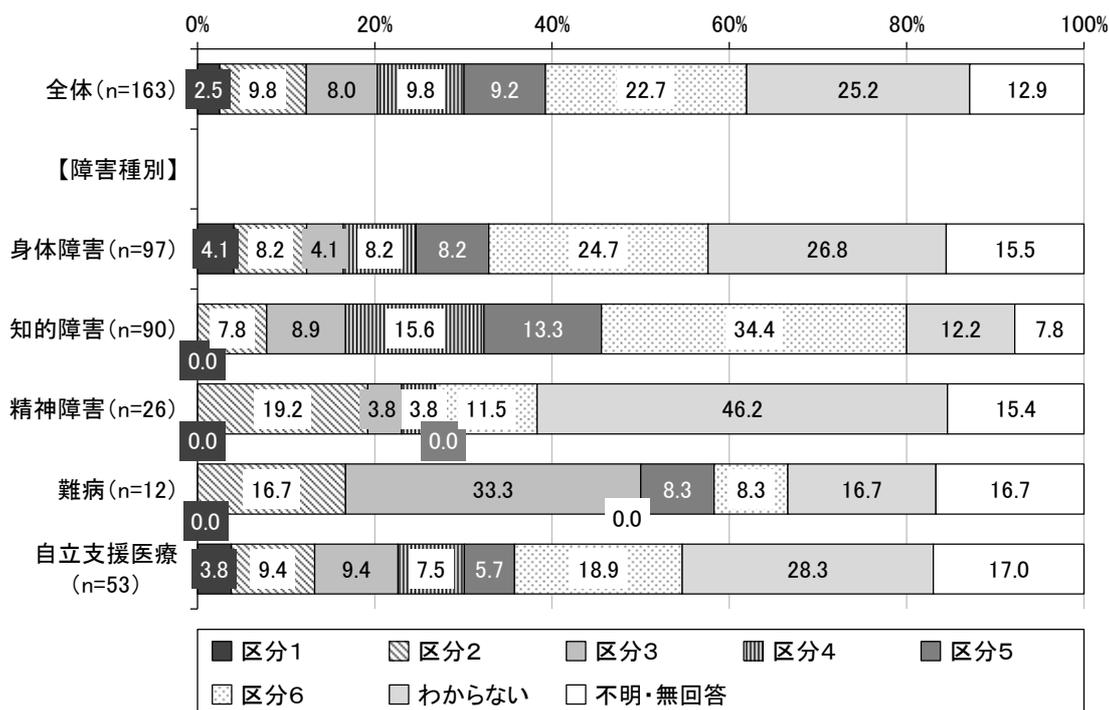
単位：%		区分 1	区分 2	区分 3	わからない	不明・無回答
全体 (n=11)		0.0	9.1	9.1	63.6	18.2
障害種別	身体障害 (n=6)	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
	知的障害 (n=8)	0.0	12.5	0.0	62.5	25.0
	精神障害 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	自立支援医療 (n=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

※難病は回答なし

18 歳以上の方についてみると、全体では「わからない」が 25.2%と最も高く、次いで「区分6」が 22.7%、「区分2」「区分4」が 9.8%となっています。

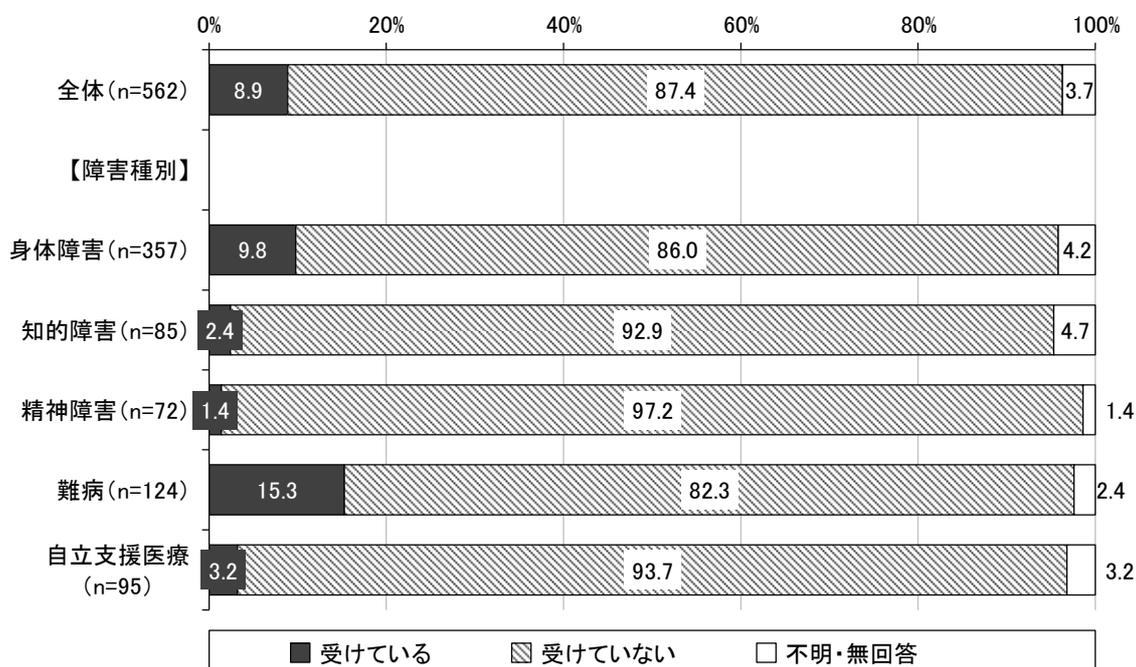
手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「区分6」、難病では「区分3」、その他の区分においては「わからない」が最も高くなっています。

18 歳以上の方



**問 11 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「受けている」が8.9%、「受けていない」が87.4%となっています。  
手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「受けていない」が高くなっています。



**問 11 で「受けている」に○印をつけた方**

**問 11 (1) 介護保険の保険証に記載された程度をおうかがいします。**

(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「要支援 2」が24.0%と最も高く、次いで「要介護 2」が22.0%、「要介護 1」が14.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害では「要支援 2」、難病では「要介護 2」が最も高くなっています。

単位: %		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	わからない	不明・無回答
全体 (n=50)		12.0	<b>24.0</b>	14.0	22.0	12.0	6.0	10.0	0.0	0.0
障害種別	身体障害 (n=35)	11.4	<b>28.6</b>	11.4	22.9	14.3	0.0	11.4	0.0	0.0
	知的障害 (n=2)	0.0	0.0	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神障害 (n=1)	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病 (n=19)	10.5	21.1	10.5	<b>26.3</b>	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0
	自立支援医療 (n=3)	0.0	0.0	<b>33.3</b>	0.0	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	0.0	0.0	0.0

## 4. 暮らしの状況について

問12 あなたの収入はどれにあたりますか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「障害年金(1級、2級、3級)」が35.1%と最も高く、次いで「給与・賃金」が31.3%、「家族に扶養されている」が25.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、難病では「給与・賃金」、その他の区分においては「障害年金(1級、2級、3級)」が最も高くなっています。

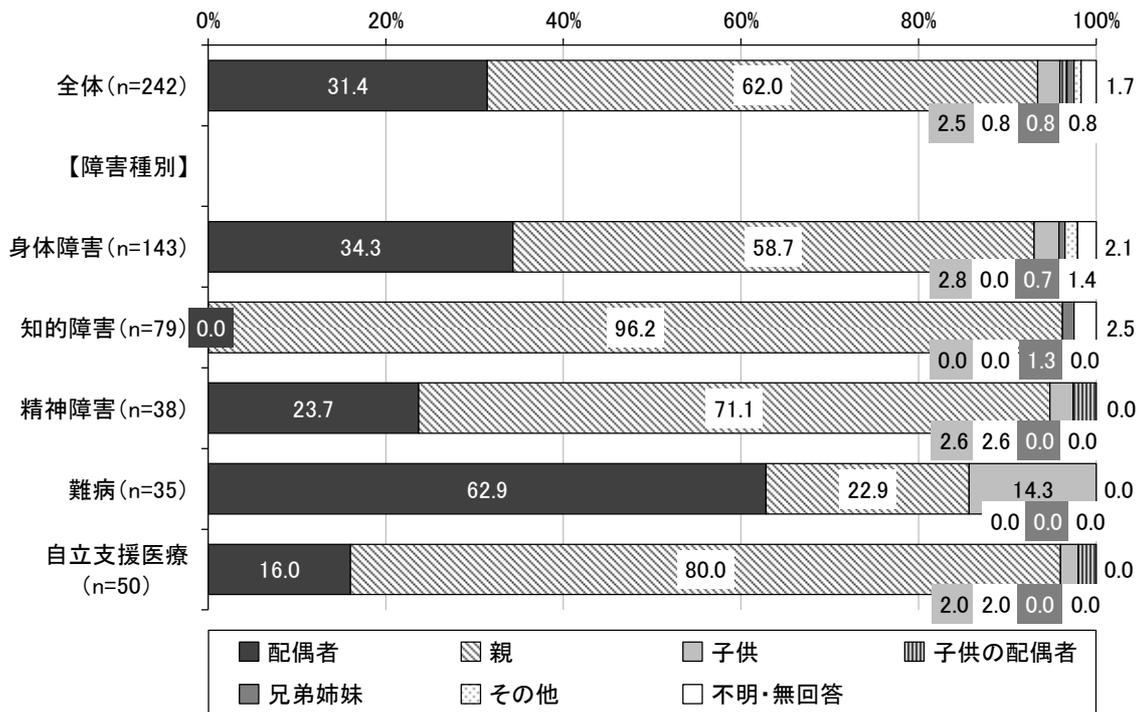
単位：%		給与・賃金	財産収入	障害年金（1級、2級、3級）	工賃（就労移行支援A型・B型等）	障害年金以外の年金（老齢・退職・遺族など）	障害者手当	家族等からの仕送り	生活保護を受けている	家族に扶養されている	その他	不明・無回答
全体(n=914)		31.3	1.4	<b>35.1</b>	7.4	15.8	17.3	1.2	7.9	25.5	3.4	4.7
障害種別	身体障害(n=572)	32.3	1.7	<b>37.1</b>	5.6	16.6	22.6	0.9	7.0	24.1	2.6	4.5
	知的障害(n=219)	19.2	0.5	<b>55.3</b>	22.8	3.7	21.5	0.9	6.4	35.6	2.3	4.1
	精神障害(n=135)	25.2	1.5	<b>45.9</b>	10.4	6.7	6.7	3.7	20.7	25.2	2.2	1.5
	難病(n=165)	<b>37.0</b>	1.2	12.7	0.6	27.9	8.5	0.6	4.2	20.6	6.7	6.1
	自立支援医療(n=192)	24.0	1.6	<b>46.4</b>	13.0	10.4	13.0	2.6	20.8	24.0	2.6	3.6

問12で「家族等からの仕送り」または「家族に扶養されている」に○印をつけた方

問12(1) あなたの生計を主に支えている(あなたを扶養している)ご家族は、どなたですか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「親」が62.0%と最も高く、次いで「配偶者」が31.4%、「子供」が2.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、難病では「配偶者」、その他の区分においては「親」が最も高くなっています。



問12で「家族等からの仕送り」または「家族に扶養されている」に○印をつけた方

問12(2) 問12(1)のご家族の収入は、どれにあたりますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では、「その他」を除き「給与・賃金」が64.0%と最も高く、次いで「障害年金以外の年金(老齢・退職・遺族など)」が26.0%、「障害年金(1級、2級、3級)」が4.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「給与・賃金」が最も高くなっています。

単位: %		給与・賃金	財産収入	障害年金(1級、2級、3級)	障害年金以外の年金(老齢・退職・遺族など)	障害者手当	生活保護を受けている	その他	不明・無回答
全体(n=242)		64.0	3.7	4.5	26.0	3.3	1.2	4.5	7.4
障害種別	身体障害(n=143)	62.2	3.5	3.5	27.3	4.2	1.4	6.3	7.0
	知的障害(n=79)	69.6	2.5	6.3	20.3	7.6	1.3	5.1	6.3
	精神障害(n=38)	65.8	5.3	10.5	23.7	0.0	2.6	0.0	5.3
	難病(n=35)	60.0	5.7	2.9	34.3	0.0	2.9	2.9	5.7
	自立支援医療(n=50)	64.0	6.0	6.0	22.0	2.0	2.0	4.0	4.0

## 5. 医療や健康について

問13 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「医院、病院に通院している」が75.5%と最も高く、次いで「健康である」が22.4%、「自宅で往診や訪問看護を受けている」が6.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「医院、病院に通院している」が最も高くなっています。

単位：%		健康である	医院、病院に通院している	自宅 で 往 診 や 訪 問 看 護 を 受 け て い る	入院している	その他	不明・無回答
全体 (n=914)		22.4	<b>75.5</b>	6.1	2.2	2.3	1.9
障害 種 別	身体障害 (n=572)	22.0	<b>76.2</b>	6.8	1.9	3.0	1.7
	知的障害 (n=219)	34.2	<b>64.8</b>	6.4	1.4	3.7	1.8
	精神障害 (n=135)	15.6	<b>82.2</b>	8.9	3.0	0.7	2.2
	難病 (n=165)	6.7	<b>87.3</b>	6.1	3.6	1.2	1.8
	自立支援医療 (n=192)	14.6	<b>87.5</b>	9.9	1.0	2.1	1.6

問 13 で「医院、病院に通院している」に○印をつけた方

問 13 (1) 通院の際、主に利用する交通手段は何ですか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「自家用車(家族が運転)」が32.6%と最も高く、次いで「鉄道・バスなどの公共交通機関」が19.0%、「自家用車(自分で運転)」が18.4%となっています。

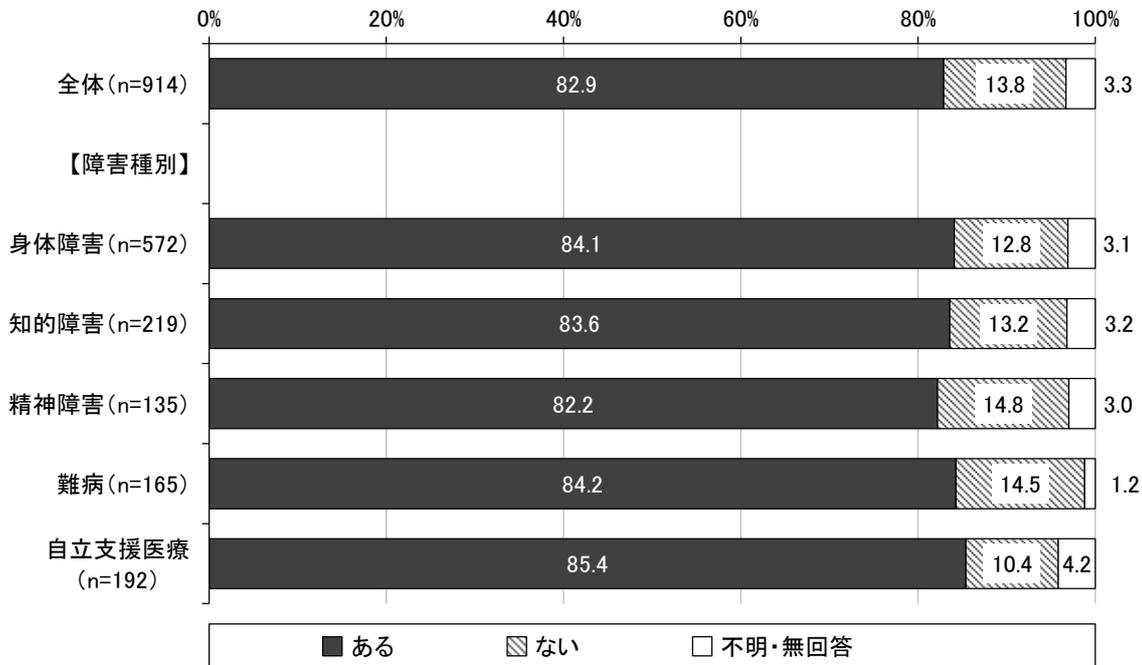
手帳の種類・診断別にみると、身体障害、知的障害では「自家用車(家族が運転)」、精神障害では「鉄道・バスなどの公共交通機関」、難病では「自家用車(自分で運転)」、自立支援医療では「鉄道・バスなどの公共交通機関」「自家用車(家族が運転)」が最も高くなっています。

単位：%		徒歩	車いす (電動車いすを含む)	鉄道・バスなどの公共交通機関	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (家族が運転)	タクシー	福祉バス等	自転車、バイク	その他	不明・無回答
全体 (n=690)		7.8	0.3	19.0	18.4	<b>32.6</b>	2.5	1.3	4.3	5.4	8.4
障害種別	身体障害 (n=436)	7.8	0.5	17.7	18.1	<b>35.3</b>	1.6	1.6	3.4	5.5	8.5
	知的障害 (n=142)	4.2	0.0	13.4	3.5	<b>50.0</b>	1.4	3.5	4.9	7.0	12.0
	精神障害 (n=111)	10.8	0.0	<b>34.2</b>	9.9	19.8	2.7	0.9	5.4	5.4	10.8
	難病 (n=144)	5.6	0.0	19.4	<b>29.9</b>	26.4	4.2	0.7	2.8	2.1	9.0
	自立支援医療 (n=168)	9.5	0.0	<b>26.8</b>	9.5	<b>26.8</b>	3.0	1.8	6.0	4.8	11.9

**問 14 あなたの体調が優れないときにかかりつけの医院、病院がありますか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「ある」が82.9%、「ない」が13.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「ある」が高くなっています。



問 15 あなたは、医院、病院を利用したり、自宅で治療を受けたりするときに、何か困ったことがありますか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では、「その他」を除き「医院、病院が近所がない」が41.3%と最も高く、次いで「障害についての専門医療機関がない」が22.5%、「医療や訓練、健康に関する相談が気軽にできない」が20.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「医院、病院が近所がない」が最も高くなっています。

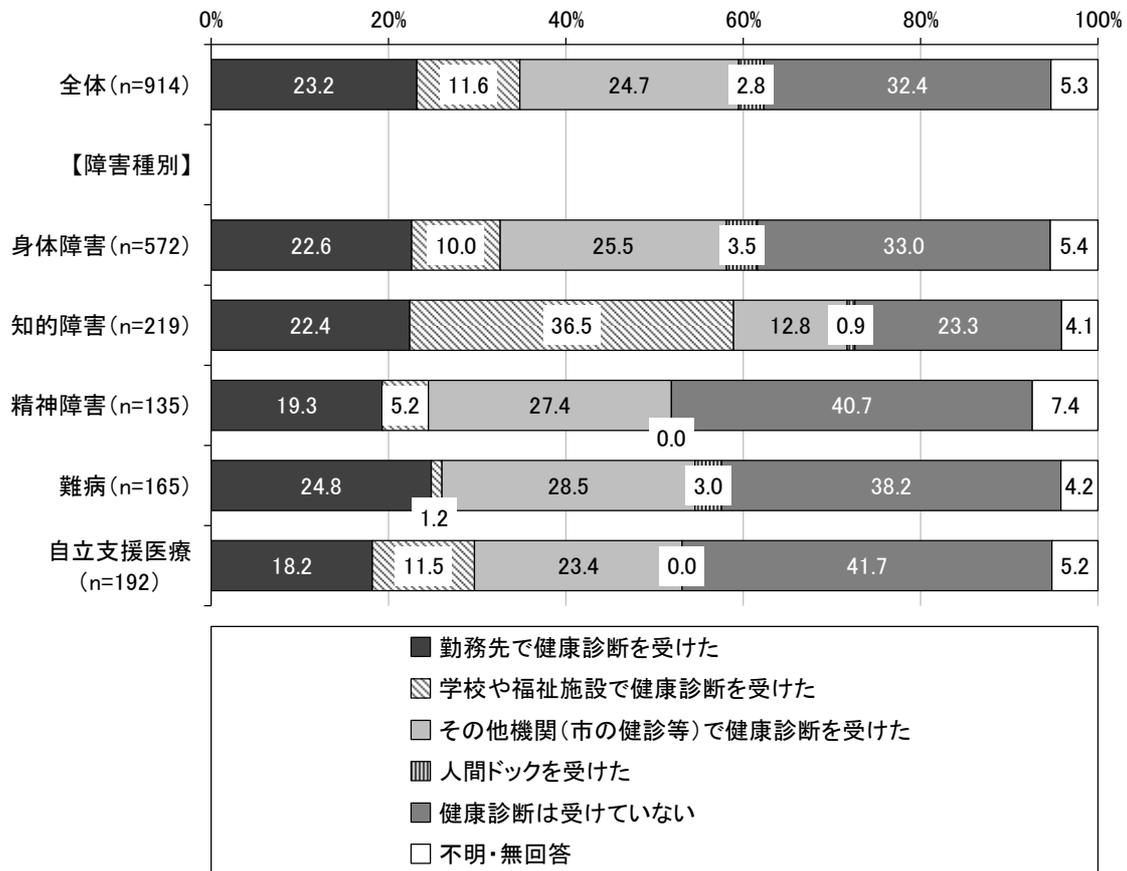
単位：%		医院、病院が近所がない	障害についての専門医療機関がない	治療の説明が不十分である	医療や訓練、健康に関する相談が気軽にできない	医院、病院に行くまでの交通手段が整備されていない	通院時に付き添いをしてくれる人がいない	入院先が見つからない	その他
全体(n=489)		41.3	22.5	10.6	20.9	17.4	9.2	3.5	27.2
障害種別	身体障害(n=286)	42.3	23.8	11.5	18.2	19.6	9.4	3.5	26.9
	知的障害(n=122)	41.8	28.7	10.7	18.0	15.6	6.6	8.2	32.0
	精神障害(n=83)	51.8	14.5	13.3	21.7	15.7	12.0	2.4	30.1
	難病(n=99)	44.4	18.2	12.1	26.3	21.2	12.1	2.0	19.2
	自立支援医療(n=118)	52.5	17.8	15.3	25.4	16.9	11.9	3.4	28.8

※不明・無回答を除く

**問 16 あなたは、過去 1 年間に健康診断を受けましたか。(番号に○印を 1 つだけつけてください。)**

全体では「健康診断は受けていない」が 32.4%と最も高く、次いで「その他機関(市の健診等)で健康診断を受けた」が 24.7%、「勤務先で健康診断を受けた」が 23.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「学校や福祉施設で健康診断を受けた」、その他の区分においては「健康診断は受けていない」が最も高くなっています。



問 16 で「健康診断は受けていない」に○印をつけた方

問 17 健康診断を受けなかった理由は、何ですか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では、「その他」を除き「会社、作業所をやめたから」が15.9%と最も高く、次いで「学校を卒業したから」が6.4%、「診てくれる病院がないから」が6.1%となっています。

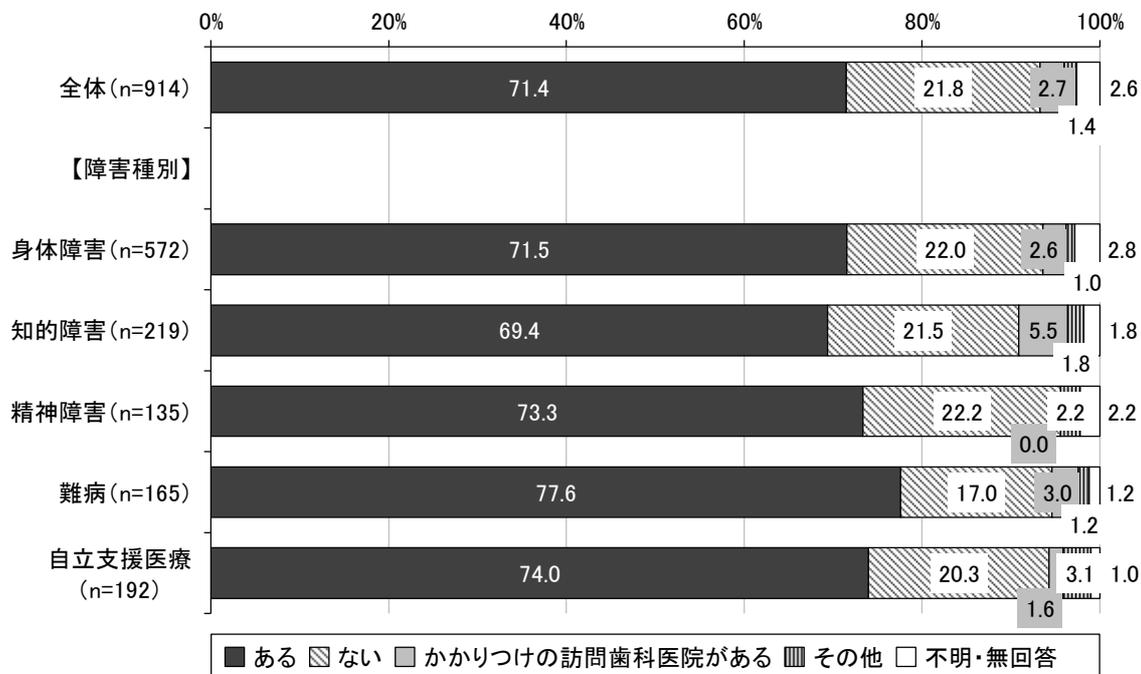
手帳の種類・診断別にみると、「その他」を除き、知的障害では「学校を卒業したから」、その他の区分においては「会社、作業所をやめたから」が最も高くなっています。

単位：%		学校を卒業したから	会社、作業所をやめたから	入所施設を退所したから	からグループホームを退所した	から支援してくれる人がいない	診てくれる病院がないから	その他	不明・無回答
全体 (n=296)		6.4	<b>15.9</b>	0.7	0.3	3.4	6.1	61.1	11.8
障害種別	身体障害 (n=189)	4.2	<b>15.9</b>	1.1	0.0	3.2	6.9	61.4	13.2
	知的障害 (n=51)	<b>13.7</b>	7.8	0.0	0.0	5.9	7.8	58.8	7.8
	精神障害 (n=55)	12.7	<b>25.5</b>	0.0	1.8	5.5	7.3	56.4	3.6
	難病 (n=63)	1.6	<b>17.5</b>	0.0	0.0	0.0	3.2	66.7	12.7
	自立支援医療 (n=80)	10.0	<b>21.3</b>	0.0	1.3	3.8	6.3	57.5	8.8

**問 18 あなたは、歯の具合が悪いときのかかりつけの歯科医院などがありますか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「ある」が71.4%と最も高く、次いで「ない」が21.8%、「かかりつけの訪問歯科医院がある」が2.7%となっています。

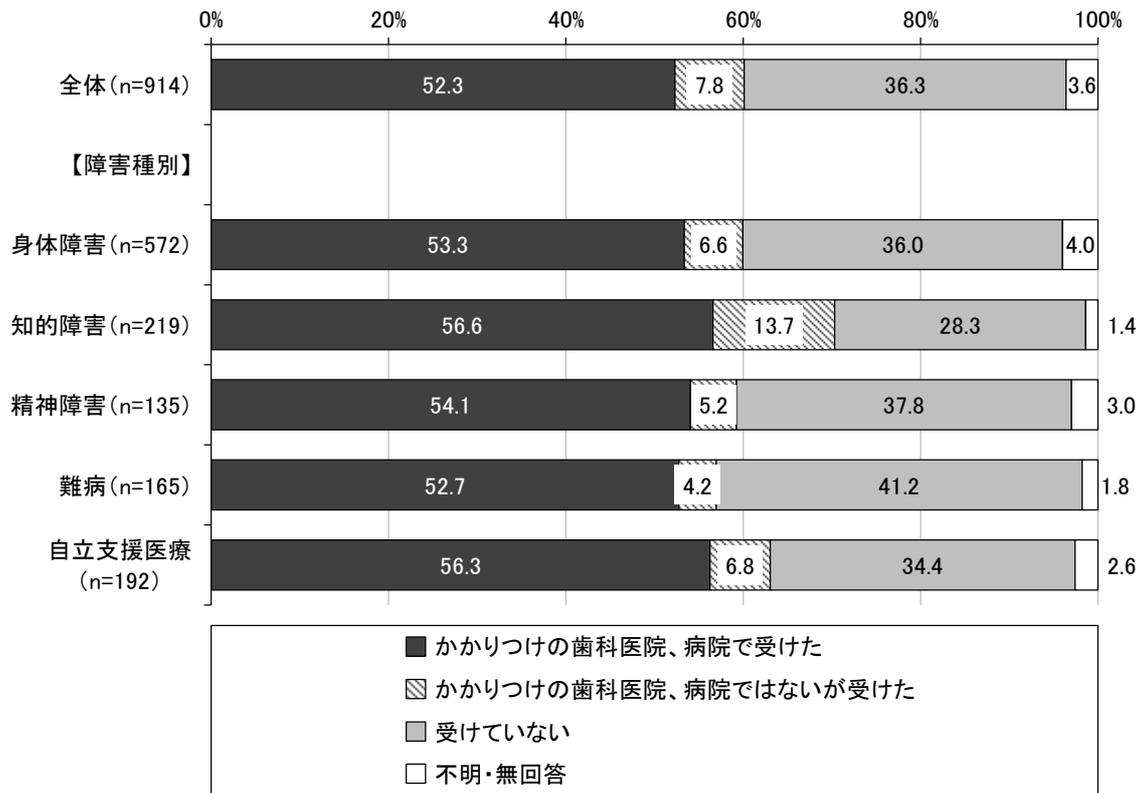
手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「ある」が最も高くなっています。



**問 19 あなたは、過去 1 年間に歯科検診を受けましたか。(番号に○印を 1 つだけつけてください。)**

全体では「かかりつけの歯科医院、病院で受けた」が 52.3%と最も高く、次いで「受けていない」が 36.3%、「かかりつけの歯科医院、病院ではないが受けた」が 7.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「かかりつけの歯科医院、病院で受けた」が最も高くなっています。



問 19 で「受けていない」に○印をつけた方

問 20 受けなかった理由は、何ですか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では、「その他」を除き「診てくれる歯科医院、病院がないから」が 10.2%と最も高く、次いで「学校を卒業したから」「会社、作業所をやめたから」が 5.1%、「支援してくれる人がいないから」が 2.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、「その他」を除き、いずれの区分においても「診てくれる歯科医院、病院がないから」が最も高くなっています。

単位：%		学校を卒業したから	会社、作業所をやめたから	入所施設を退所したから	からグループホームを退所した	から支援してくれる人がいない	が診てくれる歯科医院、病院がないから	その他	不明・無回答
全体 (n=332)		5.1	5.1	0.6	0.0	2.7	<b>10.2</b>	66.6	13.3
障害種別	身体障害 (n=206)	3.9	6.3	0.5	0.0	2.9	<b>10.2</b>	67.0	14.1
	知的障害 (n=62)	11.3	1.6	0.0	0.0	1.6	<b>17.7</b>	50.0	21.0
	精神障害 (n=51)	7.8	5.9	0.0	0.0	5.9	<b>15.7</b>	64.7	3.9
	難病 (n=68)	1.5	5.9	0.0	0.0	2.9	<b>8.8</b>	76.5	8.8
	自立支援医療 (n=66)	9.1	4.5	0.0	0.0	4.5	<b>13.6</b>	60.6	10.6

## 6. 住まいについて

問 21 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「家族の持家(一戸建て住宅)」が38.1%と最も高く、次いで「本人の持家(一戸建て住宅)」が19.6%、「民間賃貸アパート・マンション」が13.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「家族の持家(一戸建て住宅)」が最も高くなっています。

単位：%		本人の持家 (一戸建て住宅)	本人の持家 (マンション等)	家族の持家 (一戸建て住宅)	家族の持家 (マンション等)	借家	民間賃貸 アパート・ マンション	公社、公団 賃貸住宅	市営、都 営住宅	社宅、公 務員住宅	福祉施設 (グループ ホーム除 く)	グルー プホーム 等の共同 生活の場	その他	不明・ 無回答
全体(n=914)		19.6	4.8	<b>38.1</b>	7.0	4.0	13.2	1.3	2.5	0.3	2.0	4.6	1.1	1.4
障害 種別	身体障害(n=572)	21.9	5.9	<b>39.3</b>	6.5	3.8	12.8	1.6	1.6	0.5	1.4	2.6	0.7	1.4
	知的障害(n=219)	2.3	1.8	<b>49.8</b>	7.3	4.1	8.7	0.0	3.7	0.0	5.9	15.1	0.5	0.9
	精神障害(n=135)	9.6	3.0	<b>30.4</b>	7.4	5.9	24.4	3.0	5.9	0.0	1.5	5.2	2.2	1.5
	難病(n=165)	31.5	6.1	<b>36.4</b>	6.1	3.0	12.1	1.2	0.6	0.0	0.0	0.6	2.4	0.0
	自立支援医療(n=192)	9.9	3.6	<b>33.9</b>	4.7	5.2	22.4	2.1	3.1	0.0	3.1	8.9	1.6	1.6

問 22 あなたの住宅についてお困りのところがありますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「特にない」が57.5%と最も高く、次いで「階段や室内の段差に苦勞する」が10.4%、「浴室、洗面所が使いづらい」が8.8%となっています。

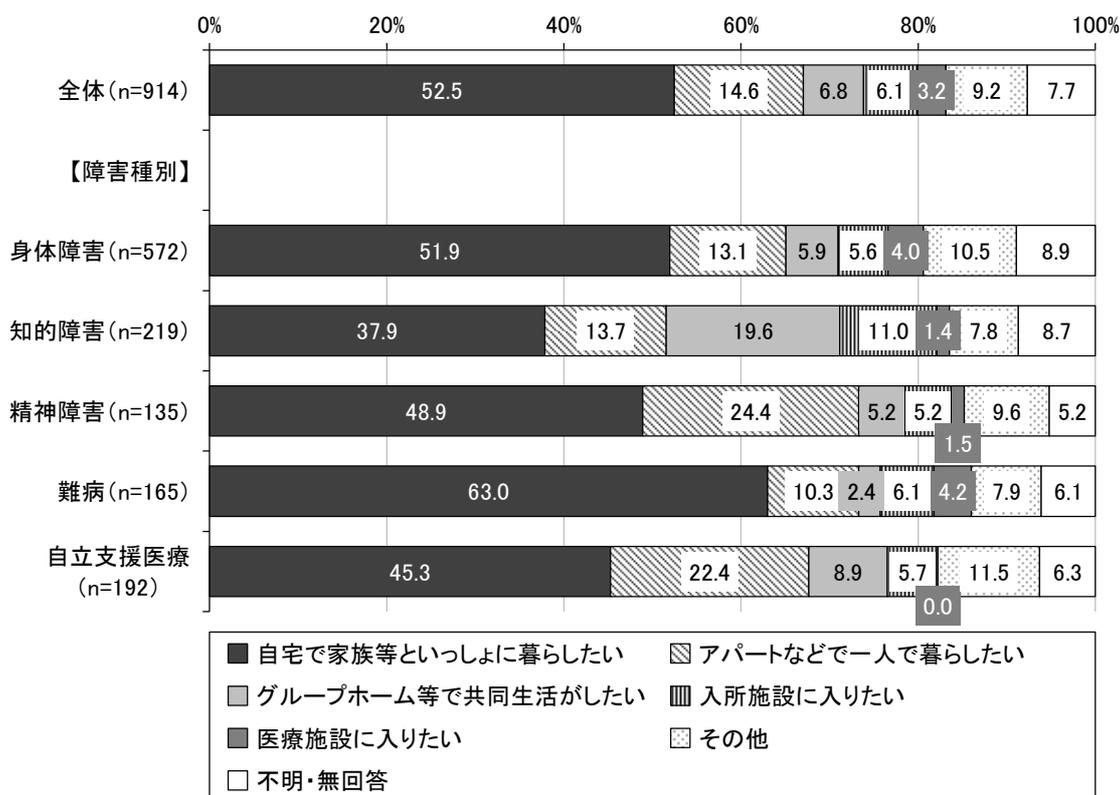
手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「特にない」が最も高く、次いで身体障害、難病では「階段や室内の段差に苦勞する」、知的障害では「浴室、洗面所が使いづらい」、精神障害、自立支援医療では「近所の騒音が気になる」となっています。

単位：%		玄関等入り口が狭い	トイレが使いづらい	浴室、洗面所が使いづらい	廊下が狭く移動が困難である	階段や室内の段差に苦勞する	自分専用の部屋がない	近所の騒音が気になる	特にない	その他	不明・無回答
全体 (n=914)		6.7	4.4	8.8	2.4	10.4	3.8	6.3	<b>57.5</b>	6.9	10.2
障害種別	身体障害 (n=572)	6.8	3.7	9.3	2.3	11.4	2.8	4.9	<b>54.9</b>	7.5	12.4
	知的障害 (n=219)	6.4	3.2	8.7	3.2	7.8	6.4	5.9	<b>58.9</b>	5.9	11.4
	精神障害 (n=135)	10.4	5.2	9.6	2.2	10.4	7.4	11.9	<b>53.3</b>	7.4	5.9
	難病 (n=165)	8.5	7.3	8.5	6.1	12.1	1.8	8.5	<b>61.8</b>	9.1	2.4
	自立支援医療 (n=192)	8.9	5.2	10.9	2.6	10.4	6.8	11.5	<b>53.1</b>	6.8	8.3

**問 23 あなたは、将来、どのような住まい方（住み方）を望みますか。**  
**（番号に○印を1つだけつけてください。）**

全体では、「その他」を除き「自宅で家族等といっしょに暮らしたい」が52.5%と最も高く、次いで「アパートなどで一人で暮らしたい」が14.6%、「グループホーム等で共同生活がしたい」が6.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「自宅で家族等といっしょに暮らしたい」が最も高くなっています。また、知的障害では「グループホーム等で共同生活がしたい」、精神障害、自立支援医療では「アパートなどで一人で暮らしたい」がその他の区分に比べて高くなっています。

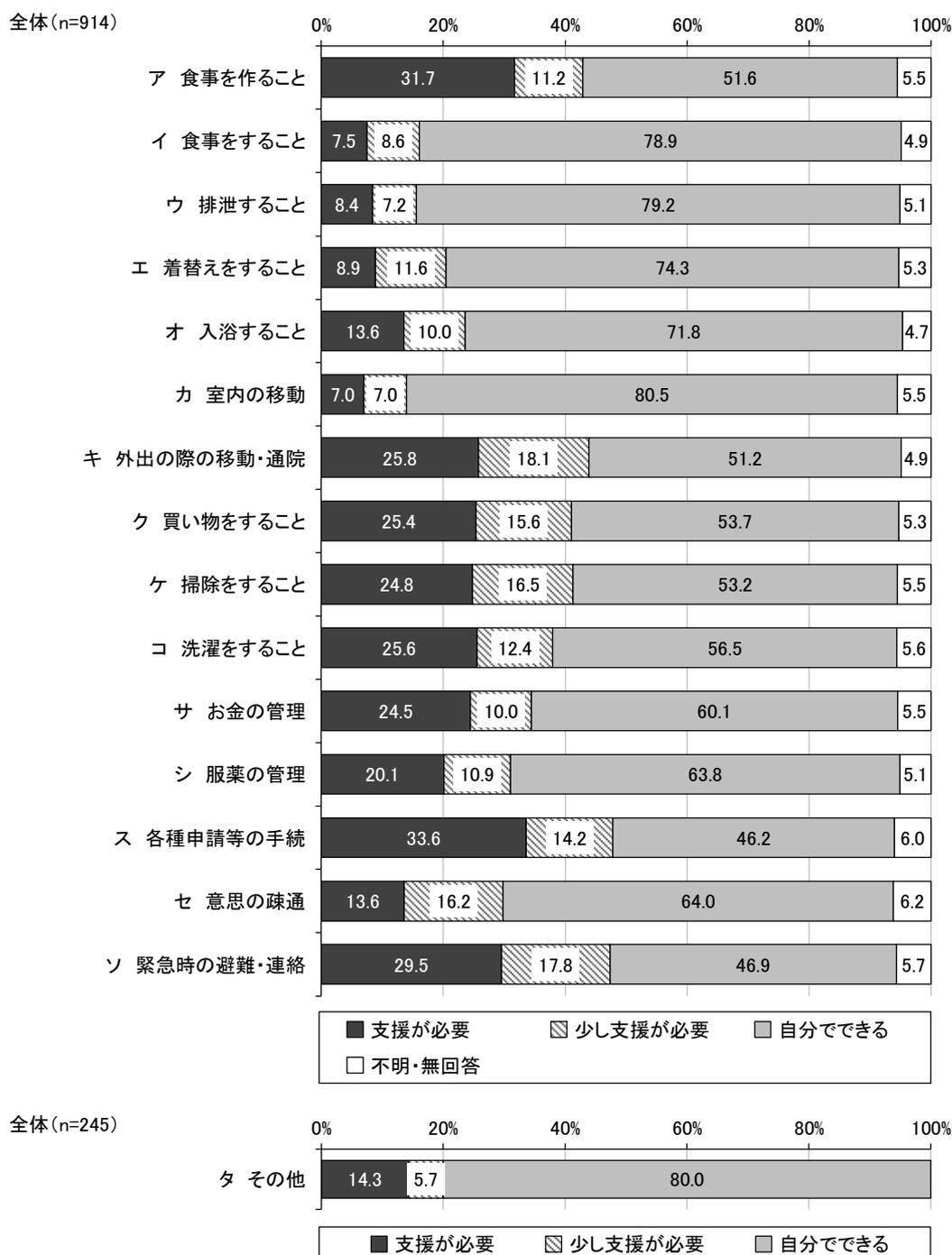


## 7. 支援の状況について

問 24 あなたは、日常生活（入所施設も含む。）の中で、どれくらい自分でできますか。  
（ア～タの各項目の番号に○印を1つだけつけてください。）

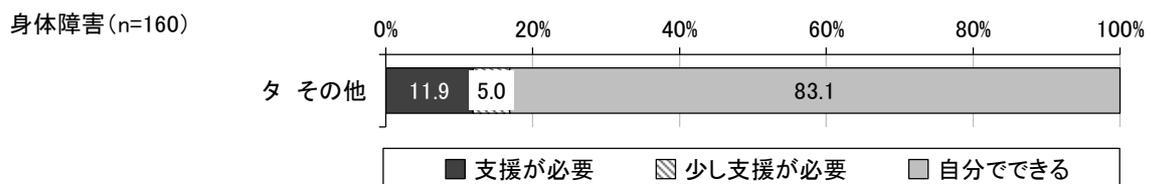
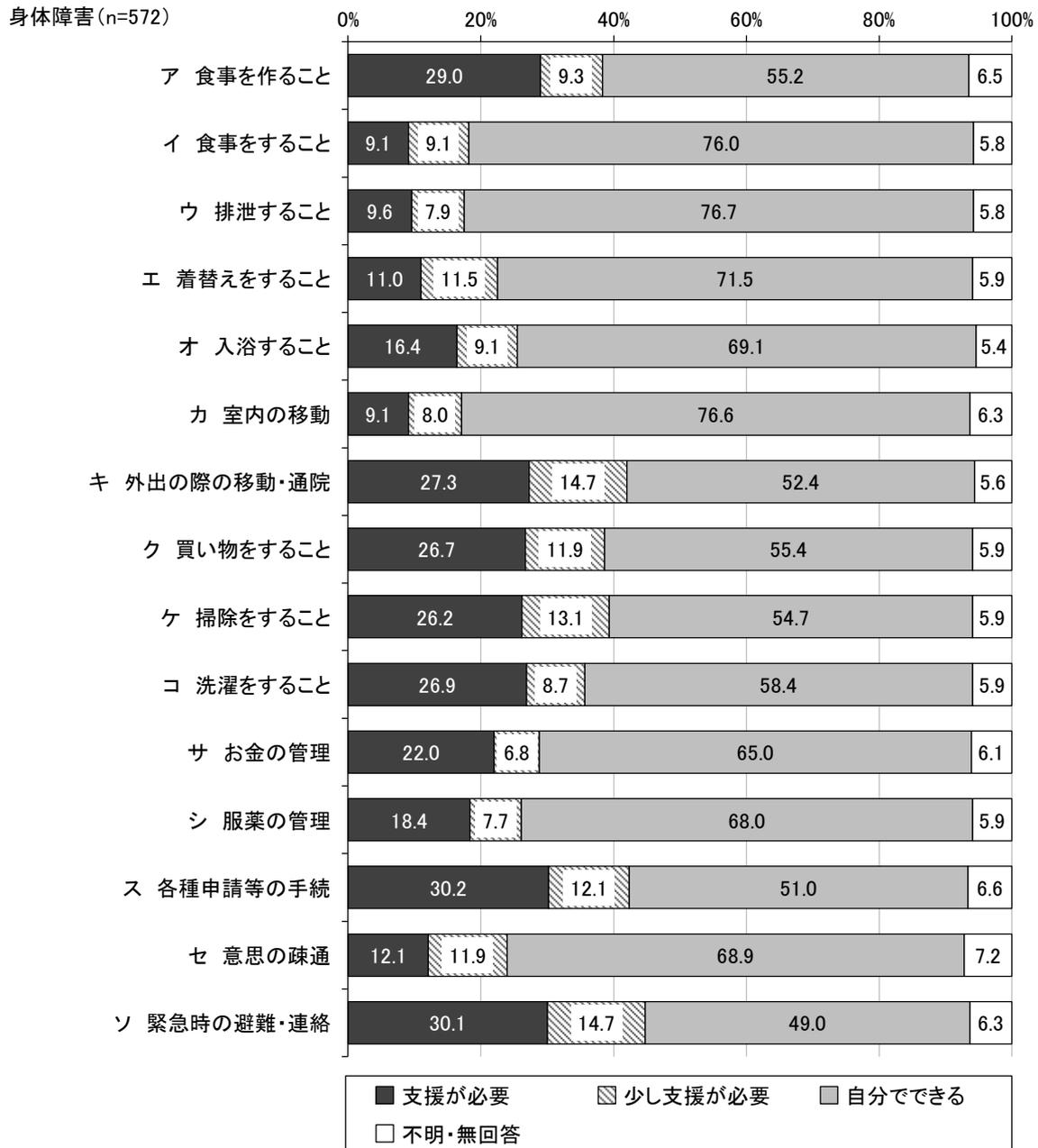
### 全体

すべての項目で「自分でできる」が最も高くなっています。「支援が必要」は[ス 各種申請等の  
手続]で33.6%と最も高く、次いで[ア 食事を作ること]で31.7%、[ソ 緊急時の避難・連絡]  
で29.5%となっています。



## 身体障害

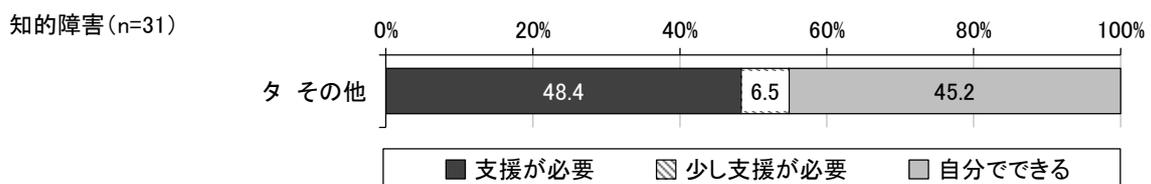
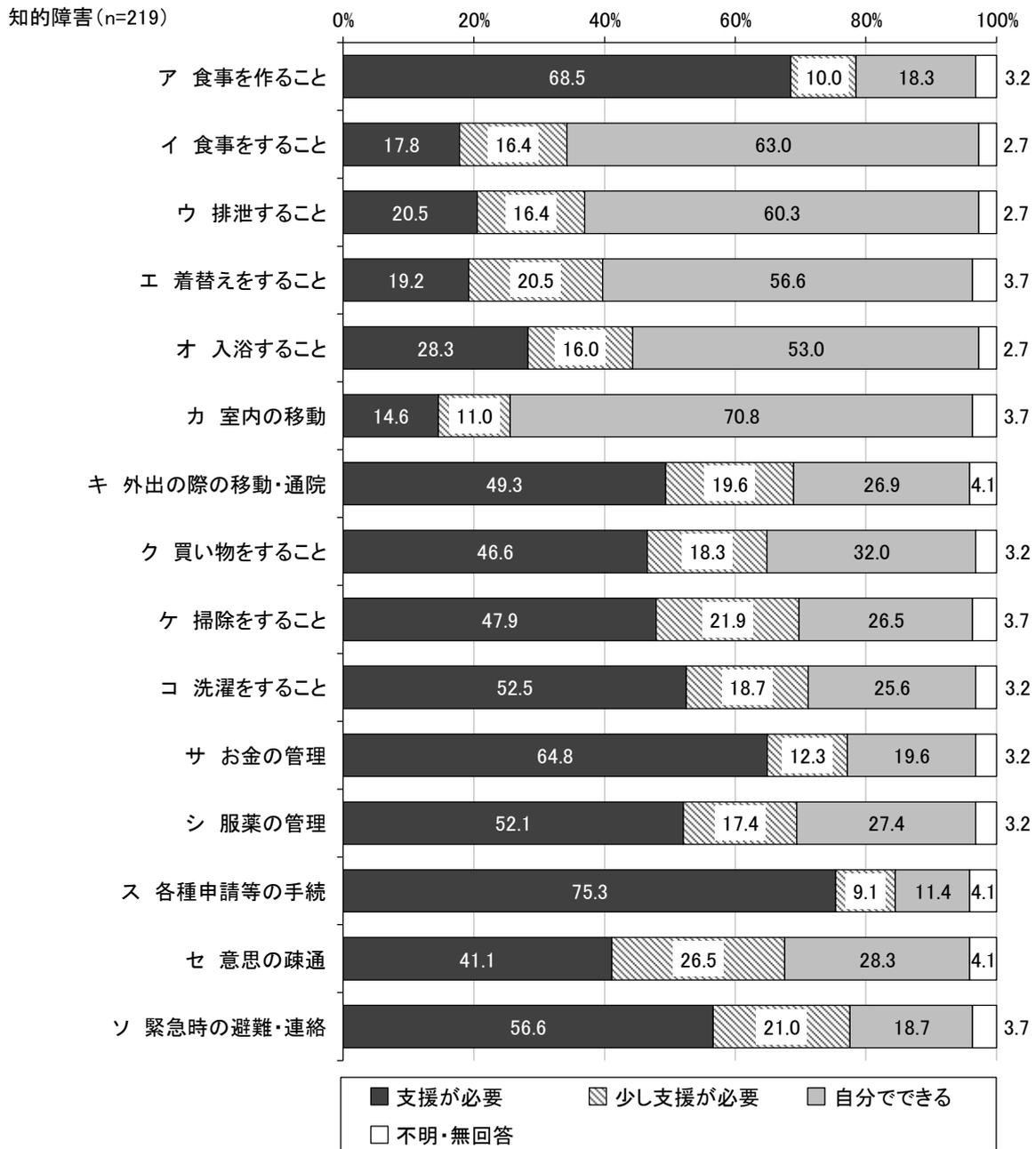
すべての項目で「自分でできる」が最も高くなっています。「支援が必要」は[ス 各種申請等の手続]で30.2%と最も高く、次いで[ソ 緊急時の避難・連絡]で30.1%、[ア 食事を作ること]で29.0%となっています。



※不明・無回答を除く

## 知的障害

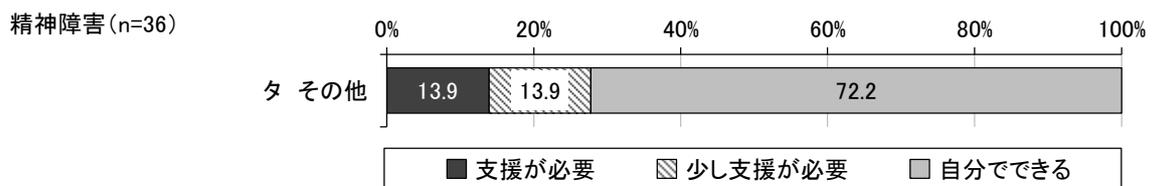
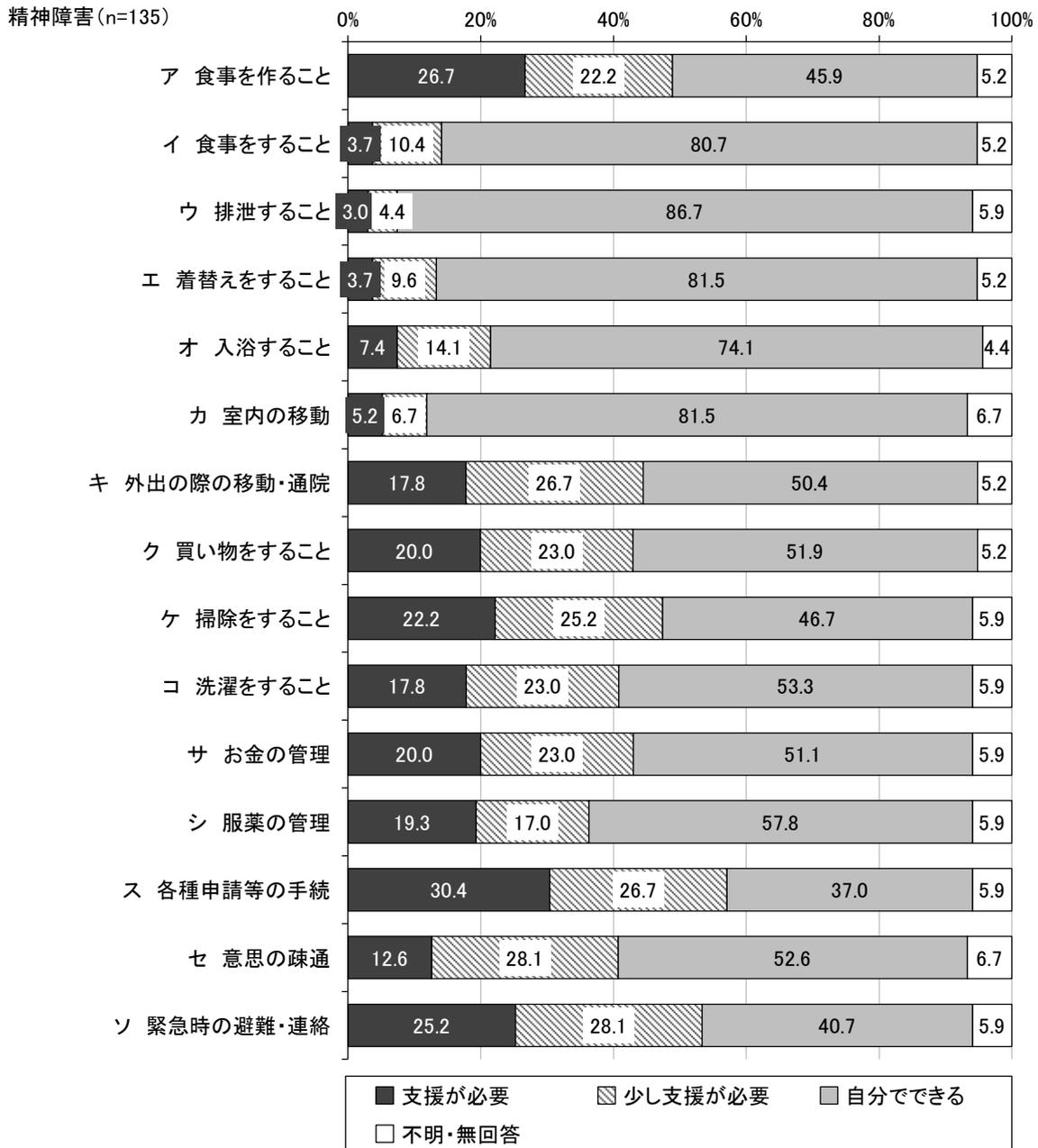
[イ 食事をすること][ウ 排泄すること][エ 着替えをすること][オ 入浴すること][カ 室内の移動]では「自分でできる」、それ以外の項目では「支援が必要」が最も高くなっています。「支援が必要」は[ス 各種申請等の手続]で75.3%と最も高く、次いで[ア 食事をすること]で68.5%、[サ お金の管理]で64.8%となっています。



※不明・無回答を除く

## 精神障害

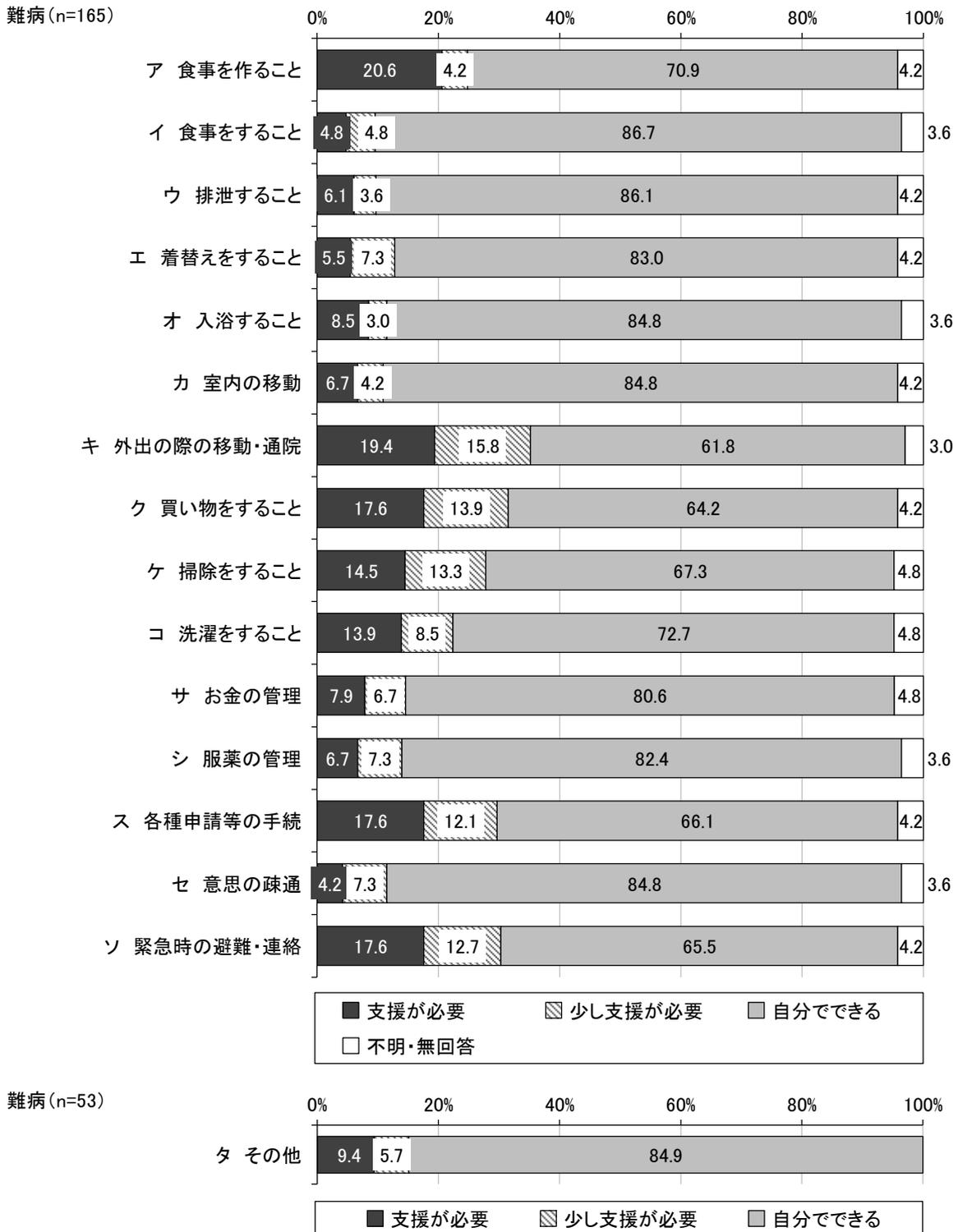
すべての項目で「自分でできる」が最も高くなっています。「支援が必要」は[ス 各種申請等の  
 手続]で30.4%と最も高く、次いで[ア 食事を作ること]で26.7%、[ソ 緊急時の避難・連絡]  
 で25.2%となっています。



※不明・無回答を除く

## 難病

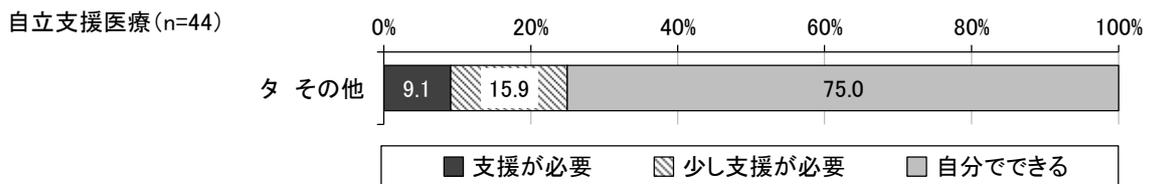
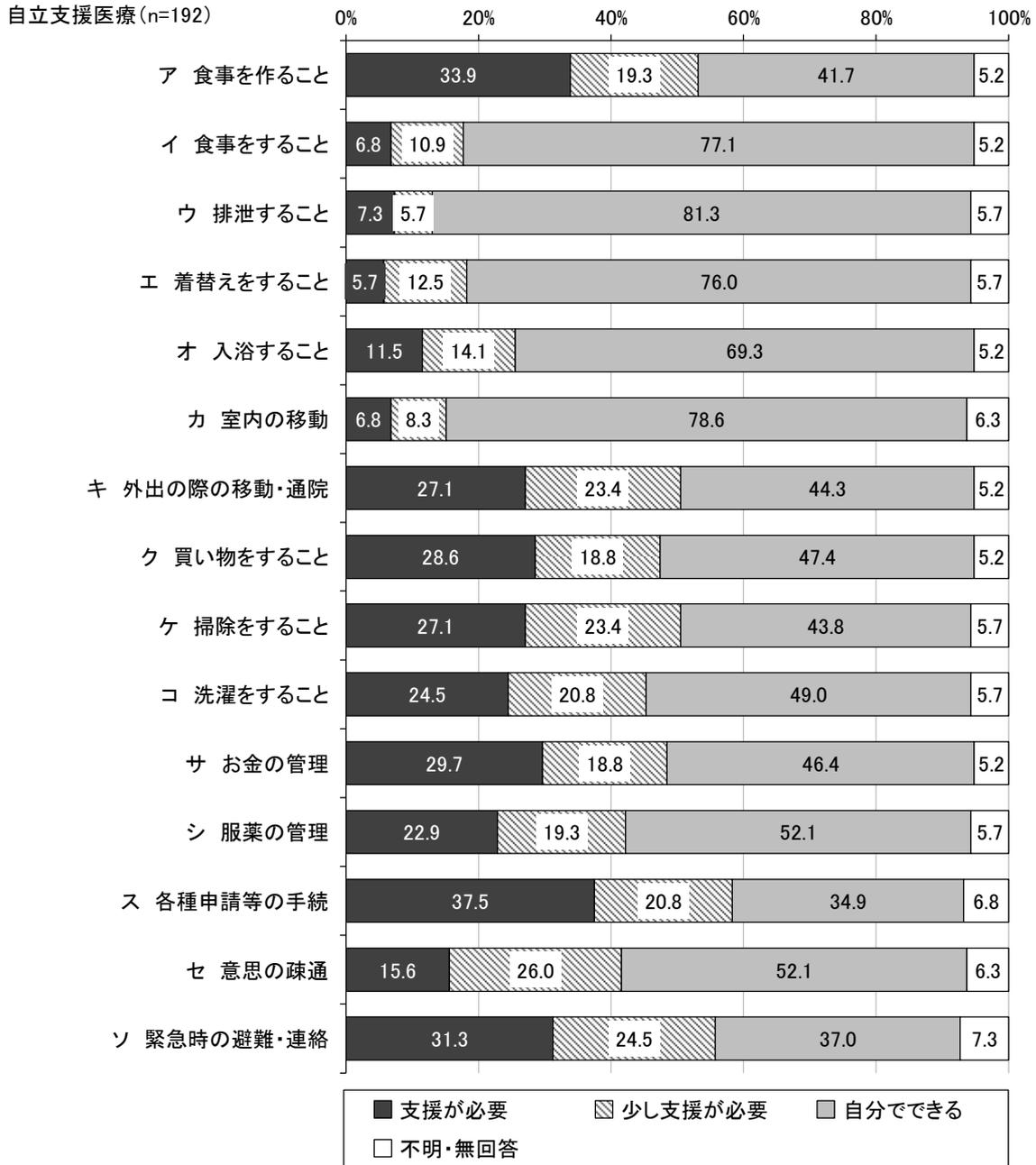
すべての項目で「自分でできる」が最も高くなっています。「支援が必要」は[ア 食事を作ること]で20.6%と最も高く、次いで[キ 外出の際の移動・通院]で19.4%、[ク 買い物をするこ  
と][ス 各種申請等の手続][ソ 緊急時の避難・連絡]で17.6%となっています。



※不明・無回答を除く

## 自立支援医療

[ス 各種申請等の手続]では「支援が必要」、それ以外の項目では「自分でできる」が最も高くなっています。「支援が必要」は[ス 各種申請等の手続]で37.5%と最も高く、次いで[ア 食事を作ること]で33.9%、[ソ 緊急時の避難・連絡]で31.3%となっています。



※不明・無回答を除く

問 24 のア～タの各項目で、「支援が必要」または「少し支援が必要」に○印をつけた方

問 24 (1) あなたを介護している方または支援している方は主にどなたですか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「親」が38.9%と最も高く、次いで「配偶者」が22.9%、「グループホーム職員」が6.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、難病では「配偶者」、その他の区分においては「親」が最も高くなっています。

単位：%		配偶者	親	子供	子供の配偶者	兄弟姉妹	その他の親戚	近所の人、友人、知人	ホームヘルパー	入所施設職員	グループホーム職員	介護者はいない	その他	不明・無回答
全体 (n=550)		22.9	<b>38.9</b>	5.5	0.0	2.0	0.4	0.5	2.2	3.8	6.4	4.2	3.1	10.2
障害種別	身体障害 (n=328)	26.5	<b>35.1</b>	6.7	0.0	1.8	0.3	0.6	2.7	3.7	4.0	4.6	1.8	12.2
	知的障害 (n=194)	2.1	<b>62.4</b>	0.5	0.0	1.0	0.0	0.5	0.0	7.2	15.5	1.5	2.1	7.2
	精神障害 (n=94)	21.3	<b>39.4</b>	3.2	0.0	1.1	0.0	2.1	2.1	4.3	4.3	7.4	6.4	8.5
	難病 (n=71)	<b>45.1</b>	16.9	11.3	0.0	4.2	1.4	1.4	2.8	0.0	2.8	4.2	2.8	7.0
	自立支援医療 (n=133)	16.5	<b>44.4</b>	2.3	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	3.0	9.0	6.0	6.0	8.3

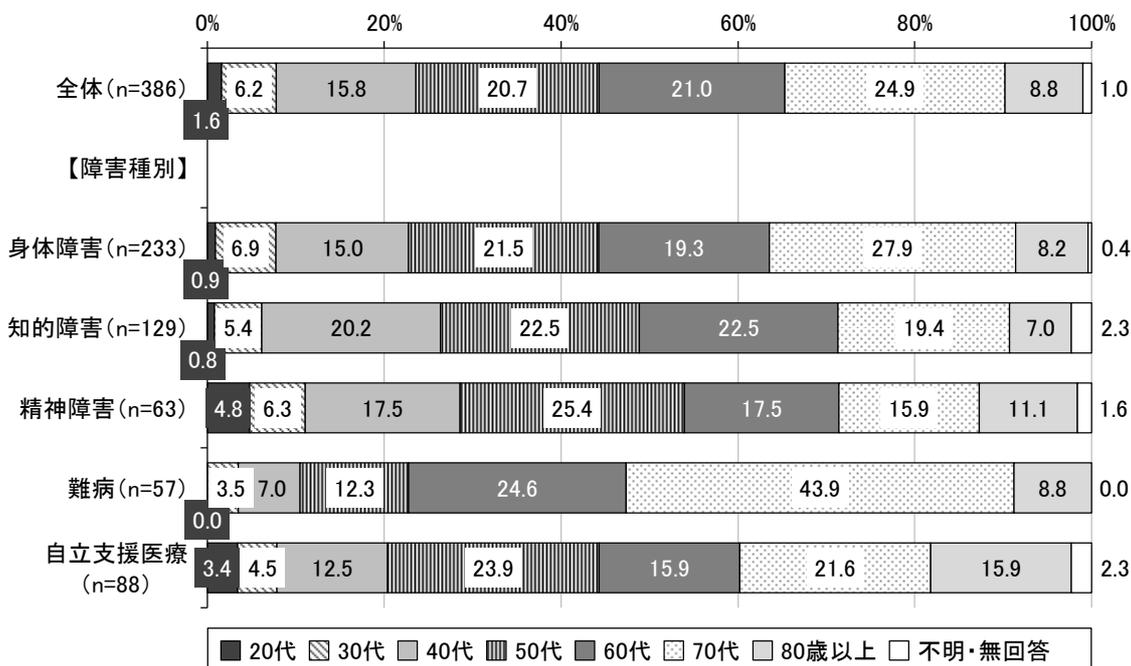
24 (1) で「配偶者」「親」「子供」「子供の配偶者」「兄弟姉妹」「その他の親戚」「近所の人、友人、知人」のいずれかに○印をつけた方

問 24 (2) あなたを主に介護している方または支援している方の年齢は何歳ですか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「70代」が24.9%と最も高く、次いで「60代」が21.0%、「50代」が20.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「70代」、知的障害では「50代」「60代」、精神障害、自立支援医療では「50代」が最も高くなっています。



問 24 (1) で「配偶者」「親」「子供」「子供の配偶者」「兄弟姉妹」「その他の親戚」「近所の人、友人、知人」のいずれかに○印をつけた方

問 24 (3) 主な介護者または支援者が病気や緊急時などで、あなたの介護や支援ができない場合どうされましたか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「同居している家族に頼んだ」が 33.2%と最も高く、次いで「そのようなことは今までにない」が 32.6%、「別居している家族や親戚に頼んだ」が 22.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害では「同居している家族に頼んだ」「そのようなことは今までにない」、知的障害では「同居している家族に頼んだ」、その他の区分においては「そのようなことは今までにない」が最も高くなっています。

単位：%		同居している家族に頼んだ	別居している家族や親戚に頼んだ	近所の人、友人、知人に頼んだ	介護保険制度や障害者総合支援法上のヘルパーを利用した	市の緊急一時保護事業を利用した	4以外のヘルパーを利用した	施設入所または病院に入院した	その他	そのようなことは今までにない	不明・無回答
全体 (n=386)		33.2	22.8	4.4	4.4	1.6	1.0	6.5	6.0	32.6	4.7
障害種別	身体障害 (n=233)	31.8	26.2	5.2	5.6	0.9	0.9	7.7	6.9	31.8	4.3
	知的障害 (n=129)	43.4	21.7	3.9	4.7	3.9	0.8	10.1	0.8	27.1	4.7
	精神障害 (n=63)	33.3	9.5	6.3	3.2	1.6	1.6	1.6	7.9	34.9	4.8
	難病 (n=57)	19.3	24.6	5.3	1.8	0.0	0.0	7.0	7.0	42.1	7.0
	自立支援医療 (n=88)	29.5	19.3	8.0	3.4	1.1	1.1	3.4	6.8	37.5	3.4

※選択肢「4以外のヘルパーを利用した」は、「4 介護保険制度や障害者総合支援法上のヘルパーを利用した」以外。

問 24 (1) で「配偶者」「親」「子供」「子供の配偶者」「兄弟姉妹」「その他の親戚」「近所の人、友人、知人」のいずれかに○印をつけた方

問 24 (4) 主な介護者または支援者がいろいろな事情で、あなたの介護や支援することができなくなったりしたときにあなたが必要だと思うことは何ですか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「必要な支援やサービスを受けること」が 54.4%と最も高く、次いで「他の親族からの支援」が 29.0%、「身近な問題を相談できる場」が 28.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「必要な支援やサービスを受けること」が最も高くなっています。

単位：%		他の親族からの支援	必要な支援やサービスを受けること	入所施設への入所	グループホームへの入居	成年後見制度の利用	身近な問題を相談できる場	健康管理をしてくれるサービス	地域とのつながりやコミュニティ参加	特にない	その他	不明・無回答
全体 (n=386)		29.0	<b>54.4</b>	27.7	18.1	8.5	28.8	16.8	8.8	5.7	3.1	10.4
障害種別	身体障害 (n=233)	26.2	<b>54.9</b>	29.6	14.2	6.0	26.2	15.9	7.3	6.9	3.4	10.7
	知的障害 (n=129)	34.1	<b>55.8</b>	35.7	40.3	17.1	31.0	20.9	14.0	3.1	0.0	10.1
	精神障害 (n=63)	27.0	<b>57.1</b>	14.3	6.3	4.8	38.1	19.0	11.1	6.3	4.8	7.9
	難病 (n=57)	26.3	<b>50.9</b>	36.8	7.0	7.0	24.6	21.1	5.3	7.0	3.5	10.5
	自立支援医療 (n=88)	27.3	<b>63.6</b>	13.6	19.3	9.1	37.5	18.2	13.6	4.5	3.4	9.1

## 8. 日中の活動について

問 25 あなたは日中、主にどのように過ごしていますか。(一週間に1日または2日程度の活動でも、自分が主に活動していると感じているものをおうかがいします。)  
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「パートやアルバイトとして働いている(契約社員、派遣等を含む)」が14.8%と最も高く、次いで「日中活動は利用していない」が13.7%、「正社員として働いている」が13.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「正社員として働いている」、知的障害では「就労支援・就労継続支援事業所(A型・B型)等で働いている」、精神障害、自立支援医療では「日中活動は利用していない」が最も高くなっています。

単位: %		いる 保育園、学校等に通園・通学して	児童発達支援、放課後等デイサービスに通所している	就労支援・就労継続支援事業所(A型・B型)等で働いている	正社員として働いている	パートやアルバイトとして働いている(契約社員、派遣等を含む)	自宅で働いている(自営業を含む)	自立訓練(生活訓練)、生活介護などで訓練・支援を受けている	医療機関や福祉施設などで看護・介護・デイケアを受けている	日中活動は利用していない	仕事を探している	休職している	その他	不明・無回答
全体(n=914)		5.8	2.3	8.8	13.6	<b>14.8</b>	3.2	6.9	8.1	13.7	5.3	6.7	11.1	9.7
障害 種別	身体障害(n=572)	5.4	1.9	6.3	<b>14.5</b>	14.3	4.0	6.5	9.1	12.6	6.1	6.8	10.5	11.5
	知的障害(n=219)	15.5	7.8	<b>24.7</b>	5.5	11.0	0.0	20.5	5.5	5.0	1.8	1.8	5.5	5.5
	精神障害(n=135)	3.0	0.7	11.9	7.4	16.3	2.2	3.0	7.4	<b>26.7</b>	8.1	10.4	9.6	8.1
	難病(n=165)	0.0	0.0	0.6	<b>21.2</b>	15.8	3.6	3.6	7.9	17.6	3.6	7.3	17.6	9.7
	自立支援医療(n=192)	3.6	1.6	13.5	6.8	15.6	2.1	9.4	7.8	<b>20.3</b>	6.3	8.9	10.4	7.8

問 25 で「保育園、学校等に通園・通学している」または「児童発達支援、放課後等デイサービスに通所している」に○印をつけた方

問 26 (1) どちらに通園・通学等していますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「放課後等デイサービス」が 28.6%と最も高く、次いで「盲・ろう・特別支援学校」が 23.2%、「小学校(特別支援学級を含む)」が 17.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害では「盲・ろう・特別支援学校」「放課後等デイサービス」、知的障害では「放課後等デイサービス」が最も高くなっています。

単位:%		保育園	幼稚園	認定こども園	小学校 (特別支援学級を含む)	中学校 (特別支援学級を含む)	盲・ろう・特別支援学校	高等学校	専門学校等	大学、短期大学	児童発達支援	放課後等デイサービス	その他	不明・無回答
全体(n=56)		7.1	10.7	1.8	17.9	12.5	23.2	12.5	5.4	5.4	7.1	28.6	0.0	5.4
障害 種別	身体障害(n=33)	12.1	12.1	3.0	9.1	3.0	33.3	9.1	6.1	9.1	6.1	33.3	0.0	6.1
	知的障害(n=36)	5.6	8.3	2.8	19.4	16.7	25.0	11.1	2.8	0.0	11.1	36.1	0.0	5.6
	精神障害(n=4)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	自立支援医療(n=7)	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3

※難病は回答なし

問 25 で「保育園、学校等に通園・通学している」または「児童発達支援、放課後等デイサービスに通所している」に○印をつけた方

問 26 (2) 卒園・卒業後の進路はどのように考えていますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「小・中学校に進学したい」が 33.9%と最も高く、次いで「高等学校に進学したい」が 19.6%、「作業所や通所施設を利用したい」が 14.3%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、知的障害では「小・中学校に進学したい」が最も高くなっています。※難病は回答なし

単位:%		小・中学校 に進学したい	高等学校 に進学したい	大学、短期大学 に進学したい	盲・ろう・特別支援学校 に進学したい	作業所や通所施設 を利用したい	専門学校等 に進学したい	企業等で社員として働きたい	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=56)		33.9	19.6	7.1	12.5	14.3	1.8	10.7	1.8	7.1	21.4
障害 種別	身体障害(n=33)	33.3	9.1	6.1	15.2	18.2	0.0	9.1	0.0	6.1	12.1
	知的障害(n=36)	33.3	22.2	5.6	13.9	19.4	2.8	8.3	2.8	8.3	22.2
	精神障害(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0
	自立支援医療(n=7)	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	57.1

問 25 で「就労支援・就労継続支援事業所（A型・B型）等で働いている」「正社員として働いている」「パートやアルバイトとして働いている（契約社員、派遣等を含む）」「自宅で働いている（自営業を含む）」に○印をつけた方

問 27 現在、働いている方におうかがいします。あなたが働く上で困っていることはありますか。  
（あてはまるすべての番号に○印をつけてください。）

全体では「特に問題点はない」が 35.2%と最も高く、次いで「収入が少ない」が 31.9%、「通勤が大変」が 17.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「特に問題点はない」、その他の区分においては「収入が少ない」が最も高くなっています。

単位：%		通勤が大変	収入が少ない	仕事がかたい	休みが少ない	勤務時間が長い	職場で障がいについての理解が少ない	施設内（トイレ等）の設備が不十分	職場内に相談できる人がいない	特に問題点はない	その他	不明・無回答
全体 (n=364)		17.0	31.9	11.3	7.7	8.8	13.2	3.6	9.9	<b>35.2</b>	4.4	6.3
障害種別	身体障害 (n=221)	14.9	31.2	8.6	4.5	7.7	13.1	1.8	7.2	<b>41.6</b>	4.5	4.1
	知的障害 (n=90)	15.6	<b>33.3</b>	10.0	8.9	6.7	7.8	4.4	10.0	32.2	6.7	10.0
	精神障害 (n=50)	26.0	<b>52.0</b>	18.0	18.0	14.0	18.0	4.0	20.0	18.0	4.0	2.0
	難病 (n=67)	11.9	20.9	11.9	10.4	14.9	13.4	7.5	11.9	<b>41.8</b>	0.0	7.5
	自立支援医療 (n=72)	26.4	<b>47.2</b>	15.3	9.7	12.5	19.4	2.8	22.2	16.7	2.8	5.6

問 28 現在の日中の活動はどのような方法で見つけましたか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では、「その他」を除き「自分で探した」が 33.3%と最も高く、次いで「学校の紹介」が 17.3%、「公共職業安定所(ハローワーク)」が 10.3%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「学校の紹介」、その他の区分においては「自分で探した」が最も高くなっています。

単位：%		公共職業安定所 (ハローワーク)	障害者就労支援センターの紹介	市役所の相談窓口の紹介	学校の紹介	家族や親族の紹介	自分で探した	職業訓練校の紹介	相談支援事業者の紹介	福祉施設の紹介	通院先の医療機関の紹介	入院していた医療機関の紹介	その他
全体(n=543)		10.3	7.0	6.1	17.3	7.6	<b>33.3</b>	1.3	5.9	3.9	4.1	3.9	17.1
障害種類	身体障害(n=330)	11.2	4.8	4.8	14.8	7.6	<b>35.8</b>	0.9	4.5	2.1	4.5	4.8	17.9
	知的障害(n=164)	4.3	10.4	9.1	<b>36.6</b>	7.9	13.4	2.4	7.9	6.7	0.6	1.8	14.6
	精神障害(n=84)	9.5	15.5	13.1	13.1	8.3	<b>28.6</b>	1.2	9.5	7.1	9.5	3.6	17.9
	難病(n=88)	13.6	1.1	3.4	9.1	4.5	<b>48.9</b>	1.1	3.4	1.1	1.1	6.8	14.8
	自立支援医療(n=128)	10.9	10.2	13.3	13.3	4.7	<b>28.9</b>	0.8	12.5	6.3	7.0	2.3	17.2

※不明・無回答を除く

問 30 障がいのある人が働くためには、どのような環境が必要だと思いますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「周囲が自分の障がいを理解してくれること」が59.7%と最も高く、次いで「障がいにあった仕事であること」が45.1%、「勤務時間や日数を調整できること」が38.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「周囲が自分の障がいを理解してくれること」が最も高くなっています。

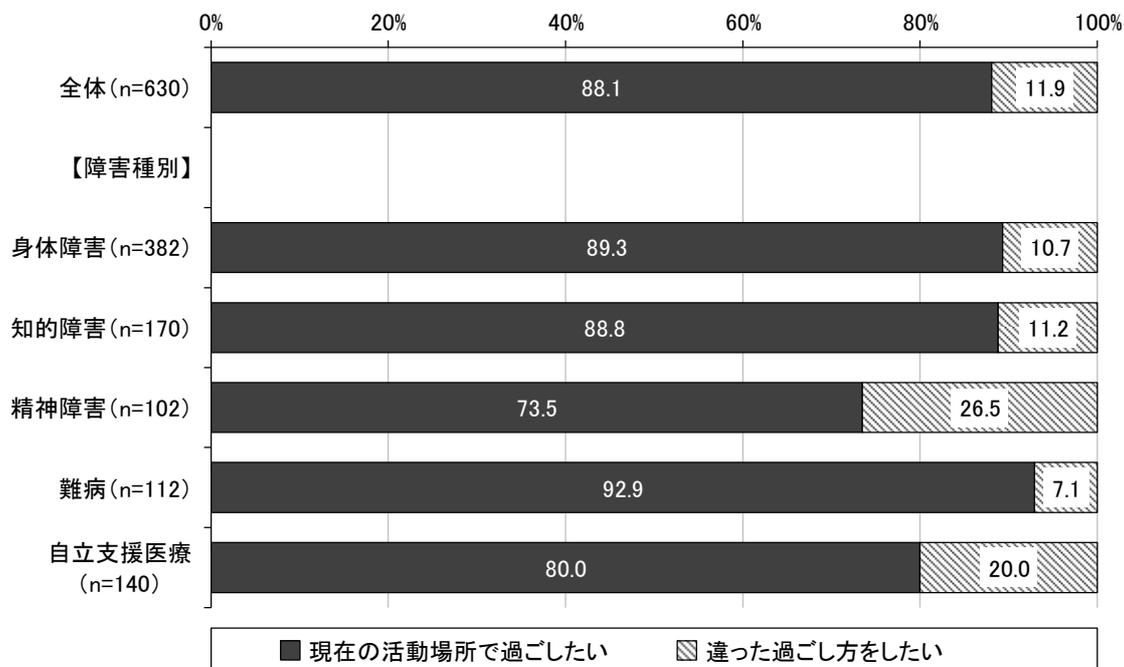
単位：%		周囲が自分の障がいを理解してくれること	障がいにあった仕事であること	勤務時間や日数を調整できること	職場に良き指導者や先輩がいること	通勤手段があること	ジョブコーチ等の制度があること	賃金が妥当であること	通院等を会社等が保障してくれること	勤務場所に障がい者用の設備があること	就労のための技術を身に付けてられること	自宅で仕事ができる環境であること	その他	不明・無回答
全体(n=914)		59.7	45.1	38.2	35.2	33.0	22.4	30.2	25.9	23.6	19.5	18.4	3.4	23.9
障害種別	身体障害(n=572)	57.0	43.0	35.1	29.7	31.1	18.2	28.5	25.5	25.0	16.6	18.4	3.7	26.4
	知的障害(n=219)	66.7	53.9	32.9	48.9	37.9	32.0	31.1	24.7	26.9	25.1	8.2	5.0	16.9
	精神障害(n=135)	67.4	52.6	51.1	44.4	39.3	29.6	40.0	31.9	20.0	22.2	23.0	4.4	16.3
	難病(n=165)	53.3	37.6	41.2	30.9	32.7	18.8	27.3	24.8	23.6	17.6	17.0	0.6	32.7
	自立支援医療(n=192)	68.8	56.3	46.4	43.2	39.6	30.2	37.5	31.8	21.9	24.0	20.8	3.6	15.6

問 31 あなたは日中、どのような過ごし方を希望しますか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「現在の活動場所で過ごしたい」が88.1%、「違った過ごし方をしたい」が11.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「現在の活動場所で過ごしたい」が高くなっています。



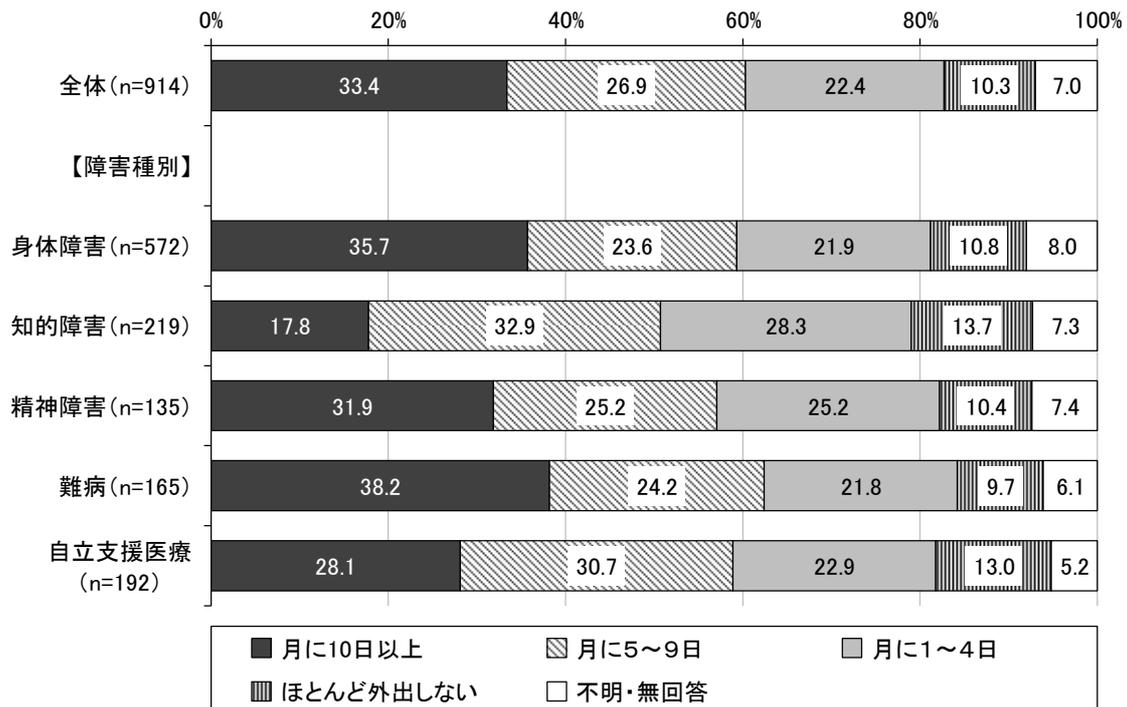
※不明・無回答を除く

## 9. 外出状況について

問 32 あなたは、日常的な通園、通学、仕事等以外で、月にどのくらい外出をしますか。  
 (平日と休日を含めた日数)(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「月に10日以上」が33.4%と最も高く、次いで「月に5～9日」が26.9%、「月に1～4日」が22.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害、自立支援医療では「月に5～9日」、その他の区分においては「月に10日以上」が最も高くなっています。



問 32 で「月に 10 日以上」「月に 5～9 日」「月に 1～4 日」のいずれかに○印をつけた方

問 32（1）どのような目的で外出しますか。（あてはまるすべての番号に○印をつけてください。）

全体では「買い物」が 84.5%と最も高く、次いで「通院」が 65.1%、「散歩」が 41.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「買い物」が最も高くなっています。

単位：%		買 い 物	散 歩	趣 味 、 遊 び 、 ス ポ ー ツ	通 院	サ ー ク ル 、 団 体 活 動	各 種 申 請 、 手 続	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=756)		84.5	41.4	39.0	65.1	9.4	17.2	10.4	0.5
障 害 種 別	身体障害 (n=464)	83.8	42.0	38.6	64.4	9.9	16.6	9.1	0.6
	知的障害 (n=173)	74.6	48.6	38.2	53.2	12.7	5.8	16.8	1.7
	精神障害 (n=111)	89.2	37.8	36.0	78.4	6.3	34.2	9.9	1.8
	難病 (n=139)	84.2	39.6	43.2	76.3	8.6	18.0	6.5	0.0
	自立支援医療 (n=157)	84.7	39.5	36.9	75.8	9.6	28.0	11.5	0.6

問 32 で「月に 10 日以上」「月に 5～9 日」「月に 1～4 日」のいずれかに○印をつけた方

問 32（2）問 32（1）の外出の際に利用する交通手段は何ですか。

（あてはまるすべての番号に○印をつけてください。）

全体では「徒歩」が 52.2%と最も高く、次いで「自家用車(家族が運転)」が 42.1%、「鉄道・バスなどの公共交通機関」が 40.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「自家用車(家族が運転)」、その他の区分においては「徒歩」が最も高くなっています。

単位：%		徒 歩	車 い す （ 電 動 車 い す を 含 む ）	鉄 道 ・ バ ス な ど の 公 共 交 通 機 関	自 家 用 車 （ 自 分 で 運 転 ）	自 家 用 車 （ 家 族 が 運 転 ）	タ ク シー	福 祉 バ ス 等	自 転 車 、 バ イク	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=756)		52.2	5.4	40.5	30.2	42.1	6.3	2.8	16.7	4.5	1.2
障 害 種 別	身体障害 (n=464)	48.7	8.8	38.8	33.0	42.5	6.3	3.2	13.4	4.5	1.7
	知的障害 (n=173)	50.9	5.2	42.8	2.3	56.6	5.8	6.4	15.6	11.0	1.2
	精神障害 (n=111)	63.1	2.7	54.1	16.2	33.3	9.0	3.6	26.1	1.8	0.9
	難病 (n=139)	47.5	3.6	34.5	46.0	41.7	7.2	1.4	15.1	2.9	0.7
	自立支援医療 (n=157)	59.9	1.9	49.0	15.9	36.9	7.6	3.8	21.7	4.5	1.3

問 32 で「月に 10 日以上」「月に 5～9 日」「月に 1～4 日」のいずれかに○印をつけた方

問 32（3）外出の際に、困ったり不便に思うことはありますか。

（あてはまるすべての番号に○印をつけてください。）

全体では「特にない」が 40.1%と最も高く、次いで「電車などの交通機関の利用が不便」が 17.6%、「外出にお金がかかりすぎる」が 13.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「特にない」が最も高く、次いで精神障害では「外出にお金がかかりすぎる」、その他の区分では「電車などの交通機関の利用が不便」となっています。

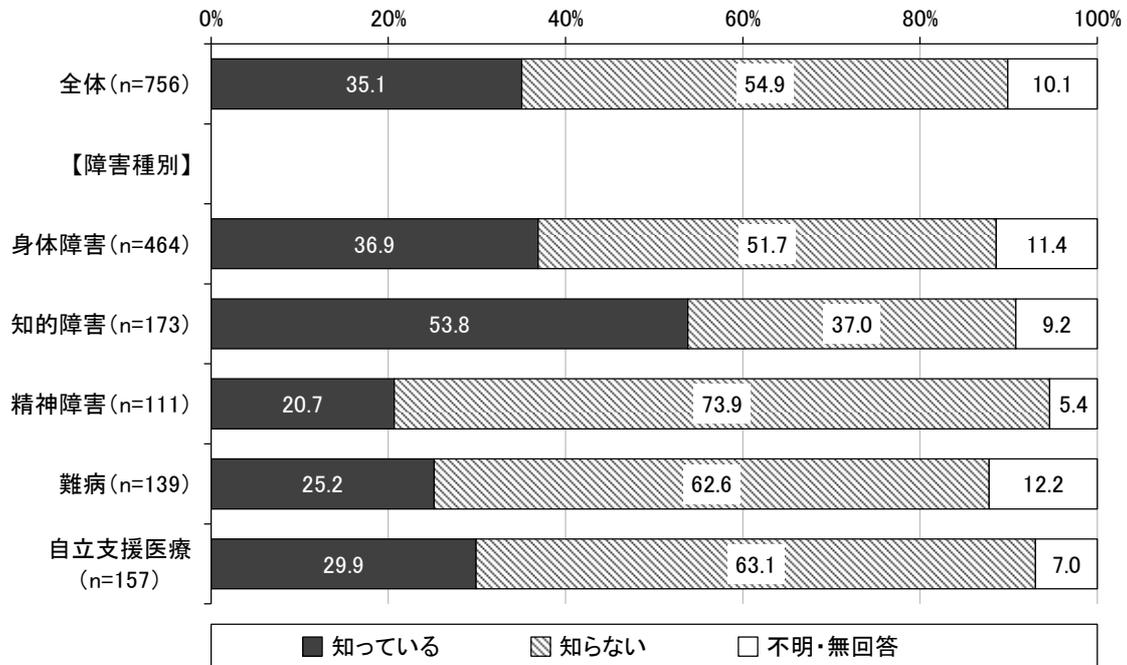
単位：%		電車などの交通機関の利用が不便	自家用車を利用するのに駐車場が不備または少ない	歩道、誘導ブロックの（狭い、障害物、誘導ブロックの（狭い、障害物）	建物内の設備が利用しにくい（階段、トイレ、案内表示など）	身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない	外出にお金がかかりすぎる	介助者がいない	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=756)		17.6	12.6	13.0	9.3	11.4	13.4	3.7	5.7	<b>40.1</b>	14.4
障害種別	身体障害 (n=464)	15.1	14.2	14.7	11.4	10.6	11.2	3.2	5.4	<b>39.7</b>	15.3
	知的障害 (n=173)	22.0	9.2	15.0	7.5	13.3	9.8	6.4	5.8	<b>35.8</b>	15.0
	精神障害 (n=111)	21.6	9.9	8.1	6.3	16.2	23.4	7.2	8.1	<b>40.5</b>	9.0
	難病 (n=139)	19.4	14.4	18.7	13.7	10.1	12.9	2.2	5.8	<b>41.7</b>	10.1
	自立支援医療 (n=157)	20.4	10.2	10.8	5.7	17.2	19.1	7.0	7.0	<b>38.9</b>	9.6

問 32 で「月に 10 日以上」「月に 5～9 日」「月に 1～4 日」のいずれかに○印をつけた方

問 32（4）移動や外出にかかわるサービス（移動支援、行動援護、同行援護、重度訪問介護）を知っていますか。（番号に○印を 1 つだけつけてください。）

全体では「知っている」が 35.1%、「知らない」が 54.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「知っている」、その他の区分においては「知らない」が高くなっています。



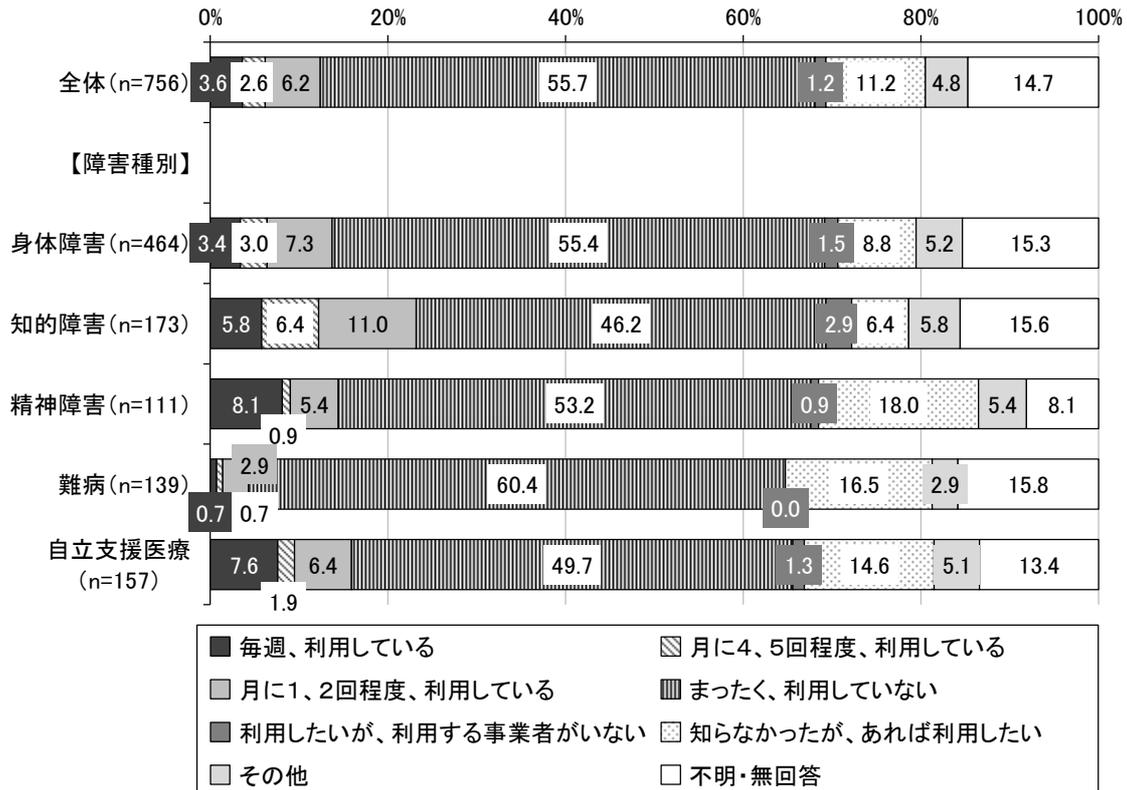
問 32 で「月に 10 日以上」「月に 5～9 日」「月に 1～4 日」のいずれかに○印をつけた方

問 32 (5) 移動や外出にかかわるサービスをどのくらい利用していますか。

(番号に○印を 1 つだけつけてください。)

全体では「まったく、利用していない」が 55.7%と最も高く、次いで「知らなかったが、あれば利用したい」が 11.2%、「月に 1、2 回程度、利用している」が 6.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「まったく、利用していない」が最も高くなっています。また、知的障害では『利用している(「毎週、利用している」「月に 4、5 回程度、利用している」「月に 1、2 回程度、利用している」の計)』がその他の区分に比べて高くなっています。



問 32 で「ほとんど外出しない」に○印をつけた方

問 32 (6) 外出をしない理由は何ですか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では、「その他」を除き「乗り物の利用が困難」「障がい重い」が 27.7%と最も高く、次いで「外出が面倒だ」が 25.5%、「家族に負担がかかる」が 24.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害では「障がい重い」、知的障害では「人と会話ができない」、精神障害では「お金がかかる」「外出が面倒だ」、難病では「家族に負担がかかる」、自立支援医療では「お金がかかる」が最も高くなっています。

単位：%		道路や階段が不便・危険	乗り物の利用が困難	トイレが心配	介護者がいない	お金がかかる	家族に負担がかかる	障がい重い	人の視線が気になる	人と会話ができない	外出が面倒だ	その他	不明・無回答
全体(n=94)		21.3	<b>27.7</b>	18.1	14.9	22.3	24.5	<b>27.7</b>	13.8	20.2	25.5	33.0	6.4
障害種別	身体障害(n=62)	27.4	30.6	21.0	21.0	21.0	30.6	<b>33.9</b>	6.5	19.4	17.7	29.0	6.5
	知的障害(n=30)	13.3	26.7	16.7	16.7	10.0	13.3	30.0	10.0	<b>36.7</b>	13.3	30.0	13.3
	精神障害(n=14)	0.0	28.6	7.1	0.0	<b>50.0</b>	7.1	28.6	35.7	14.3	<b>50.0</b>	28.6	7.1
	難病(n=16)	18.8	37.5	6.3	12.5	18.8	<b>50.0</b>	12.5	6.3	6.3	43.8	43.8	6.3
	自立支援医療(n=25)	4.0	24.0	12.0	8.0	<b>40.0</b>	8.0	24.0	24.0	16.0	36.0	24.0	8.0

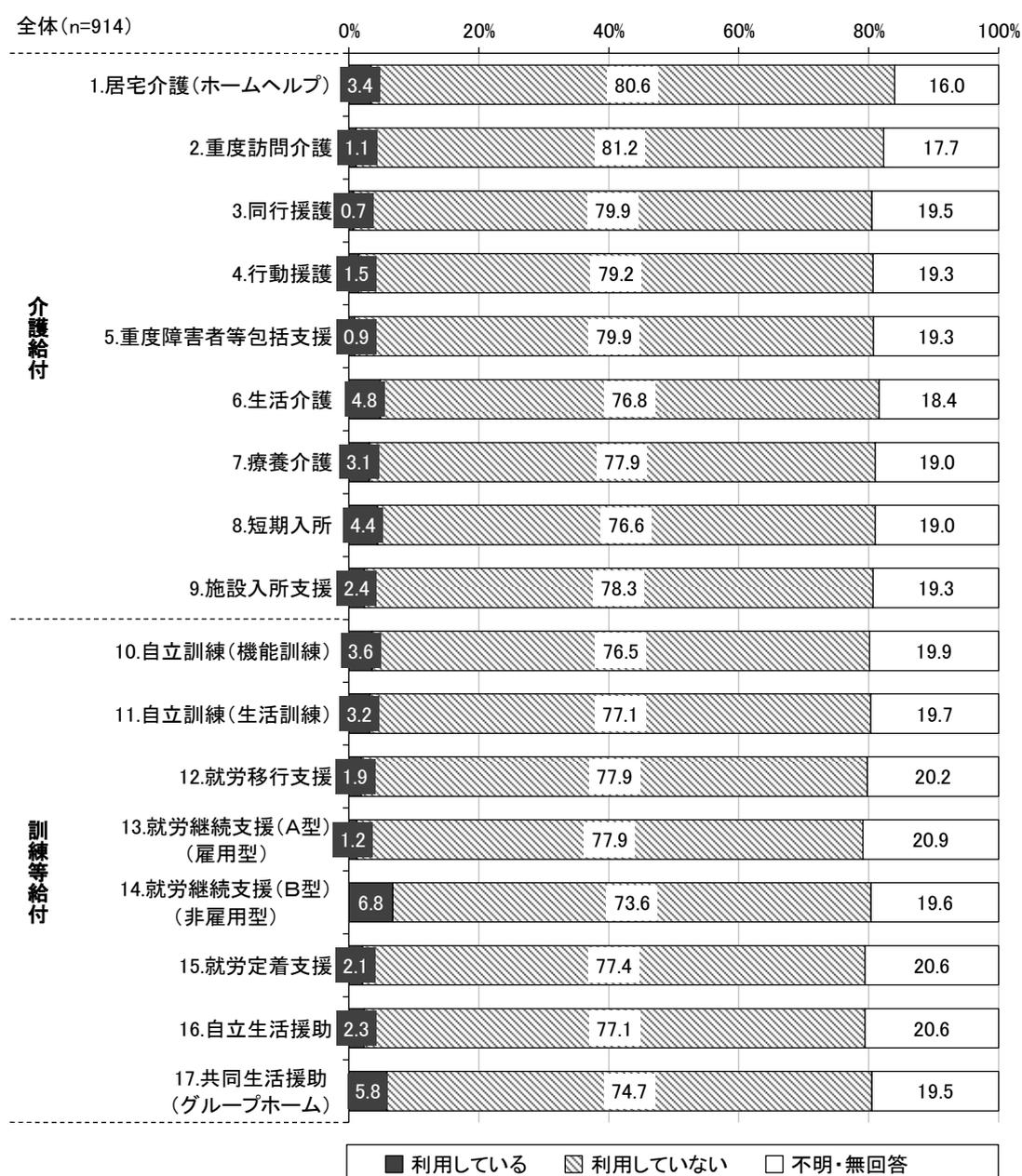
## 10. 障害福祉サービスについて

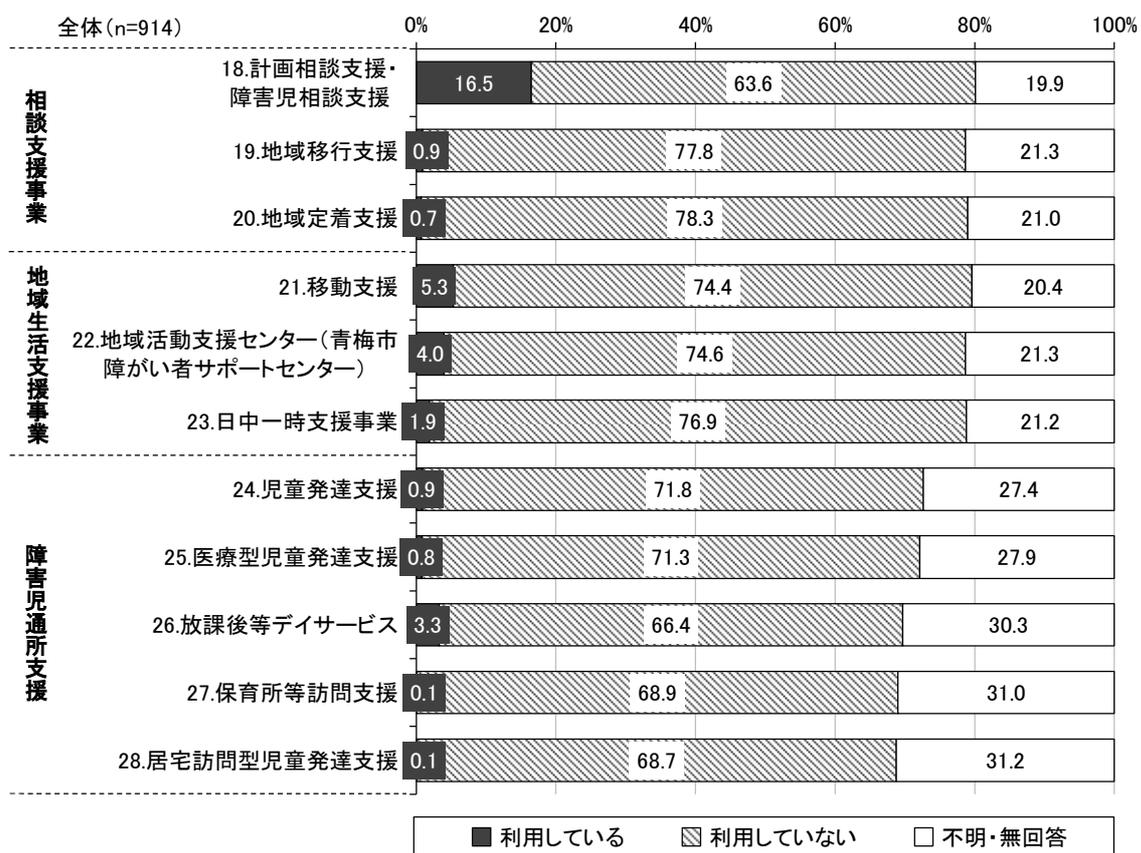
問 33 障害者総合支援法、児童福祉法の福祉サービスについて、あなたの利用状況をお答えください。(1～28 までのそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」で両方の、1か2のどちらかの番号に○印をしてください。)

### 全体

すべてのサービスで「利用していない」が高くなっています。「利用している」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で16.5%と最も高く、次いで[14.就労継続支援(B型)(非雇用型)]で6.8%、[17.共同生活援助(グループホーム)]で5.8%となっています。

### ■現在の利用状況

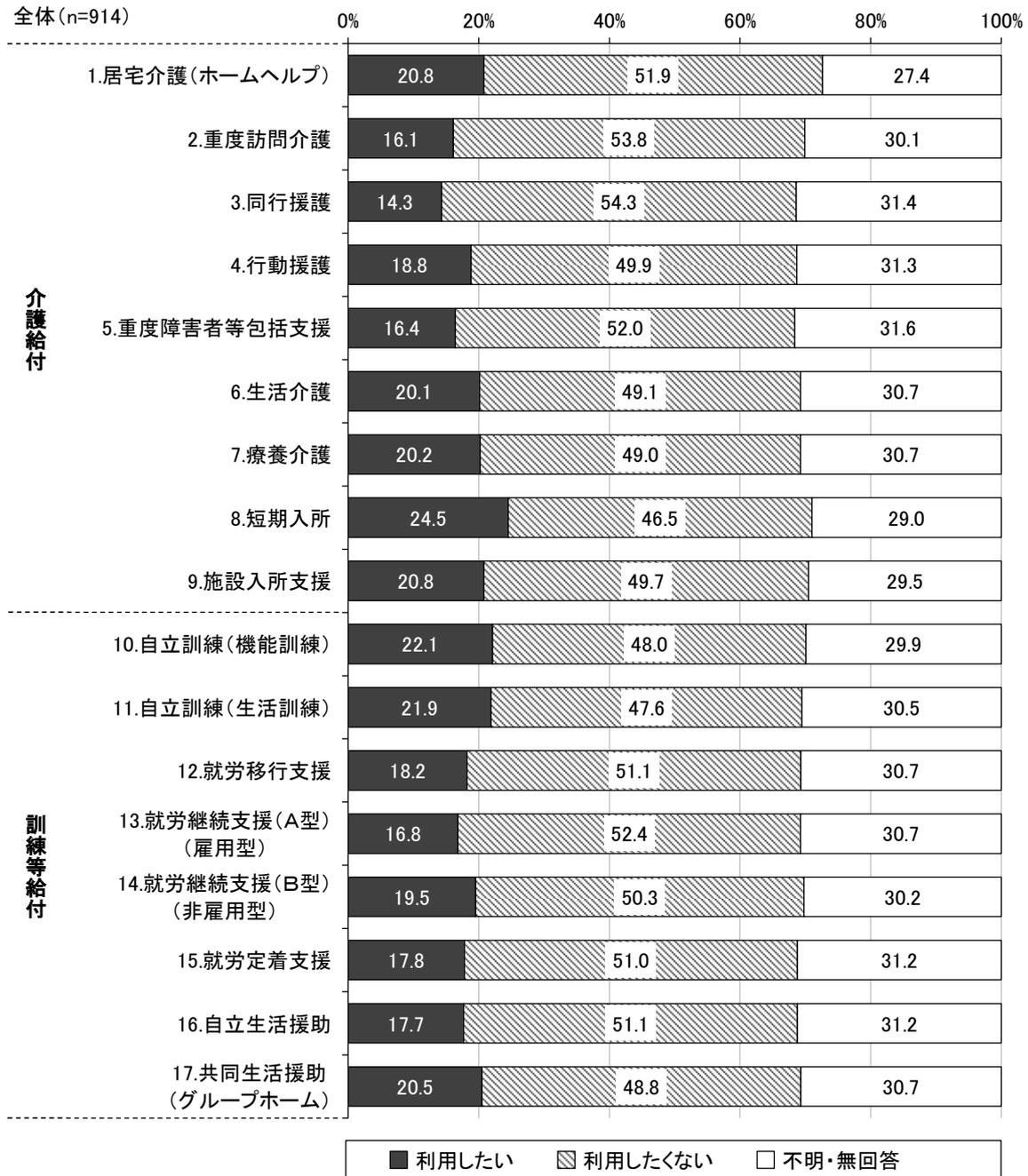


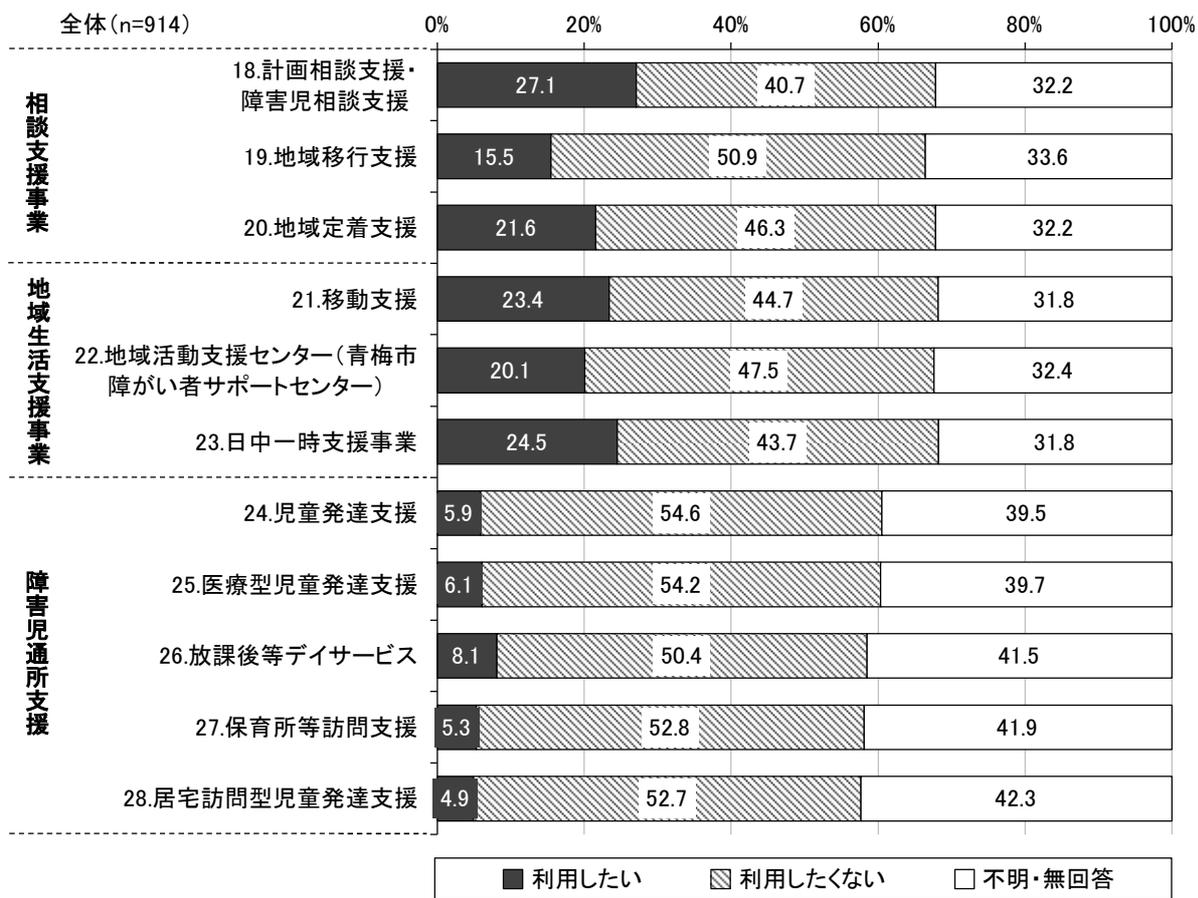


**全体**

すべてのサービスで「利用したくない」が高くなっています。「利用したい」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で27.1%と最も高く、次いで[8.短期入所][23.日中一時支援事業]で24.5%、[21.移動支援]で23.4%となっています。

**■今後の利用意向**

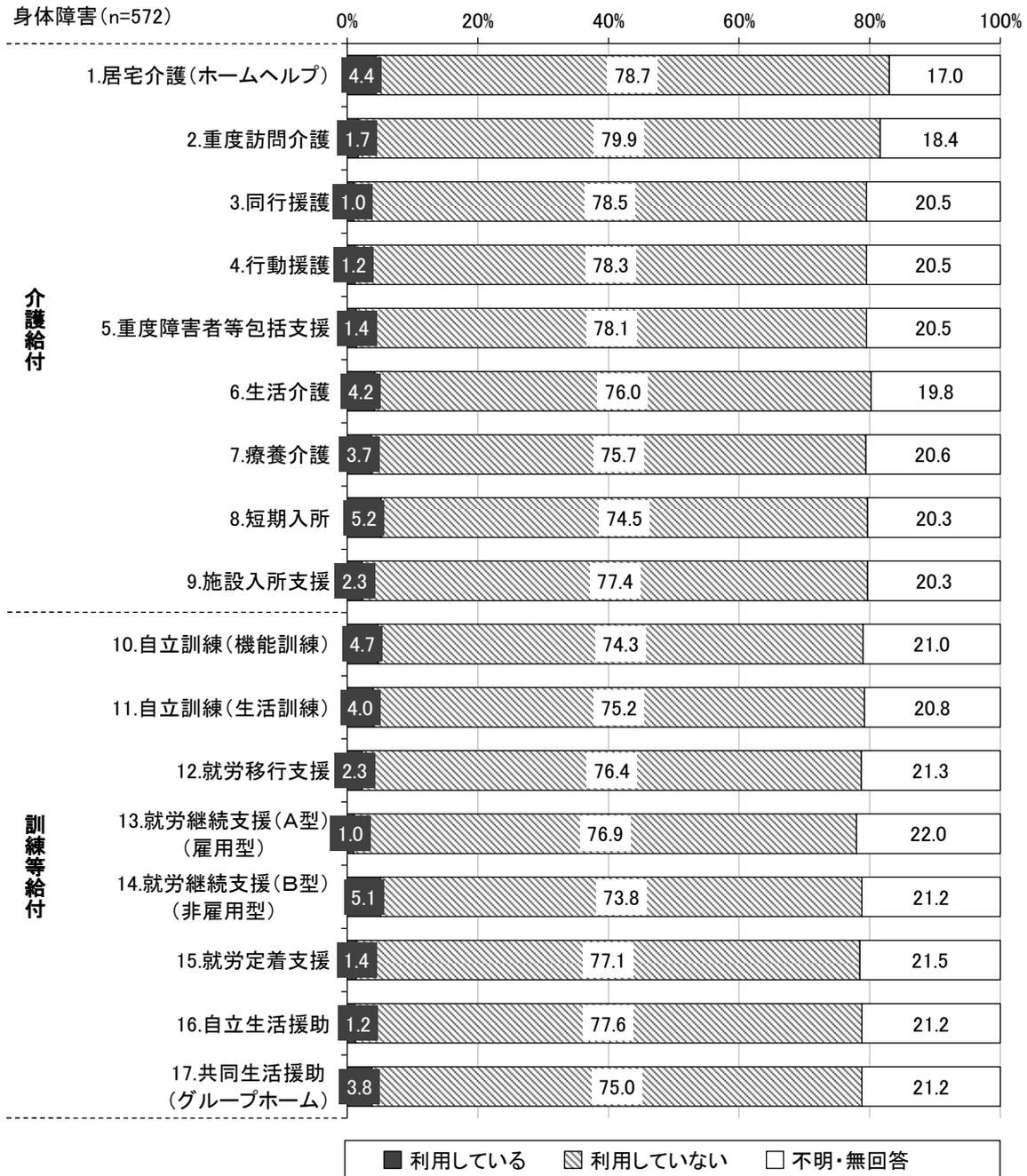


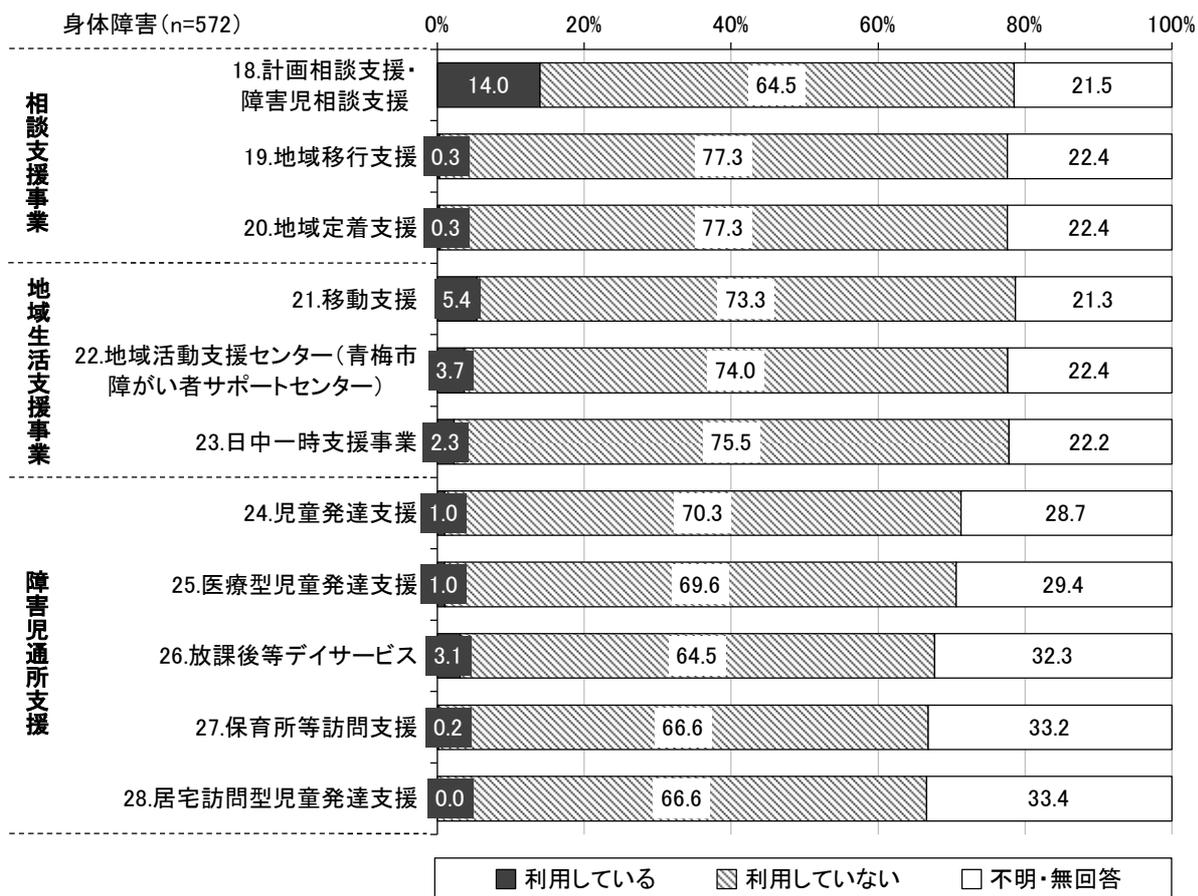


## 身体障害

すべてのサービスで「利用していない」が高くなっています。「利用している」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で14.0%と最も高く、次いで[21.移動支援]で5.4%、[8.短期入所]で5.2%となっています。

### ■現在の利用状況

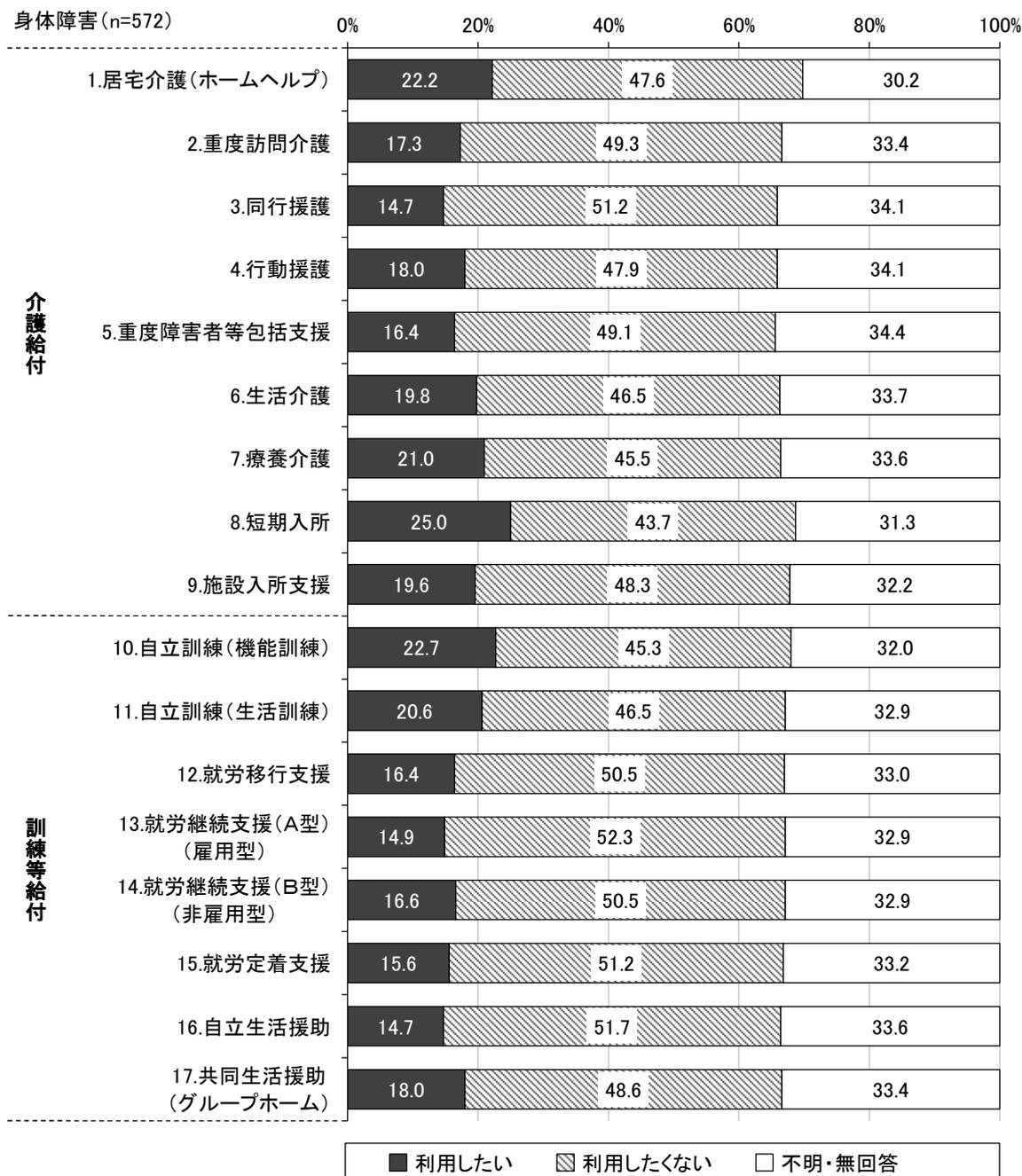


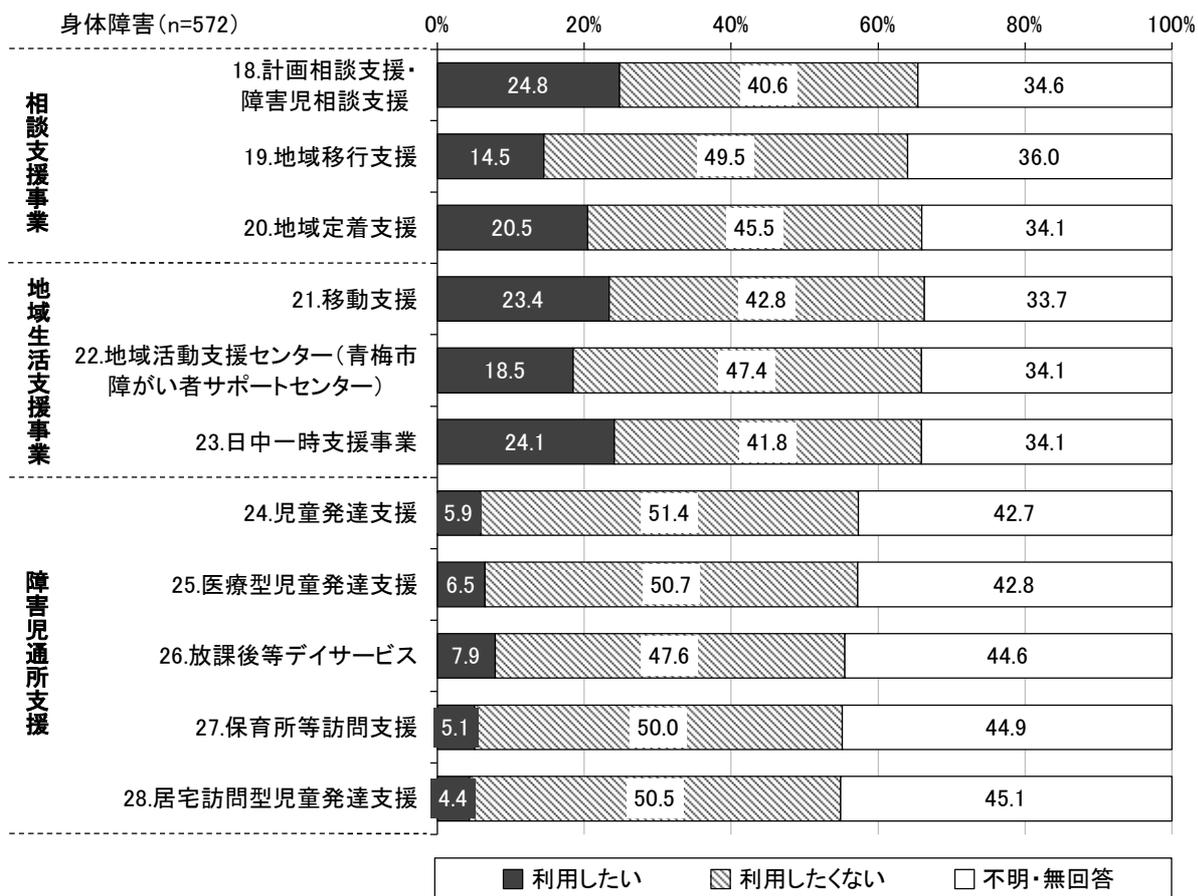


## 身体障害

すべてのサービスで「利用したくない」が高くなっています。「利用したい」は[8.短期入所]で25.0%と最も高く、次いで[18.計画相談支援・障害児相談支援]で24.8%、[23.日中一時支援事業]で24.1%となっています。

### ■今後の利用意向

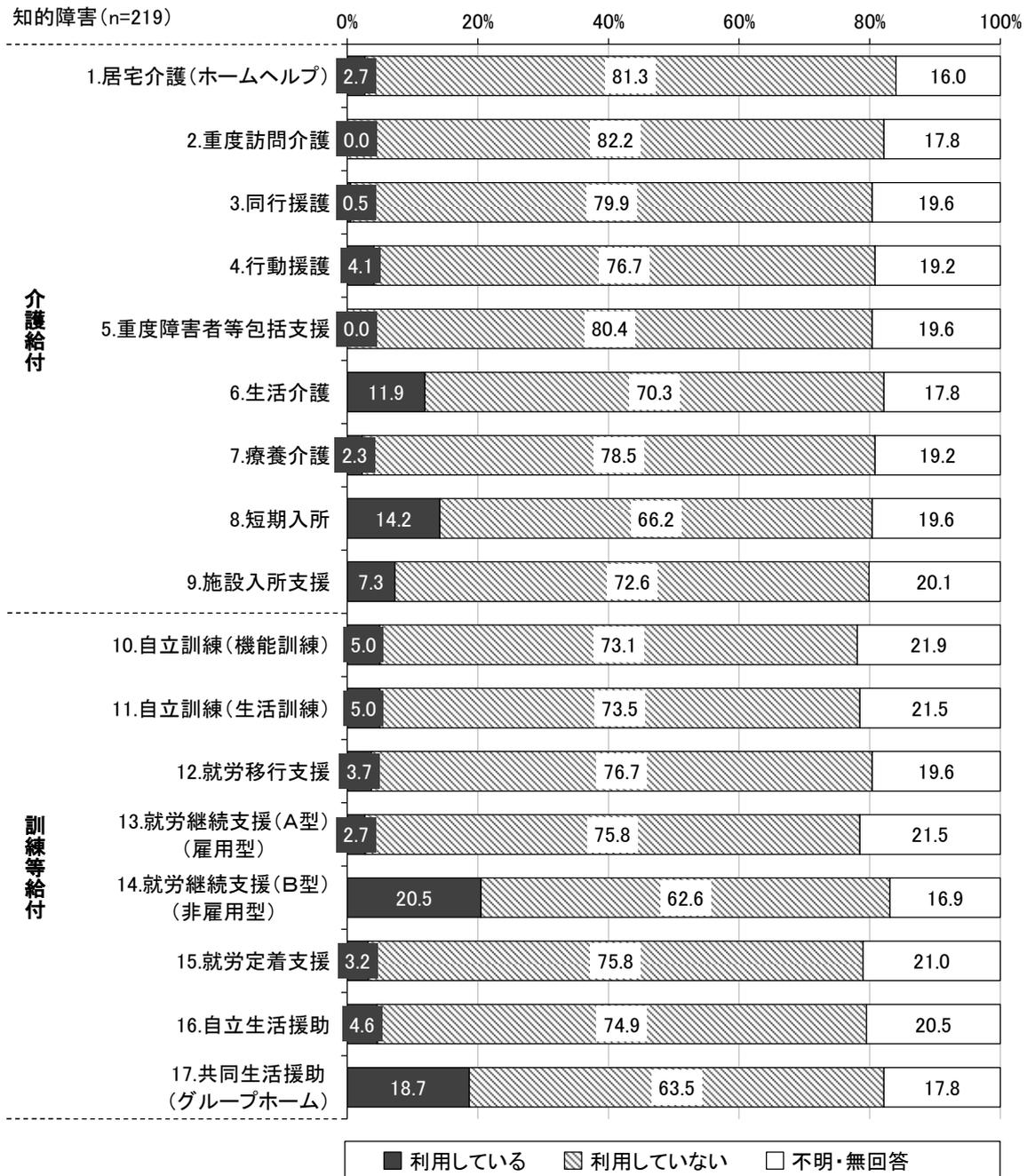


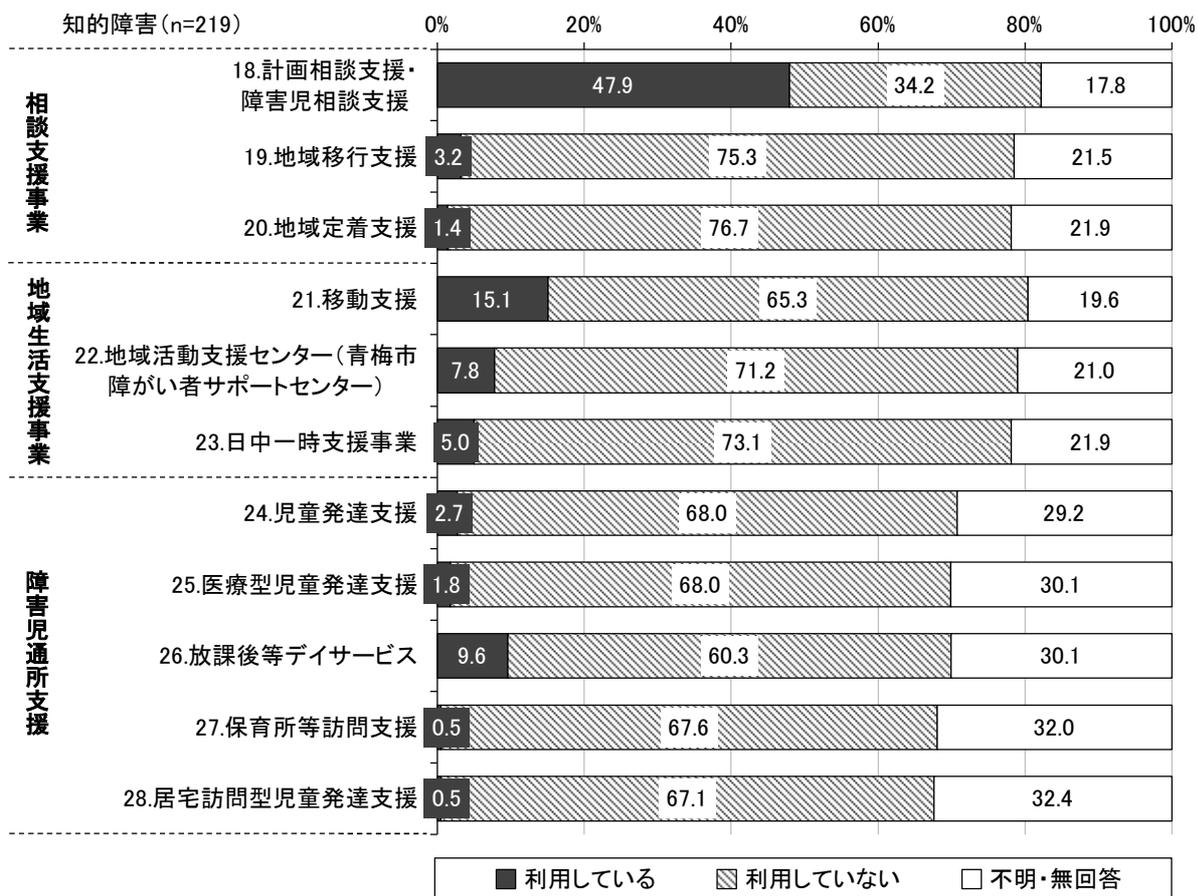


## 知的障害

[18.計画相談支援・障害児相談支援]では「利用している」、それ以外のサービスでは「利用していない」が高くなっています。「利用している」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で47.9%と最も高く、次いで[14.就労継続支援(B型)(非雇用型)]で20.5%、[17.共同生活援助(グループホーム)]で18.7%となっています。

### ■現在の利用状況

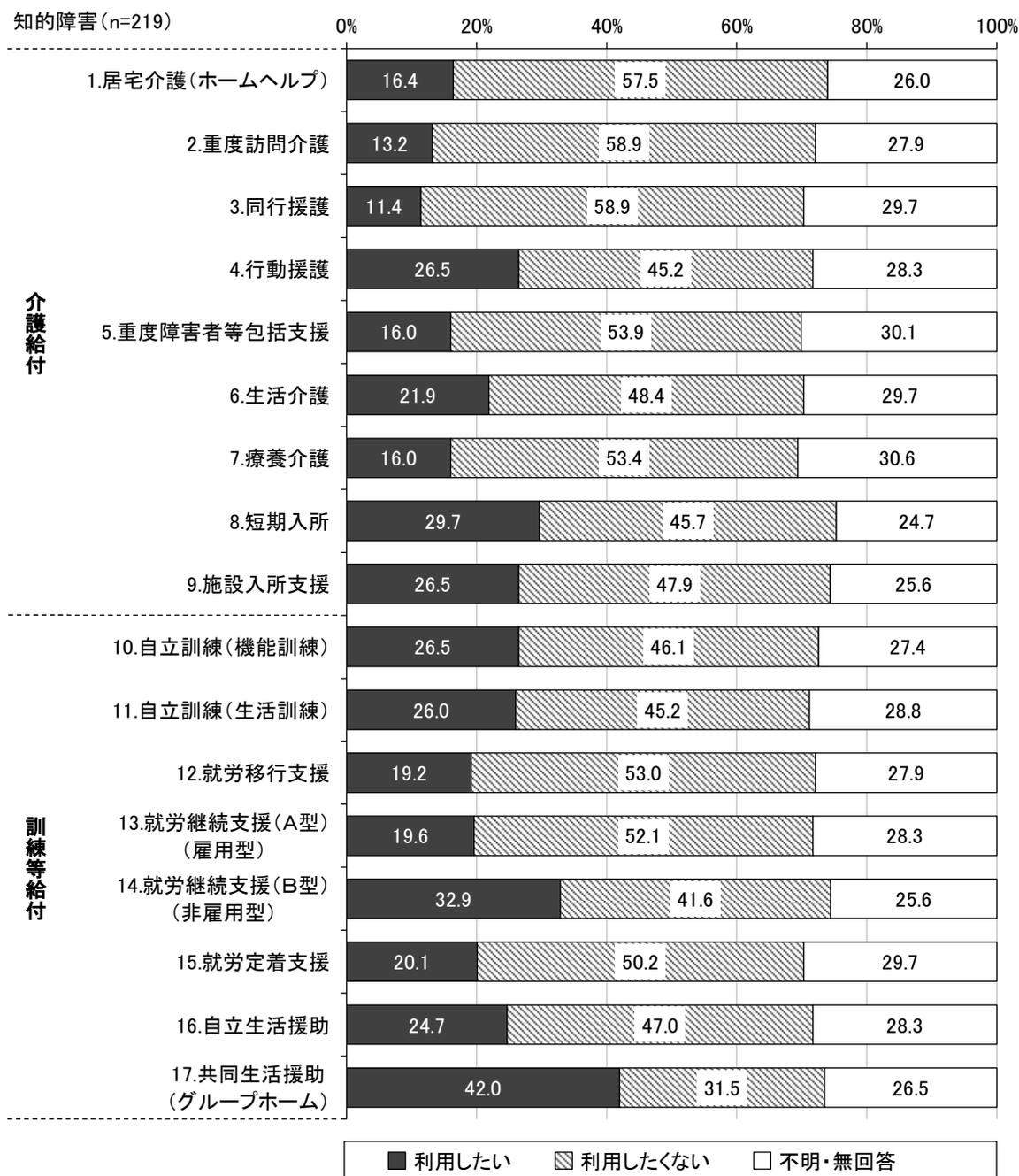


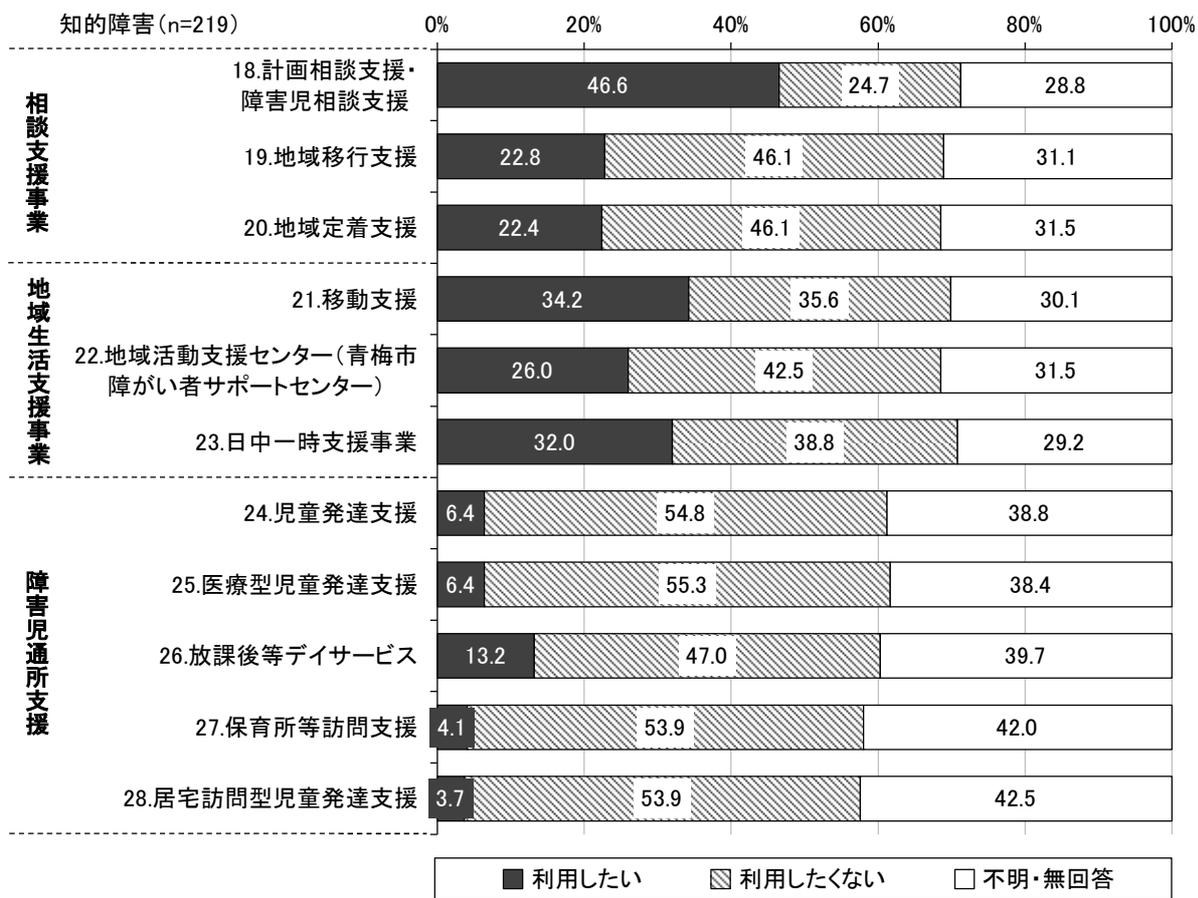


## 知的障害

[17.共同生活援助(グループホーム)][18.計画相談支援・障害児相談支援]では「利用したい」、それ以外のサービスでは「利用したくない」が高くなっています。「利用したい」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で46.6%と最も高く、次いで[17.共同生活援助(グループホーム)]で42.0%、[21.移動支援]で34.2%となっています。

### ■今後の利用意向

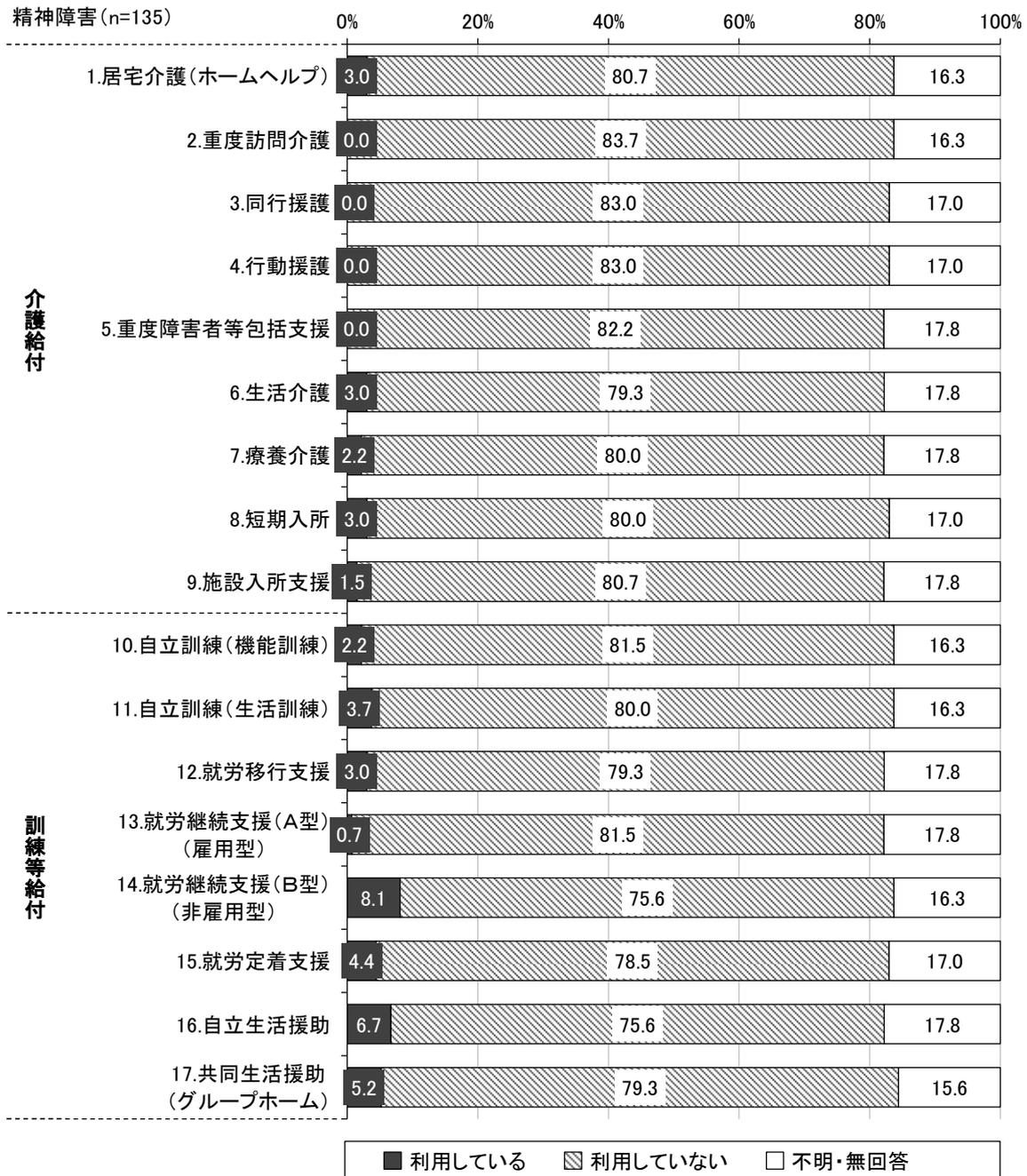


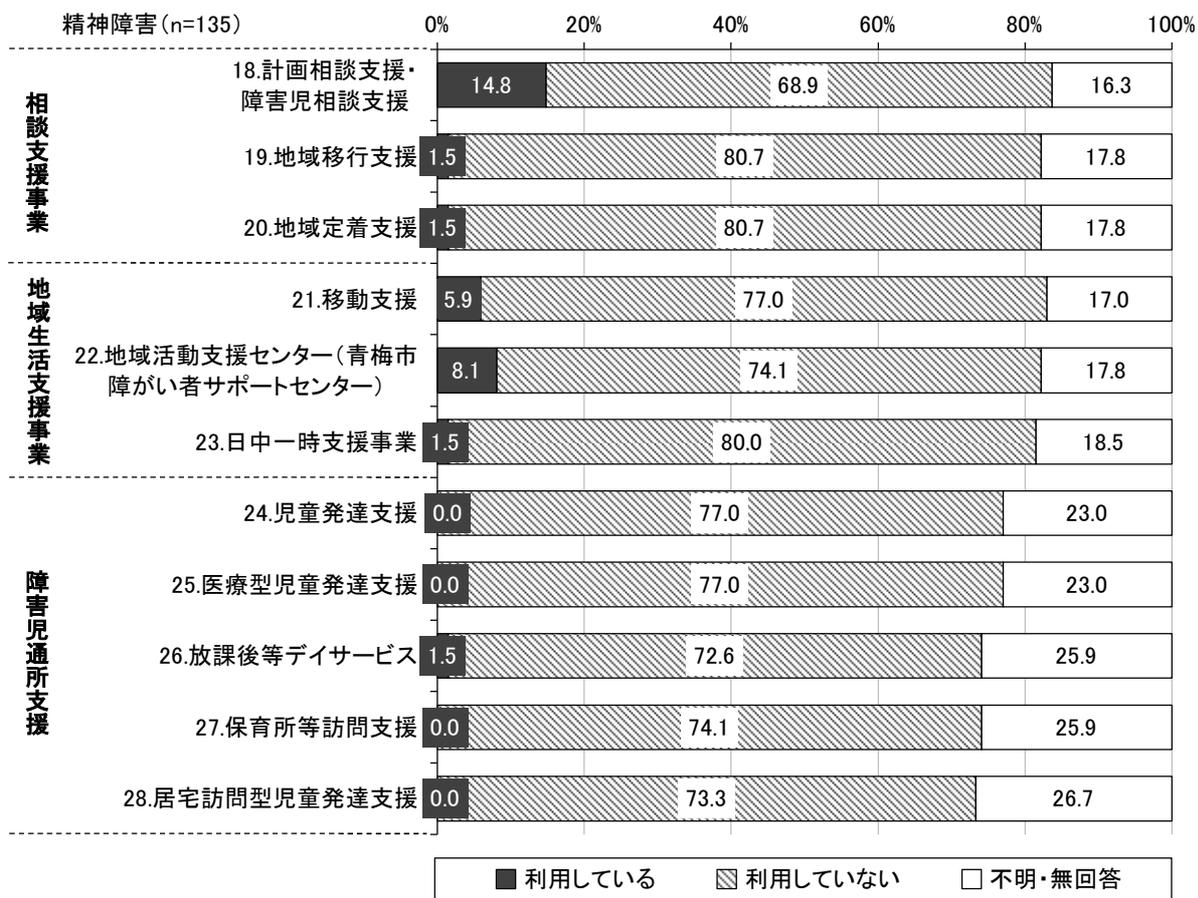


## 精神障害

すべてのサービスで「利用していない」が高くなっています。「利用している」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で14.8%と最も高く、次いで[14.就労継続支援(B型)(非雇用型)][22.地域活動支援センター(青梅市障がい者サポートセンター)]で8.1%、[16.自立生活援助]で6.7%となっています。

### ■現在の利用状況

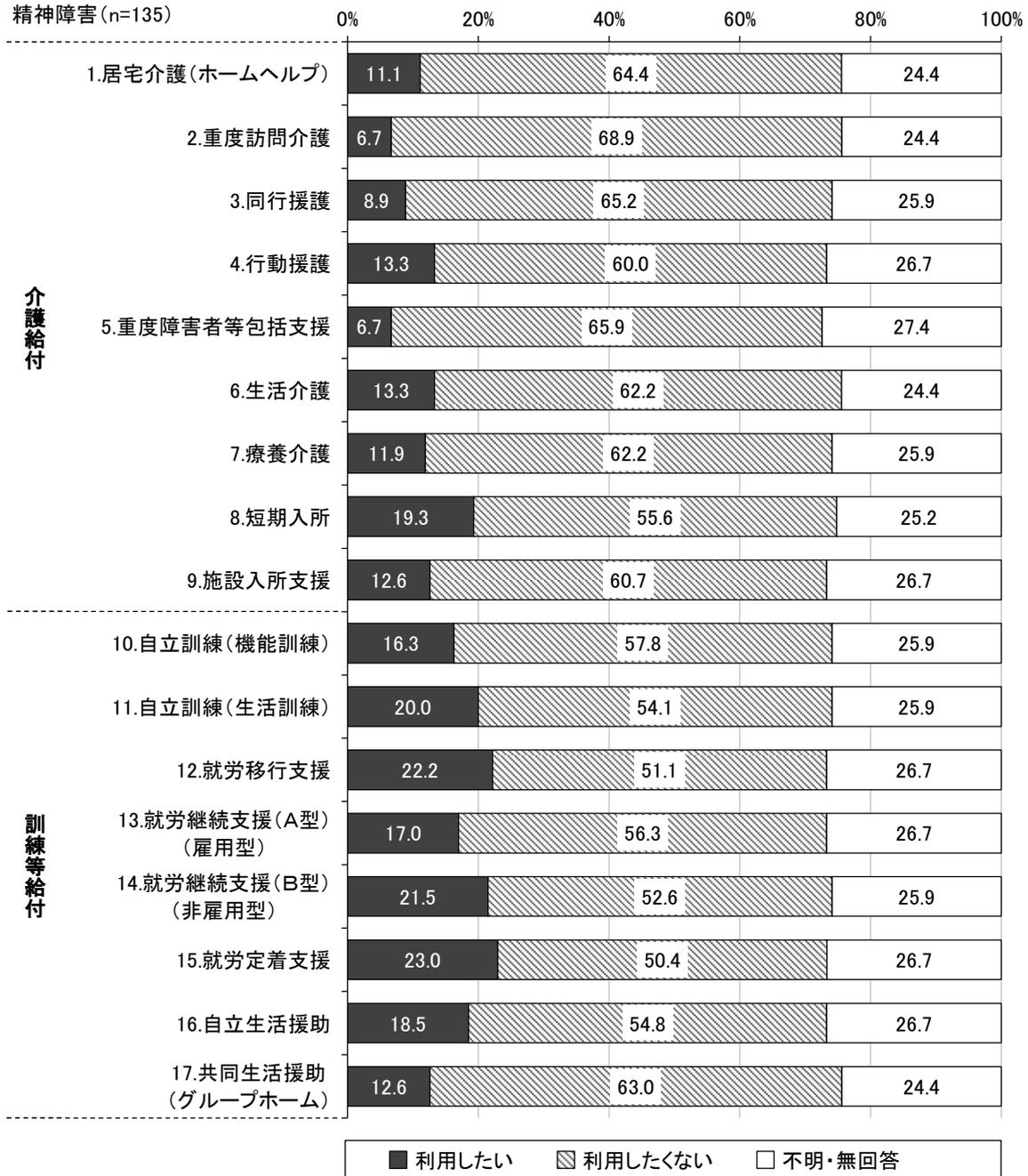


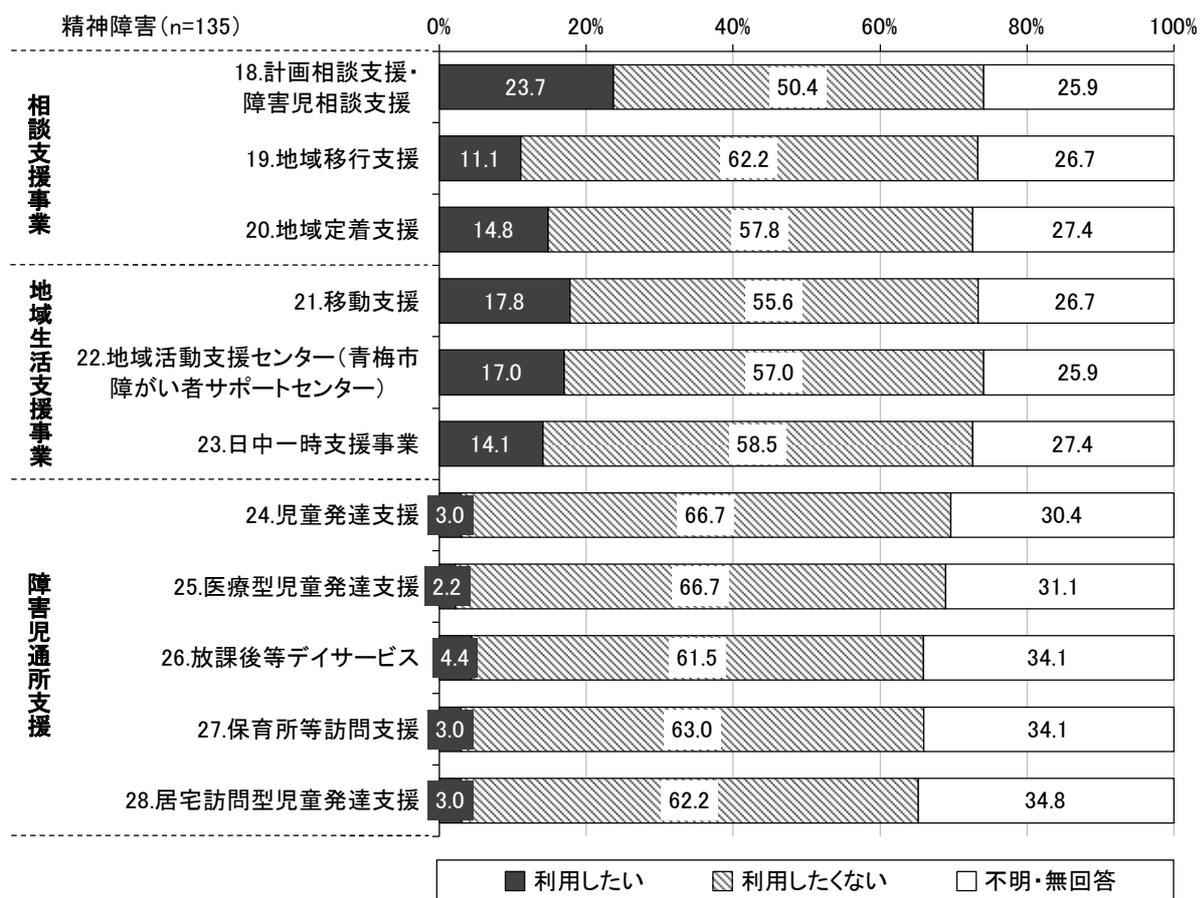


## 精神障害

すべてのサービスで「利用したくない」が高くなっています。「利用したい」は[18. 計画相談支援・障害児相談支援]で23.7%と最も高く、次いで[15. 就労定着支援]で23.0%、[12. 就労移行支援]で22.2%となっています。

### ■今後の利用意向

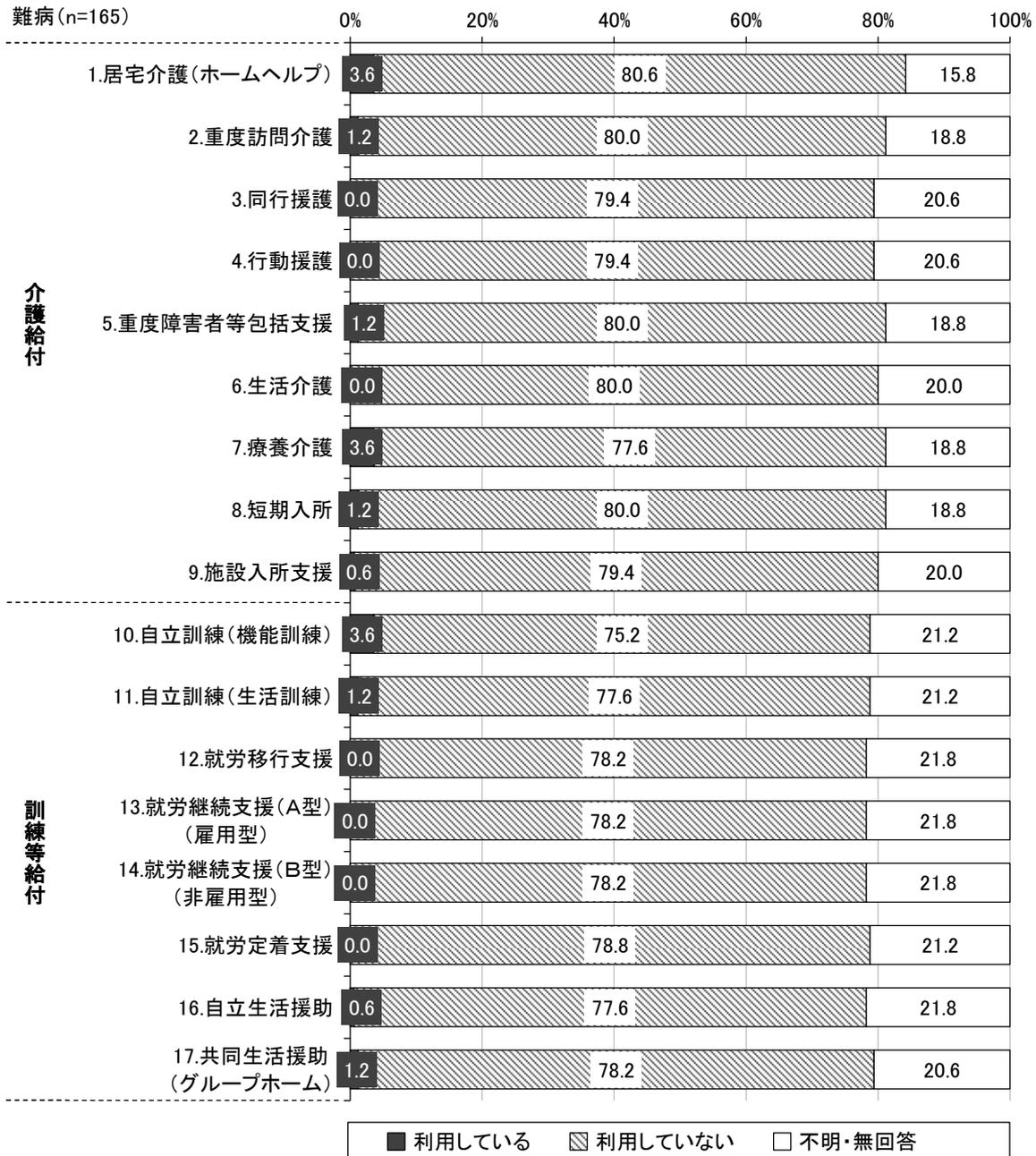


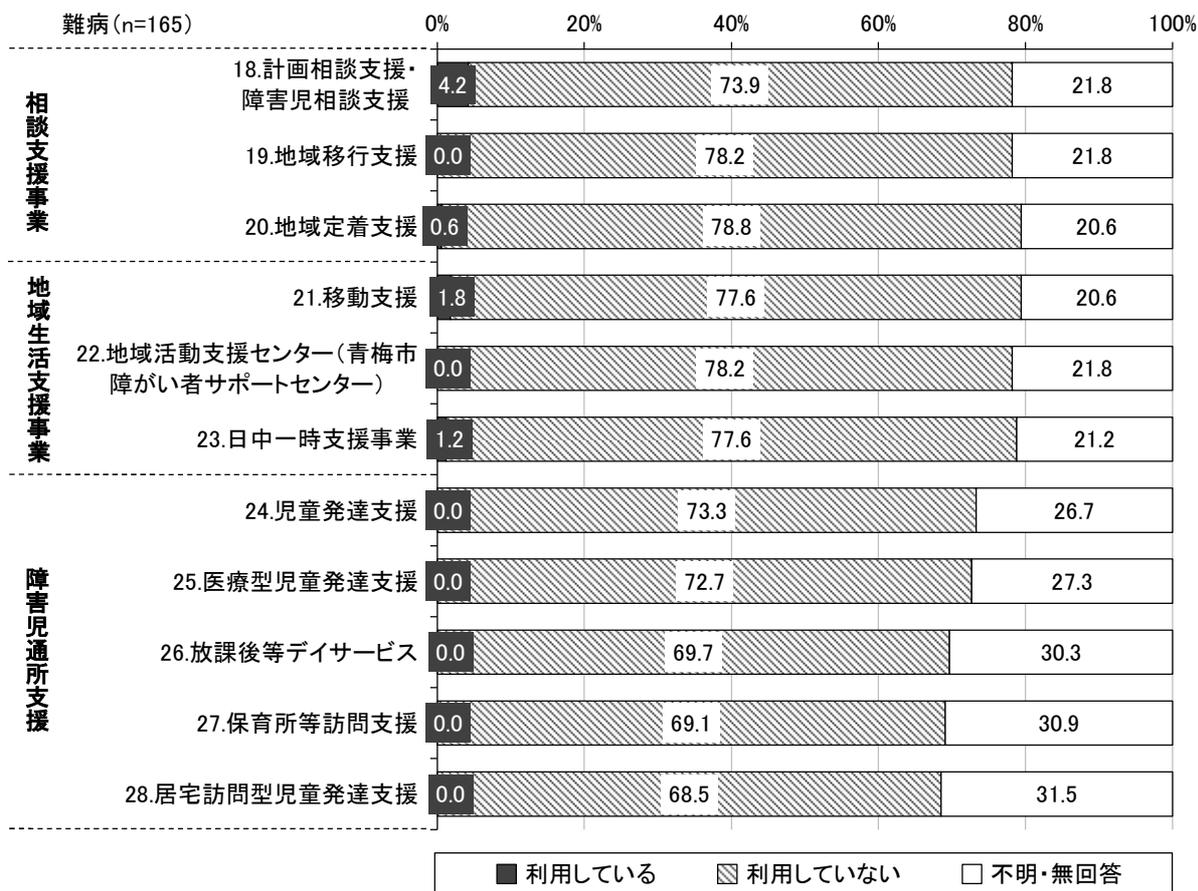


## 難病

すべてのサービスで「利用していない」が高くなっています。「利用している」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で4.2%と最も高く、次いで[1.居宅介護(ホームヘルプ)][7.療養介護][10.自立訓練(機能訓練)]で3.6%となっています。

### ■現在の利用状況

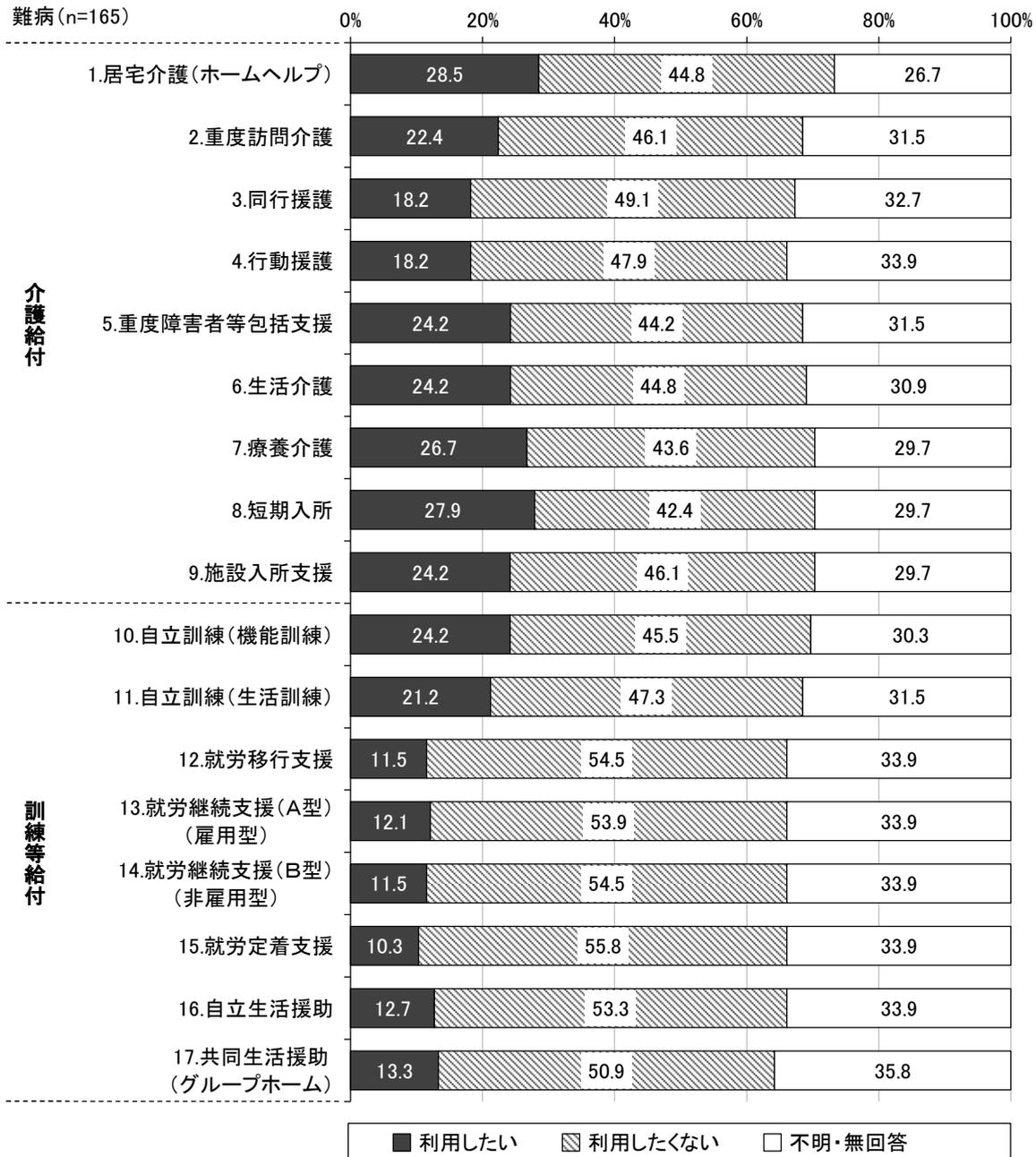


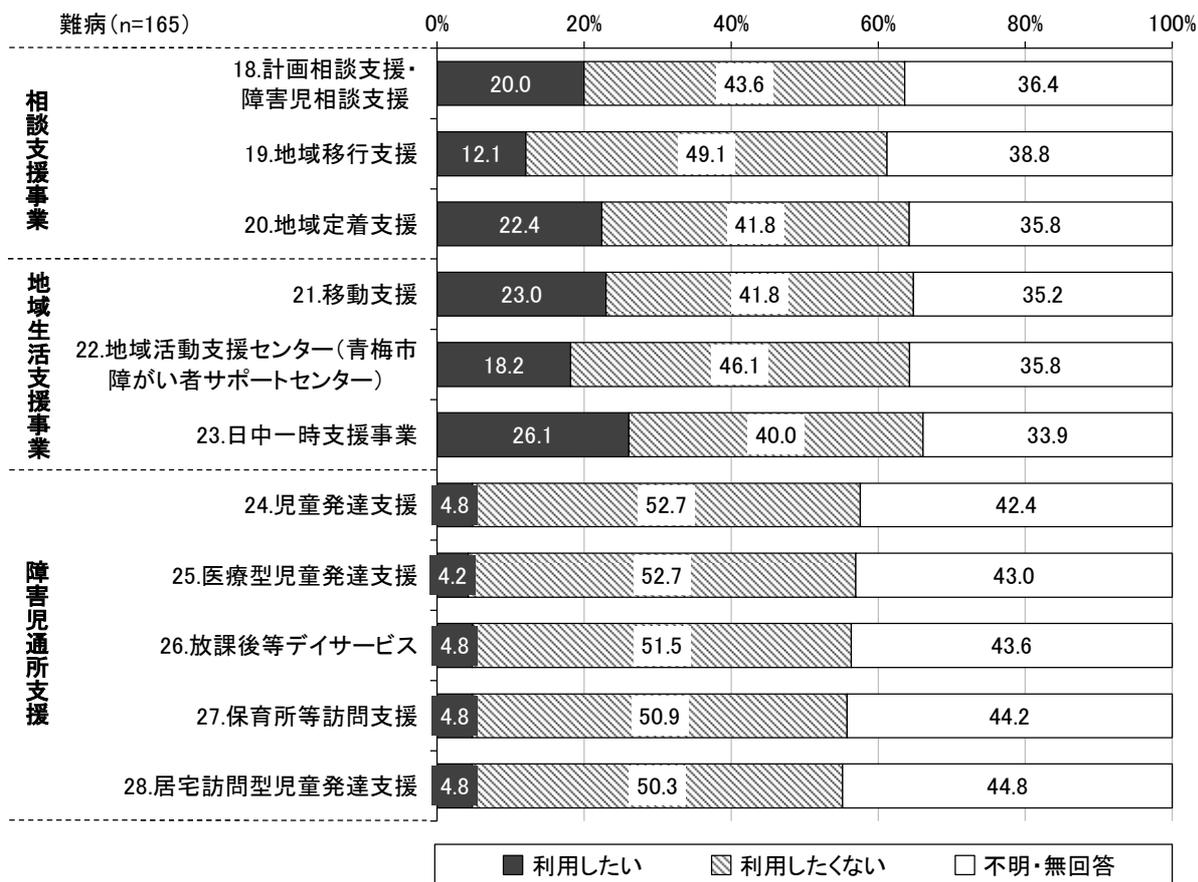


## 難病

すべてのサービスで「利用したくない」が高くなっています。「利用したい」は[1.居宅介護(ホームヘルプ)]で28.5%と最も高く、次いで[8.短期入所]で27.9%、[7.療養介護]で26.7%となっています。

### ■今後の利用意向

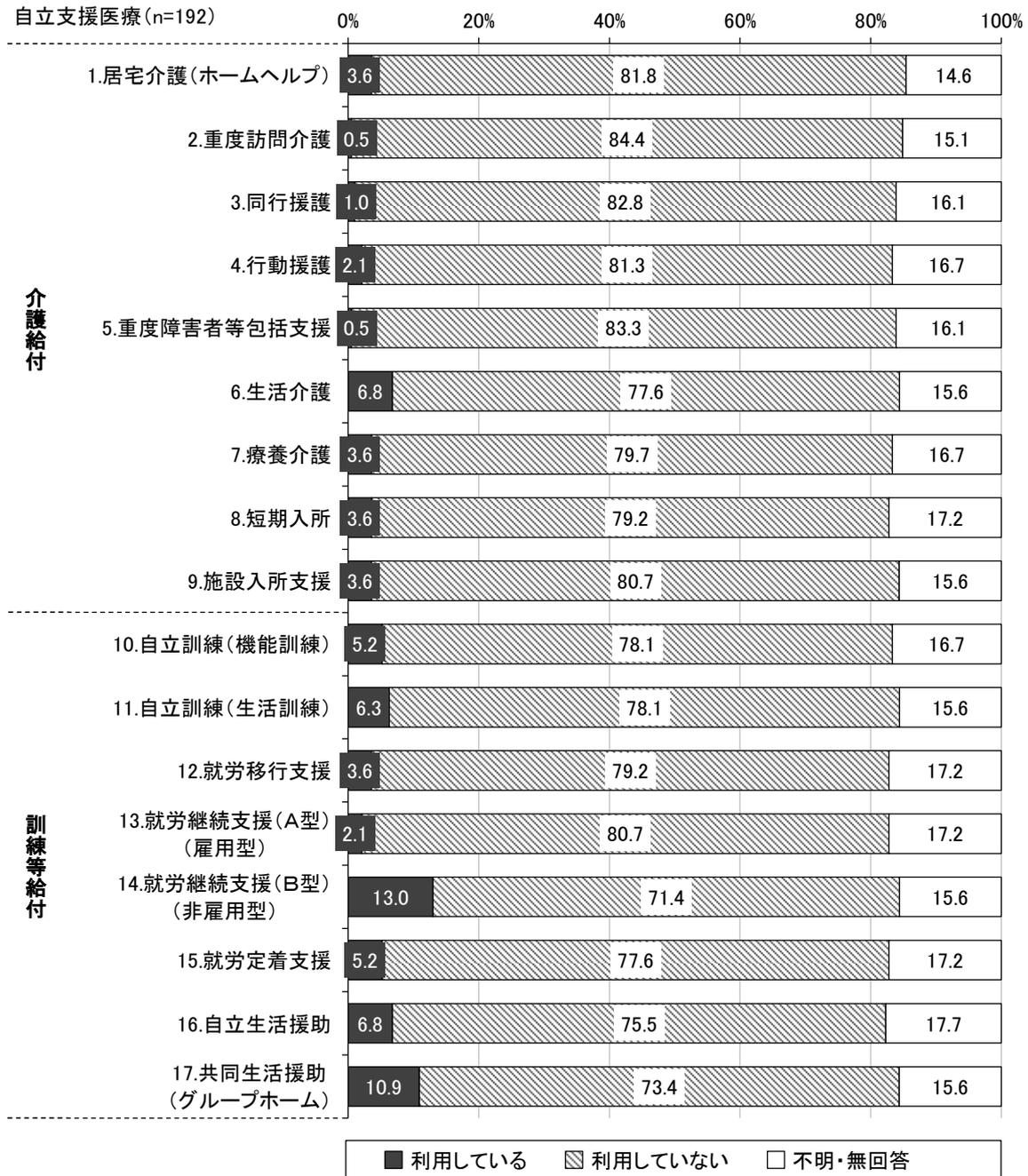


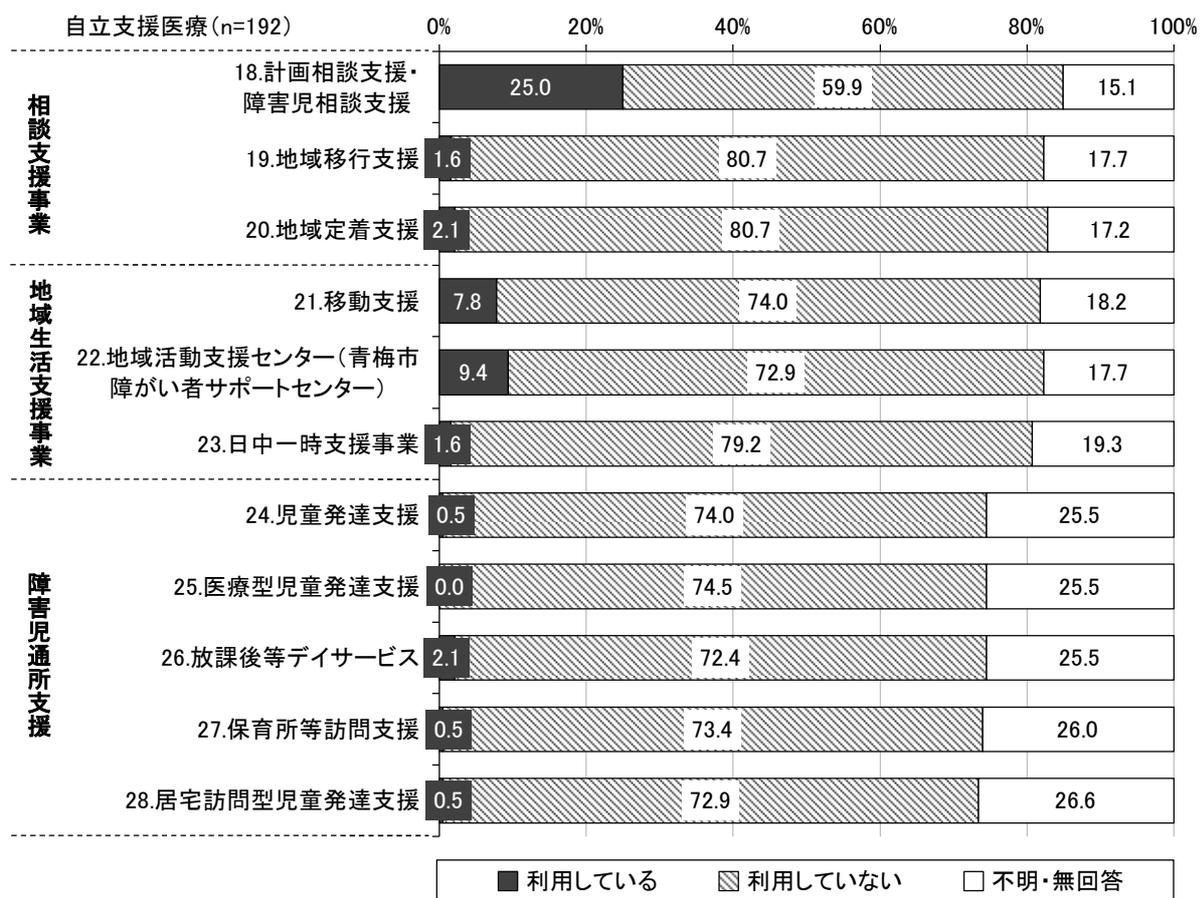


## 自立支援医療

すべてのサービスで「利用していない」が高くなっています。「利用している」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で25.0%と最も高く、次いで[14.就労継続支援(B型)(非雇用型)]で13.0%、[17.共同生活援助(グループホーム)]で10.9%となっています。

### ■現在の利用状況

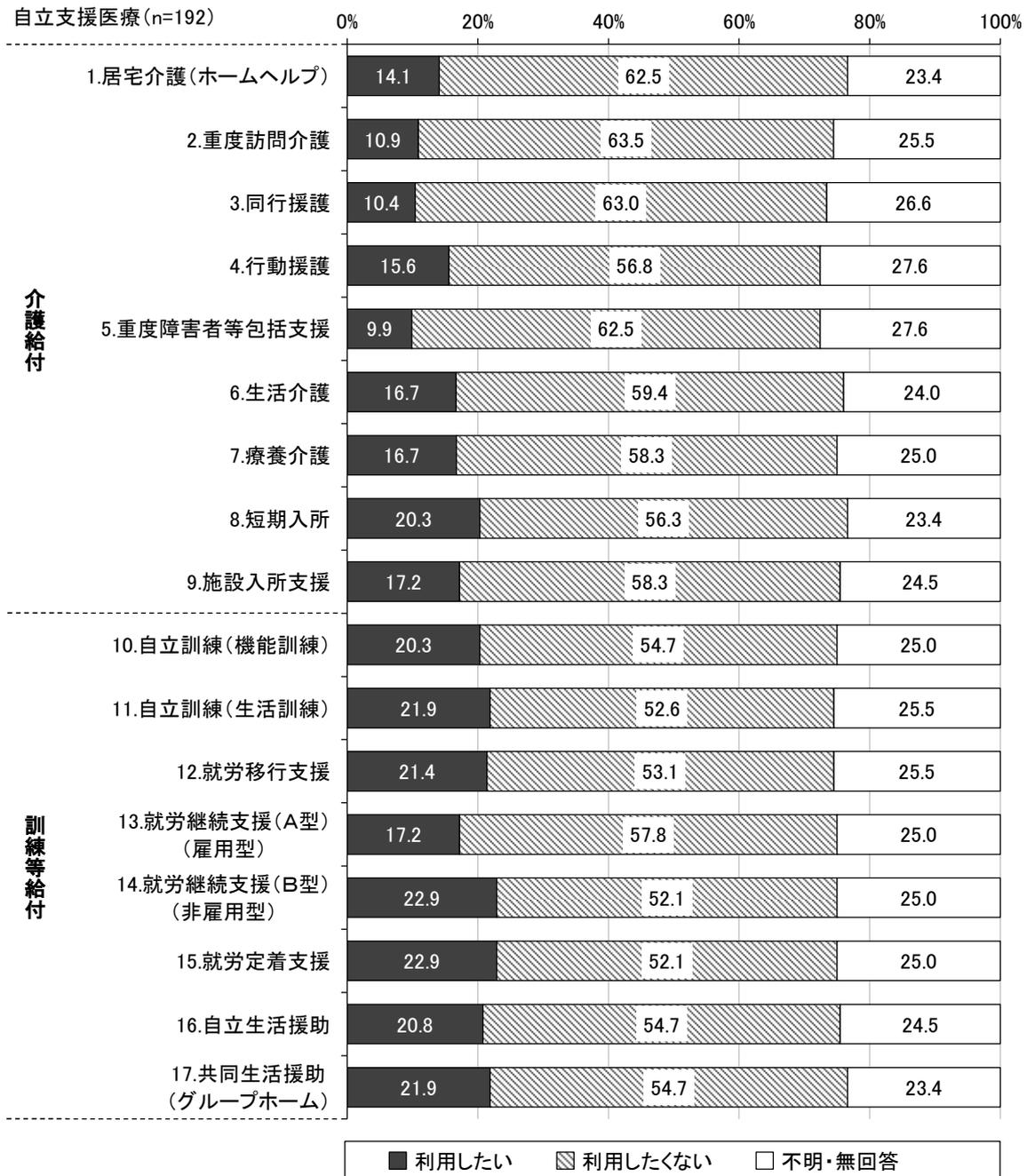


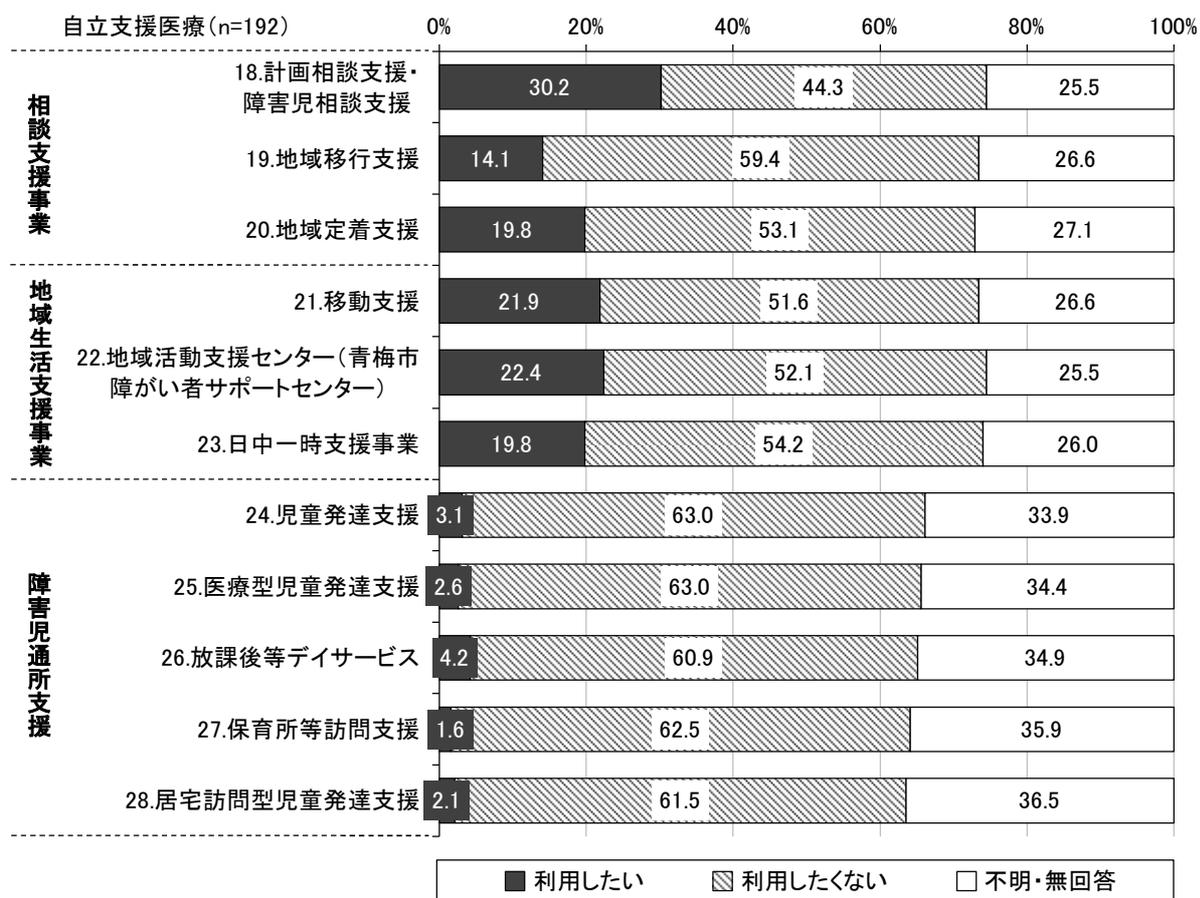


## 自立支援医療

すべてのサービスで「利用したくない」が高くなっています。「利用したい」は[18.計画相談支援・障害児相談支援]で30.2%と最も高く、次いで[14.就労継続支援(B型)(非雇用型)][15.就労定着支援]で22.9%、[22.地域活動支援センター(青梅市障がい者サポートセンター)]で22.4%となっています。

### ■今後の利用意向





問 34 日常生活を営む上で必要とする支援は、次の中にありますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「障害福祉サービスについての情報提供、相談」が 37.6%と最も高く、次いで「この中にはない」が 16.7%、「福祉バスなど(リフト付き自動車)の運行」が 12.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「障害福祉サービスについての情報提供、相談」が最も高くなっています。

単位：%		障害福祉サービスについての情報提供、相談	日常生活用具(ストマ、紙おむつ、点字図書など)の給付	手話通訳者・要約筆記者の派遣	福祉バスなど(リフト付き自動車)の運行	ガイドヘルパーの派遣	就労移行支援施設等の充実	スポーツ教室、芸術・文化講座などの開催	運転免許取得や自動車改造費用の助成	障がい児の緊急一時保護	入浴サービス	この中にはない	不明・無回答
全体(n=914)		37.6	12.7	3.1	12.9	3.6	10.4	9.0	10.5	4.7	7.0	16.7	29.1
障害種別	身体障害(n=572)	38.1	16.8	4.0	14.9	4.0	8.6	8.0	10.8	5.1	8.9	13.1	31.1
	知的障害(n=219)	44.3	14.2	1.8	13.7	2.7	14.2	16.9	7.3	11.0	9.1	16.4	23.7
	精神障害(n=135)	37.8	3.7	1.5	8.1	2.2	15.6	4.4	14.1	0.7	3.0	24.4	24.4
	難病(n=165)	29.1	12.1	1.2	13.3	3.6	4.2	7.3	7.9	1.8	7.9	19.4	34.5
	自立支援医療(n=192)	43.2	6.8	1.6	9.9	2.6	16.1	8.9	10.9	4.2	3.1	21.9	22.9

## 11. 障害福祉サービスなどの情報提供・相談支援について

問 36 あなたは、障害福祉サービスなどの情報をどこから知りたいですか。  
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「広報・しおり等(青梅市、東京都)」が 54.0%と最も高く、次いで「市役所の窓口」が 39.9%、「医療機関」が 33.4%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「広報・しおり等(青梅市、東京都)」、知的障害、自立支援医療では「市役所の窓口」、精神障害では「広報・しおり等(青梅市、東京都)」「市役所の窓口」が最も高くなっています。

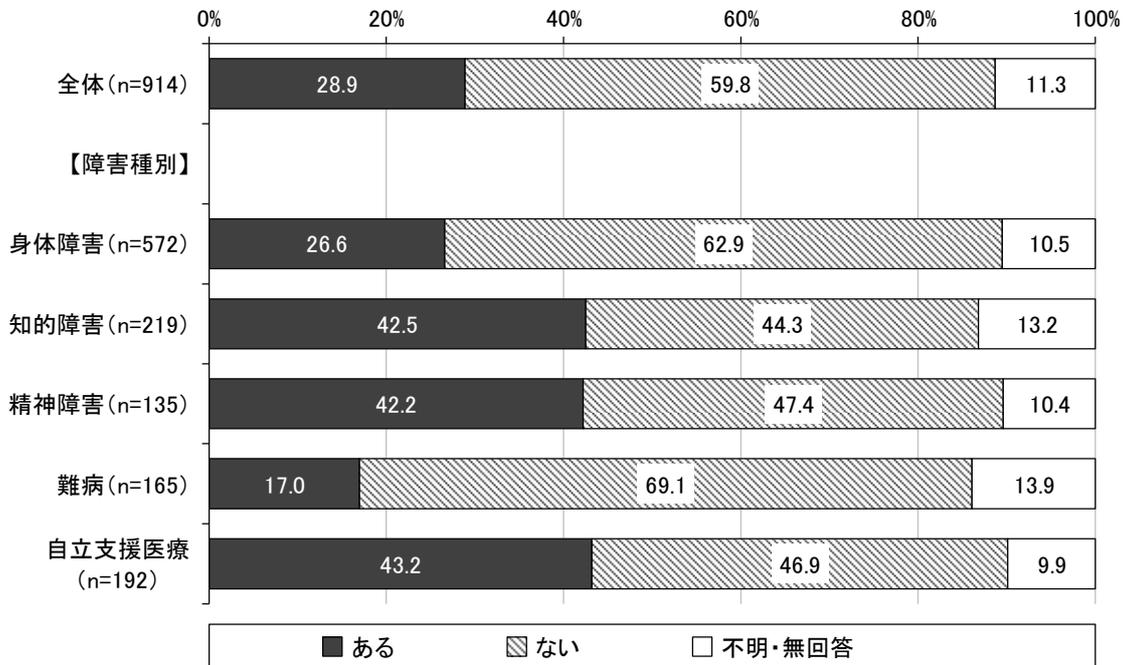
単位：%		広報・しおり等 (青梅市、 東京都)	家族、 親戚	テレビ、 ネット、 ラジオ、 新聞、 イ	市役所の 窓口	学校、 職場、 施設	医療 機関	民生 児童 委員、 障害 者相 談 員等	ホーム ヘル パー、 ボラ ン ティア	障 が い 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	障 害 者 就 労 支 援 セ ン タ ー	障 が い 者 団 体	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=914)		54.0	13.9	27.8	39.9	14.2	33.4	6.0	5.3	12.4	10.5	5.0	3.4	11.6
障 害 種 別	身体障害(n=572)	55.2	13.3	28.5	39.3	12.4	34.3	5.9	5.6	12.8	8.7	4.7	3.3	11.2
	知的障害(n=219)	45.2	22.8	18.7	47.9	34.2	28.3	11.9	7.3	15.1	16.0	12.3	4.1	12.3
	精神障害(n=135)	43.7	15.6	26.7	43.7	8.1	29.6	5.2	4.4	15.6	14.1	3.0	3.7	11.1
	難病(n=165)	58.8	10.9	30.9	36.4	7.9	39.4	3.6	4.8	5.5	3.6	1.2	3.6	13.9
	自立支援医療(n=192)	44.8	15.6	24.0	45.8	11.5	34.4	7.3	5.7	13.5	14.1	5.7	4.7	9.4

**問 37 あなたは、市内の相談機関に相談したことがありますか。**

(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「ある」が28.9%、「ない」が59.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「ない」が高くなっています。



**問 38 あなたは、市内の相談機関に相談したいことはありますか。**

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「特にない」が39.7%と最も高く、次いで「福祉サービスの利用に関すること」が25.5%、「就労(仕事)に関すること」が16.0%となっています。

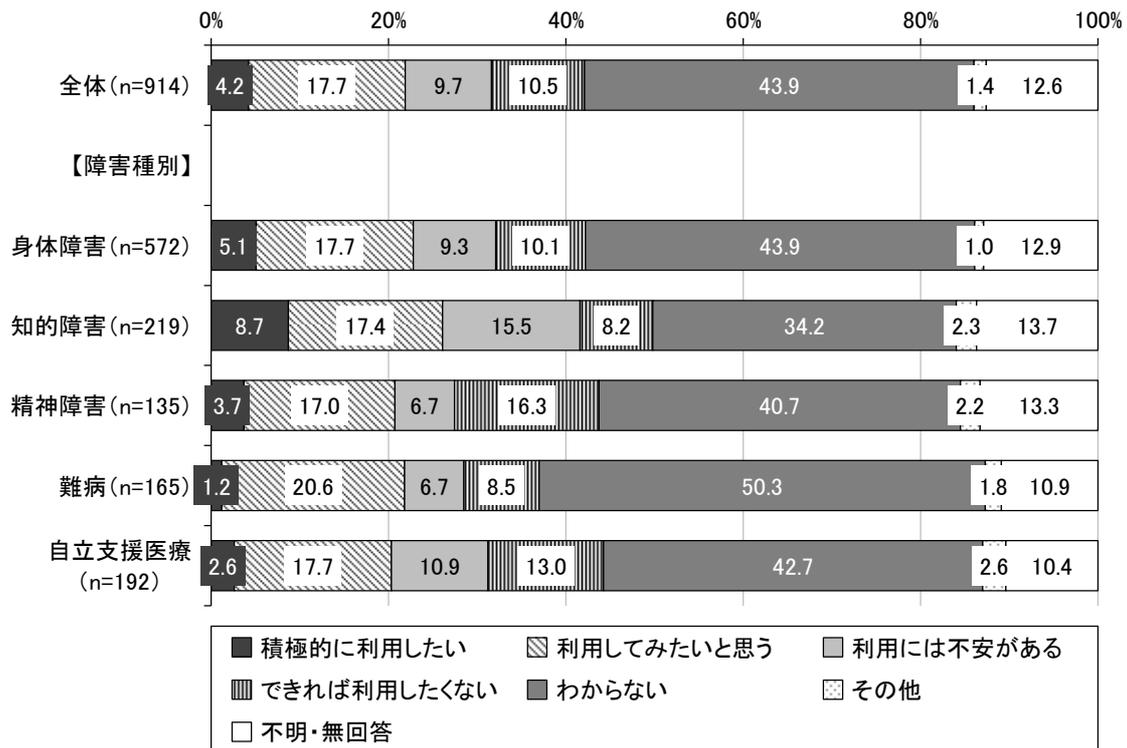
手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「福祉サービスの利用に関すること」、その他の区分においては「特にない」が最も高くなっています。

単位: %	福祉サービスの利用に関すること	家族関係に関すること	就労(仕事)に関すること	財産や金銭管理に関すること	結婚に関すること	仲間づくりに関すること	一人暮らしに向けての方法に関すること	医療や訓練に関すること	証人一般住宅の賃貸契約の際の保証	成年後見制度の利用に関すること	その他	特にない	不明・無回答	
	全体 (n=914)	25.5	4.5	16.0	7.0	1.6	3.9	5.6	9.8	3.2	5.7	2.4	<b>39.7</b>	16.1
障害種別	身体障害 (n=572)	25.5	2.8	13.1	5.2	1.6	2.8	4.4	9.3	2.4	3.8	2.1	<b>40.4</b>	17.5
	知的障害 (n=219)	<b>33.3</b>	5.5	20.1	12.8	1.4	5.5	4.6	13.2	1.4	17.4	3.7	24.7	18.3
	精神障害 (n=135)	25.2	13.3	29.6	10.4	3.7	8.1	10.4	10.4	5.2	3.0	1.5	<b>34.8</b>	11.1
	難病 (n=165)	18.2	2.4	7.9	3.6	0.0	0.6	3.0	6.1	3.0	3.6	2.4	<b>57.0</b>	15.2
	自立支援医療 (n=192)	25.5	11.5	28.1	11.5	2.6	6.8	8.3	14.6	4.2	7.3	2.1	<b>32.8</b>	12.0

**問 39 高齢者と障がい者(児)が同一の事業所で、ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイなどのサービスを受けることができる共生型サービスや基準該当サービスが創設されました。高齢介護施設等で障害福祉サービスが提供されたら、利用したいですか。(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「わからない」が43.9%と最も高く、次いで「利用してみたいと思う」が17.7%、「できれば利用したくない」が10.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「わからない」が最も高く、次いで「利用してみたいと思う」となっています。



問 39 で「利用には不安がある」または「できれば利用したくない」に○印をつけた方

問 40 どのような不安がありますか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「障がい者と高齢者では、支援の仕方が違うと思う」が 63.2%と最も高く、次いで「障がいの特性をどこまで理解してもらえるかわからない」が 46.5%、「どのようなサービスが使えるのかわからない」が 36.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、精神障害、難病では「障がい者と高齢者では、支援の仕方が違うと思う」、知的障害、自立支援医療では「障がい者と高齢者では、支援の仕方が違うと思う」「障がいの特性をどこまで理解してもらえるかわからない」が最も高くなっています。

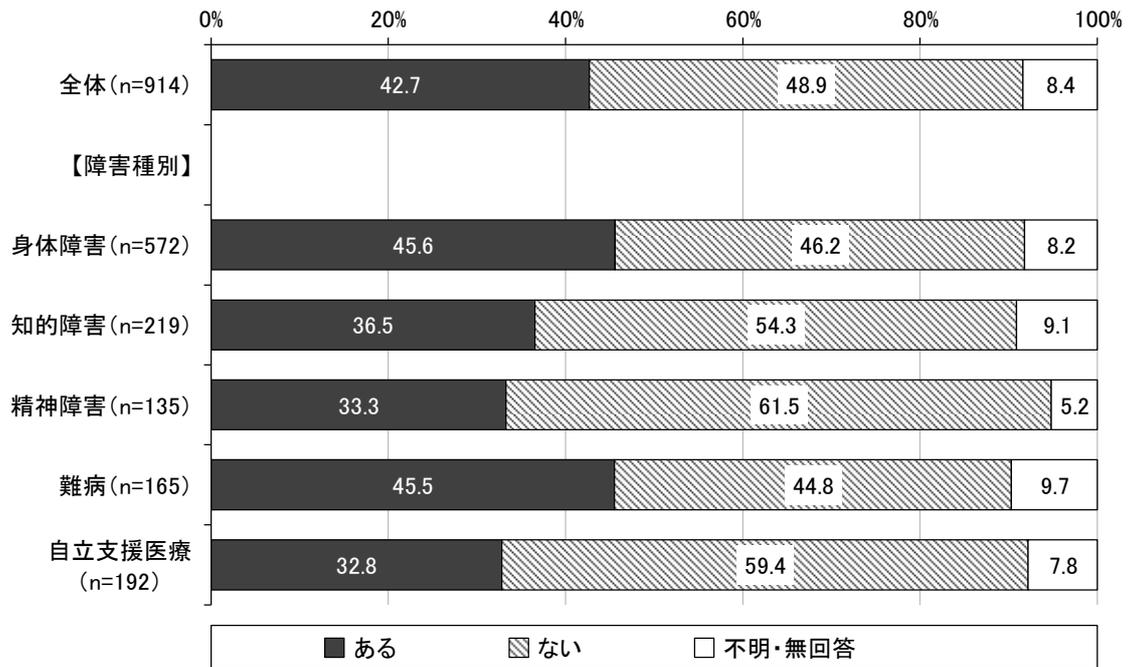
単位：%		どの か の よ う な サ ー ビ ス が 使 え る	の 障 が い 者 と 高 齢 者 で は 、 支 援	し 障 が い の 特 性 を ど こ ま で 理 解	か 手 続 き を ど う し た ら い い か わ	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=185)		36.2	<b>63.2</b>	46.5	14.1	15.7	4.3
障 害 種 別	身体障害 (n=111)	33.3	<b>68.5</b>	44.1	14.4	12.6	4.5
	知的障害 (n=52)	40.4	<b>63.5</b>	<b>63.5</b>	21.2	17.3	3.8
	精神障害 (n=31)	32.3	<b>61.3</b>	58.1	9.7	22.6	0.0
	難病 (n=25)	40.0	<b>56.0</b>	16.0	16.0	20.0	4.0
	自立支援医療 (n=46)	37.0	<b>65.2</b>	<b>65.2</b>	10.9	19.6	4.3

## 12. 地域とのつながりについて

問 42 あなたは、ふだん地域の方々とお付き合いがありますか。  
 (番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「ある」が42.7%、「ない」が48.9%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、難病では「ある」、その他の区分においては「ない」が高くなっています。

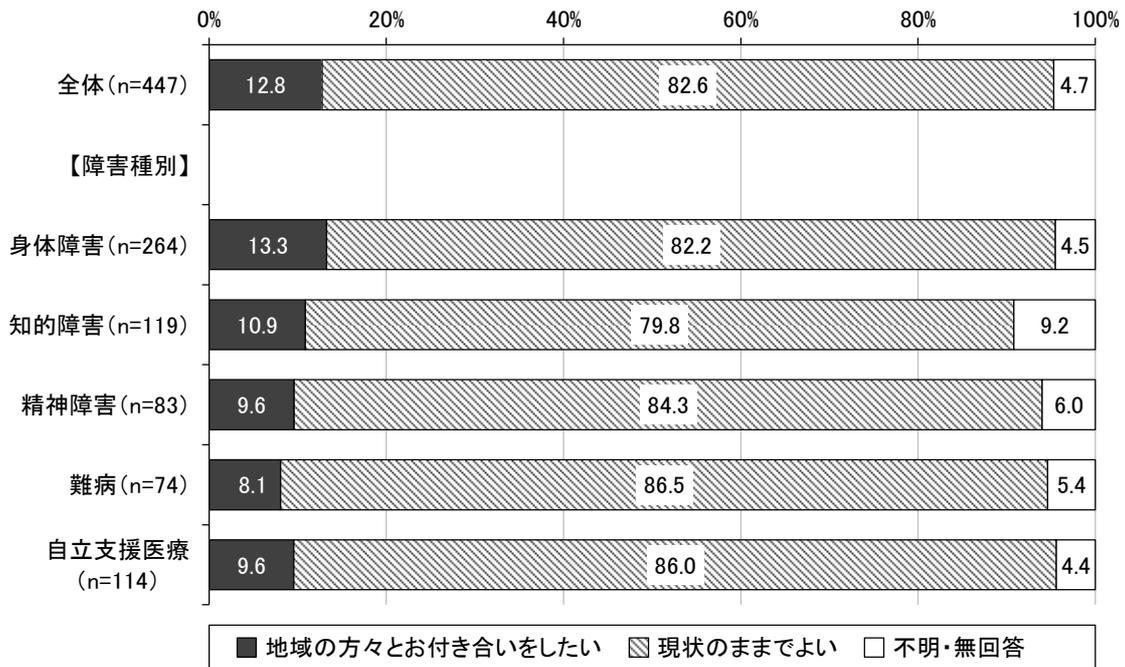


問 42 で「ない」に○印をつけた方

問 43 あなたは、これから地域の方々とお付き合いをしていきたいですか。  
 (番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「地域の方々とお付き合いをしたい」が12.8%、「現状のままでよい」が82.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「現状のままでよい」が高くなっています。

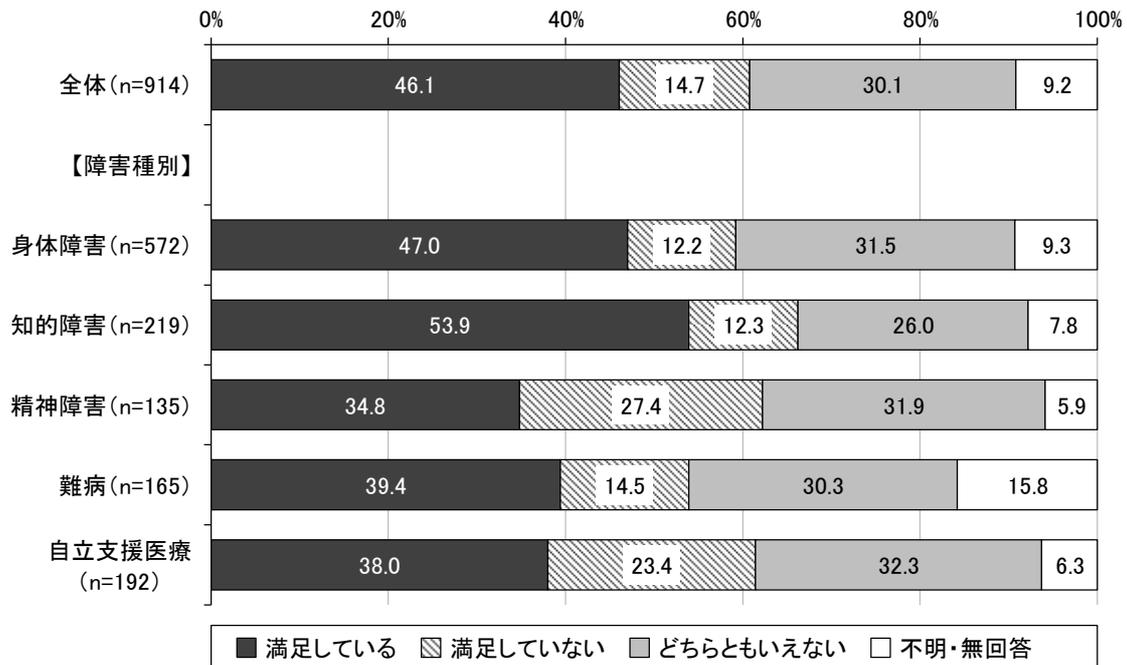


### 13. 差別の解消や権利擁護について

問 45 あなたは、今の生活に満足していますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「満足している」が46.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.1%、「満足していない」が14.7%となっています。

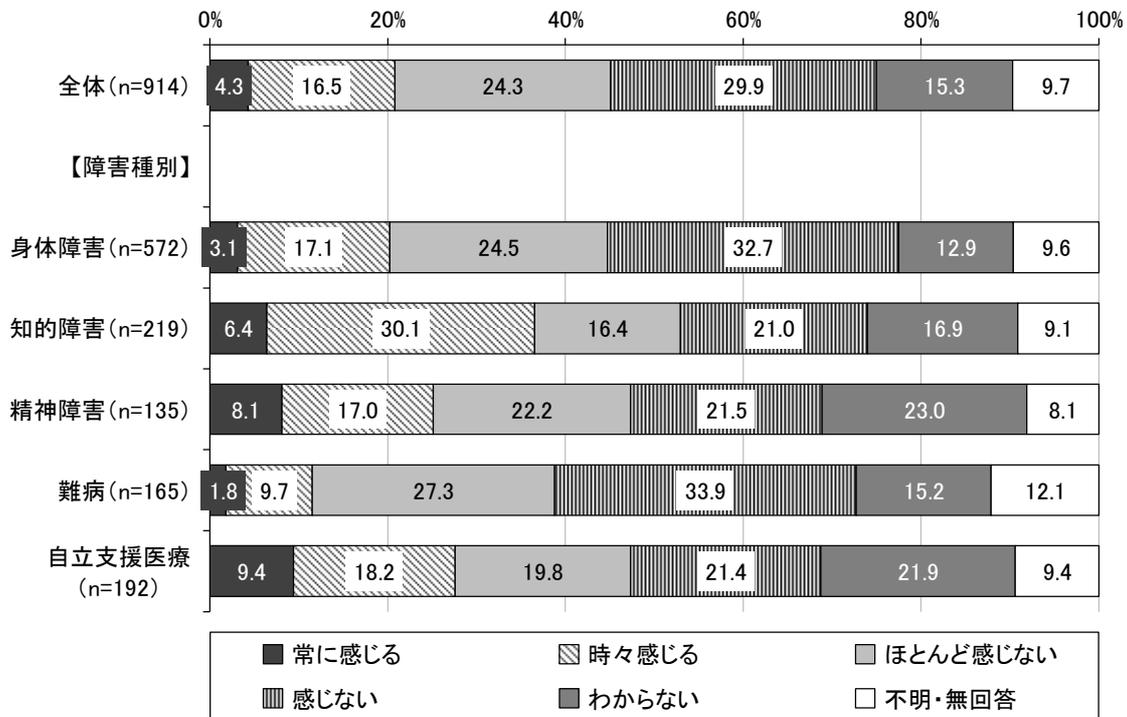
手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「満足している」が最も高くなっています。



**問 46 あなたやあなたの家族は、日常生活の中で障がい者への差別や偏見を感じることはありませんか。(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「感じない」が29.9%と最も高く、次いで「ほとんど感じない」が24.3%、「時々感じる」が16.5%となっています。

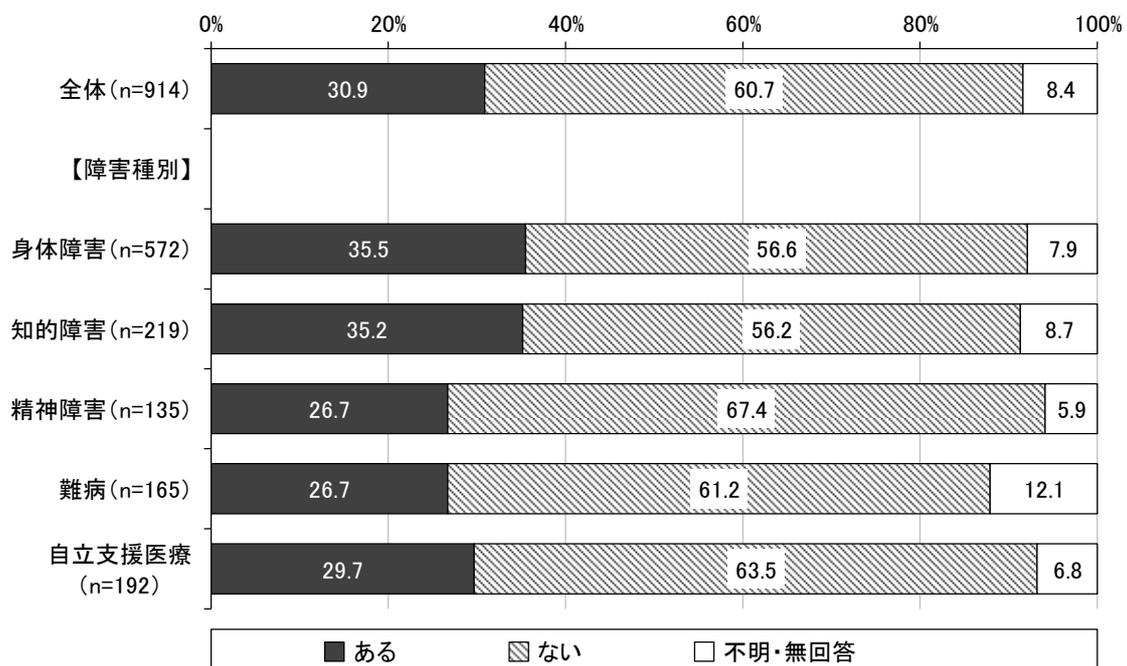
手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「感じない」、知的障害では「時々感じる」、精神障害、自立支援医療では「わからない」が最も高くなっています。



**問 47 あなたは、外出時に知らない人から手助けをしてもらったことがありますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「ある」が30.9%、「ない」が60.7%となっています。

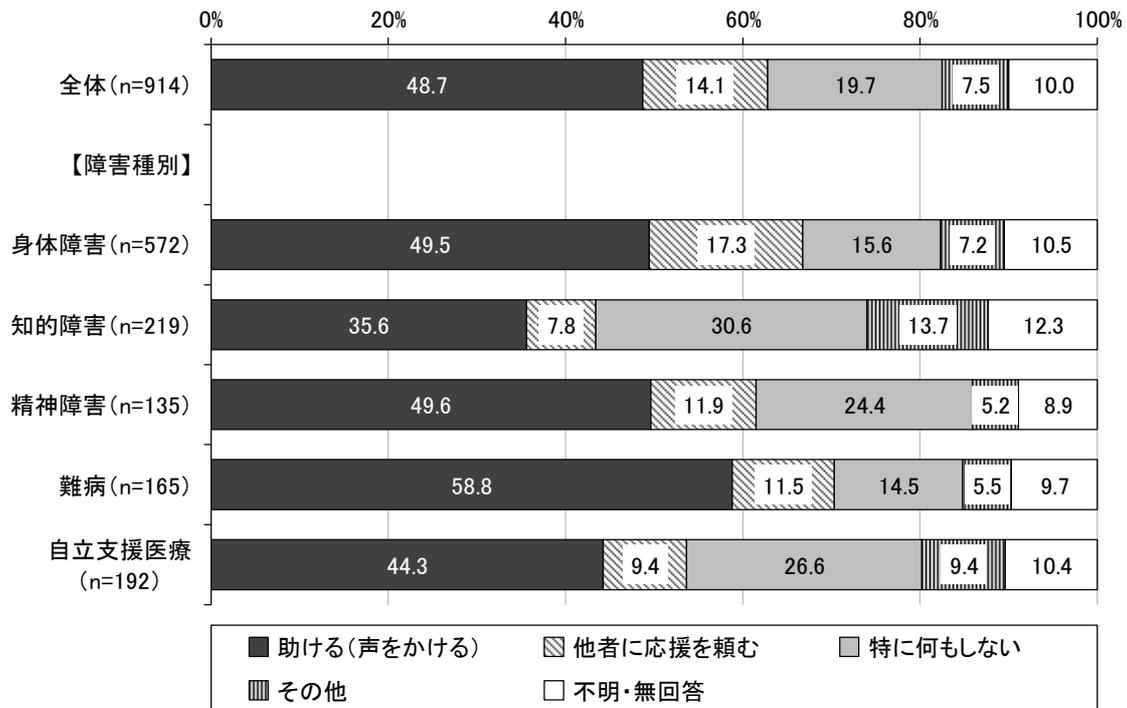
手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「ない」が高くなっています。



**問 48 あなたは、外出時に知らない人が困っているのを見かけたら、どうすることが多いですか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「助ける(声をかける)」が48.7%と最も高く、次いで「特に何もしない」が19.7%、「他者に応援を頼む」が14.1%となっています。

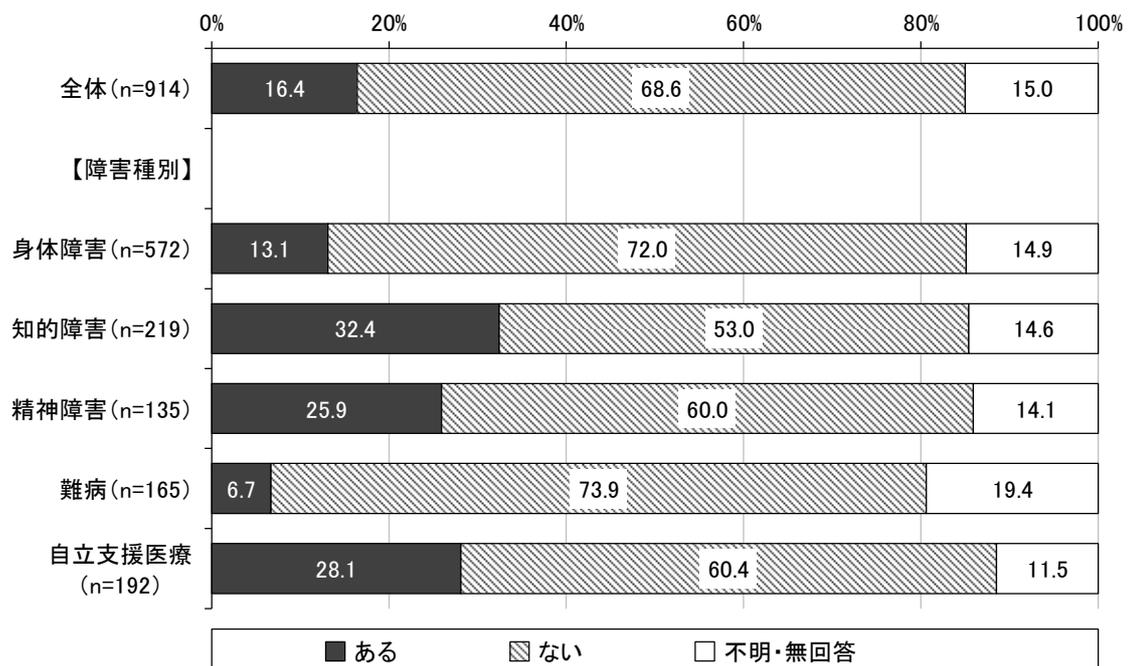
手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「助ける(声をかける)」が最も高くなっています。



**問 49 あなたは、幼少期、学齢期において通園、通学等で困ったことはありましたか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「ある」が16.4%、「ない」が68.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「ない」が高くなっています。



問 50 あなたは、障がいのある人のために企業や民間団体が行う活動についてどのようなことを希望しますか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

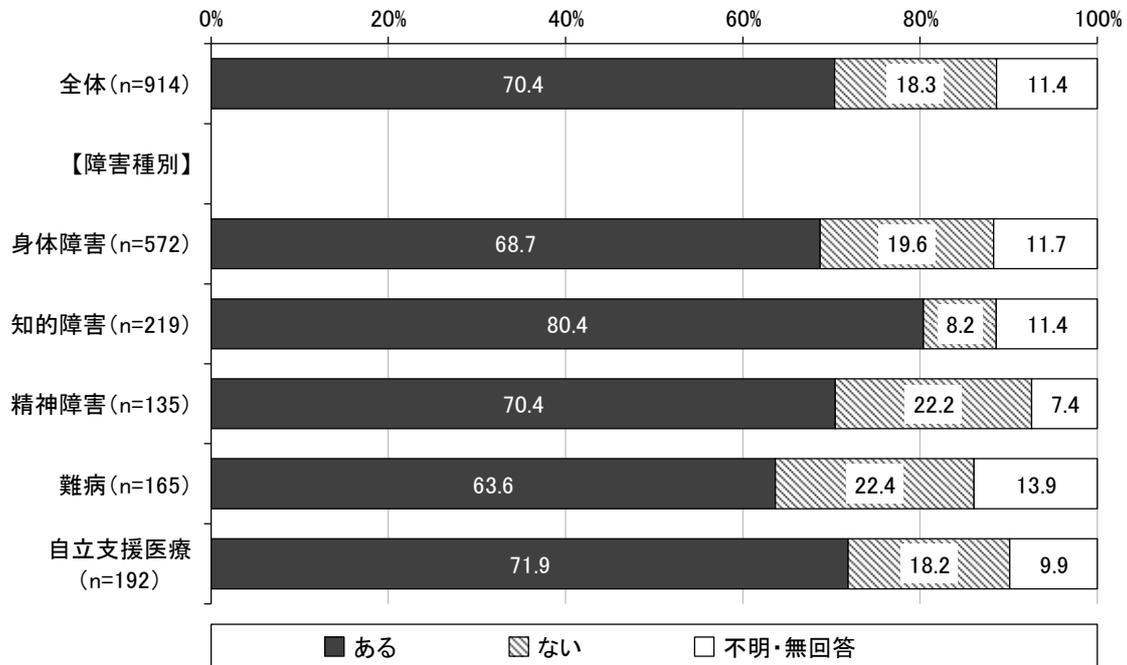
全体では「助成金を活用した障がい者雇用の促進」が40.3%と最も高く、次いで「障がい者理解の研修」が36.3%、「障がい者が就労可能な業務を切り出すことによる障がい者雇用の促進」が36.2%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「バリアフリー環境の整備」、その他の区分においては「障がい者理解の研修」が最も高くなっています。

単位：%		助成金を活用した障がい者雇用の促進	事業主への相談体制の整備	障がい者理解の研修	バリアフリー環境の整備	障がい者が就労可能な業務を切り出すことによる障がい者雇用の促進	適切な補助具の使用	トライアル雇用の促進	ジョブコーチ制度の整備	その他	不明・無回答
全体(n=914)		40.3	21.9	36.3	32.4	36.2	15.1	12.0	17.2	4.0	23.4
障害種別	身体障害(n=572)	37.2	18.4	32.3	37.8	34.6	16.8	9.8	12.9	3.3	24.1
	知的障害(n=219)	42.9	24.2	45.7	25.6	37.0	14.2	12.3	23.7	5.5	21.5
	精神障害(n=135)	42.2	24.4	46.7	20.0	37.0	11.1	11.1	15.6	5.2	22.2
	難病(n=165)	41.8	27.9	33.3	43.0	38.8	20.0	16.4	21.8	3.6	24.2
	自立支援医療(n=192)	42.7	26.6	43.8	21.4	40.1	12.5	13.5	18.8	5.2	21.4

**問 51 あなたは、何か困ったときに相談できる場所がありますか。**  
**(番号に○印を1つだけつけてください。)**

全体では「ある」が70.4%、「ない」が18.3%となっています。  
 手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「ある」が高くなっています。



**問 51 で「ある」に○印をつけた方**

**問 52 誰に相談しますか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)**

全体では「家族」が79.8%と最も高く、次いで「市役所」が27.8%、「友人」が27.7%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「家族」が最も高くなっています。

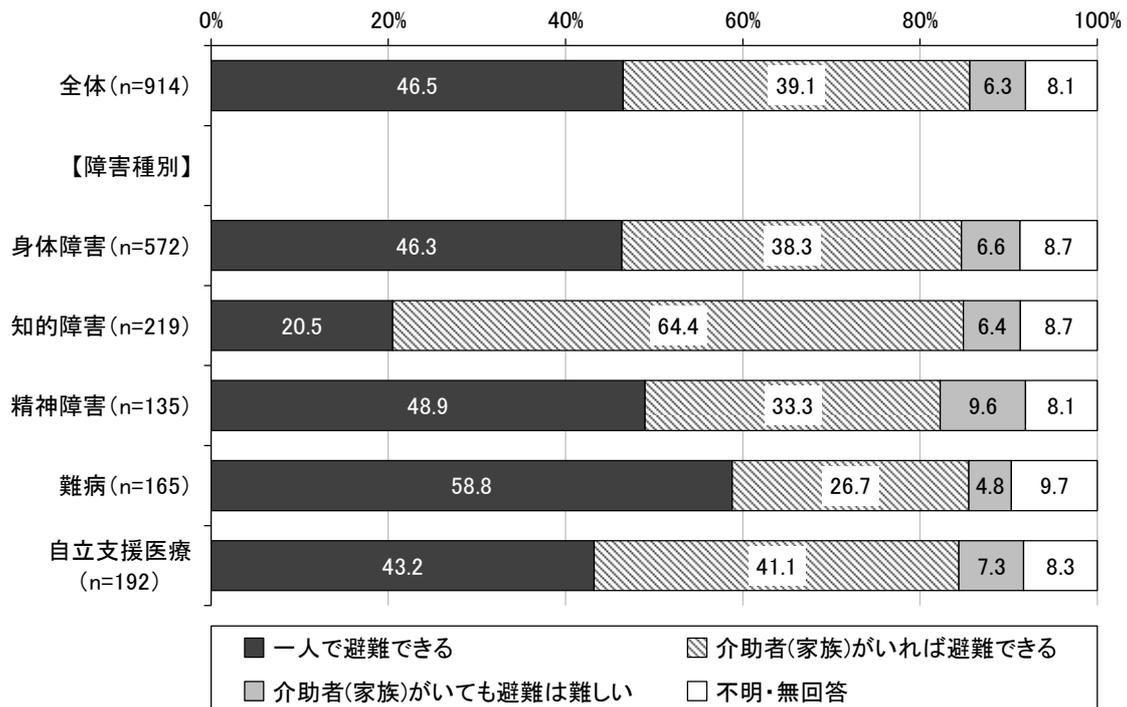
単位: %		家族	友人	相談支援事業所	市役所	職場の人	その他	不明・無回答
全体 (n=643)		79.8	27.7	24.6	27.8	15.9	13.1	0.0
障害種別	身体障害 (n=393)	83.5	29.0	21.9	29.8	16.0	11.7	0.0
	知的障害 (n=176)	76.1	20.5	41.5	21.0	20.5	21.6	0.0
	精神障害 (n=95)	63.2	29.5	35.8	36.8	11.6	20.0	0.0
	難病 (n=105)	91.4	34.3	13.3	26.7	11.4	7.6	0.0
	自立支援医療 (n=138)	63.0	24.6	37.0	33.3	10.9	21.7	0.0

## 14. 災害時の対応について

問 53 あなたは地震や台風などの災害が発生した場合に、避難できますか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「一人で避難できる」が46.5%と最も高く、次いで「介助者(家族)がいれば避難できる」が39.1%、「介助者(家族)がいても避難は難しい」が6.3%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、知的障害では「介助者(家族)がいれば避難できる」、その他の区分においては「一人で避難できる」が最も高くなっています。



問 54 あなたは、災害に対してどのような準備をしていますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「地域の避難場所や避難所を知っている」が35.8%と最も高く、次いで「特に準備はしていない」が35.3%、「食糧や水などを備蓄している」が29.5%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「地域の避難場所や避難所を知っている」、その他の区分においては「特に準備はしていない」が最も高くなっています。

単位：%		手助けをしてくれる人を頼んでいる	「避難行動要援護者制度」の名簿提供に同意している	地域の避難場所や避難所を知っている	家族や支援者と避難方法を決めている	食糧や水などを備蓄している	避難したときに必要な薬、医療機器、補装具等の日常生活用具等すぐ持ち出せるように準備している	「ヘルプカード」を利用している	特に準備はしていない	その他	不明・無回答
全体 (n=914)		8.0	7.0	<b>35.8</b>	15.8	29.5	17.1	6.7	35.3	2.1	8.6
障害種別	身体障害 (n=572)	7.7	9.4	<b>36.7</b>	14.0	31.3	17.1	6.1	33.9	1.6	9.6
	知的障害 (n=219)	16.0	11.4	25.6	21.9	21.0	12.8	11.4	<b>32.9</b>	2.3	9.6
	精神障害 (n=135)	7.4	2.2	31.1	17.8	24.4	16.3	9.6	<b>42.2</b>	3.7	7.4
	難病 (n=165)	6.7	3.6	<b>40.6</b>	13.9	38.2	20.6	4.2	33.3	1.8	9.7
	自立支援医療 (n=192)	9.4	4.7	29.7	19.3	30.2	19.3	13.5	<b>37.5</b>	3.1	6.8

問 54 で「手助けをしてくれる人を頼んでいる」に○印をつけた方

問 55 あなたが手助けを頼んでいる人はどなたですか。  
 (あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「家族、親戚など」が 72.6%と最も高く、次いで「障がいのサービスを受けている事業所等の職員」が 21.9%、「隣近所の人」が 15.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「家族、親戚など」が最も高くなっています。

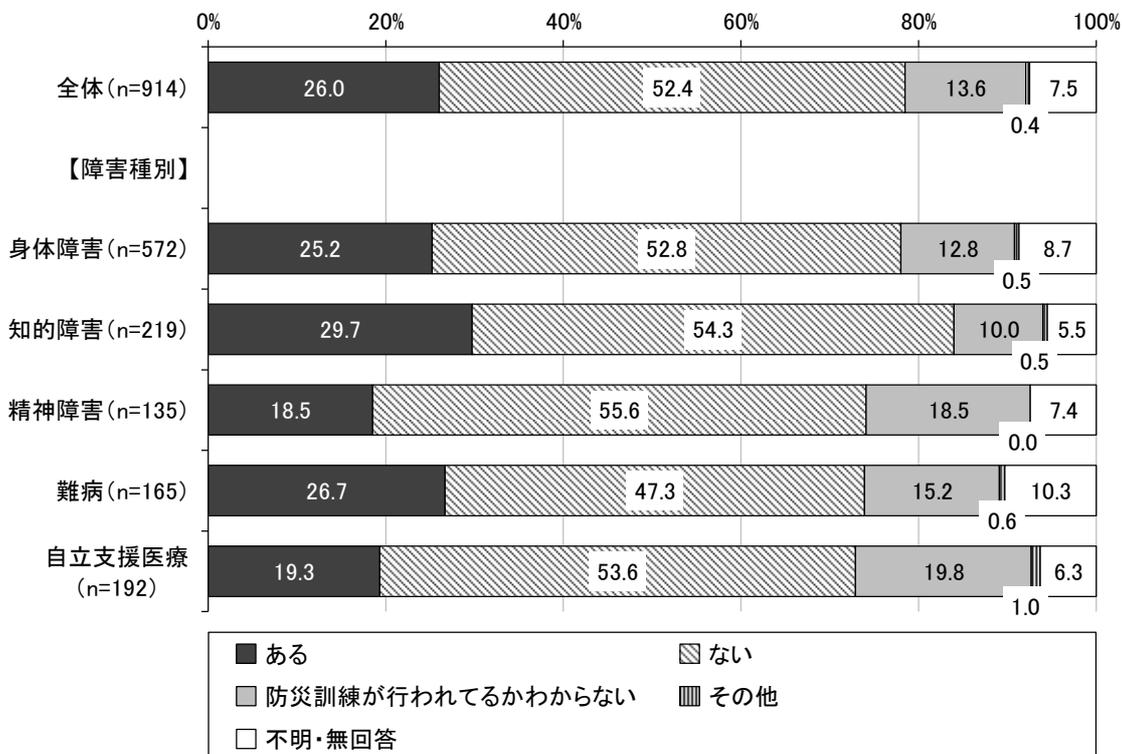
単位：%		民生委員	障がい者団体	障がいのサービスを受けている事業所等の職員	自治会や管理組合	隣近所の人	家族、親戚など	友人や知人	その他	不明・無回答
全体 (n=73)		6.8	4.1	21.9	6.8	15.1	<b>72.6</b>	9.6	2.7	0.0
障害種別	身体障害 (n=44)	9.1	2.3	18.2	9.1	20.5	<b>75.0</b>	15.9	0.0	0.0
	知的障害 (n=35)	2.9	8.6	37.1	5.7	11.4	<b>62.9</b>	8.6	5.7	0.0
	精神障害 (n=10)	0.0	10.0	30.0	0.0	10.0	<b>80.0</b>	30.0	0.0	0.0
	難病 (n=11)	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	<b>72.7</b>	9.1	0.0	0.0
	自立支援医療 (n=18)	5.6	0.0	33.3	11.1	16.7	<b>66.7</b>	16.7	0.0	0.0

**問 56 地域などの防災訓練に参加したことがありますか。**

(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「ない」が52.4%と最も高く、次いで「ある」が26.0%、「防災訓練が行われてるかわからない」が13.6%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「ない」が最も高くなっています。

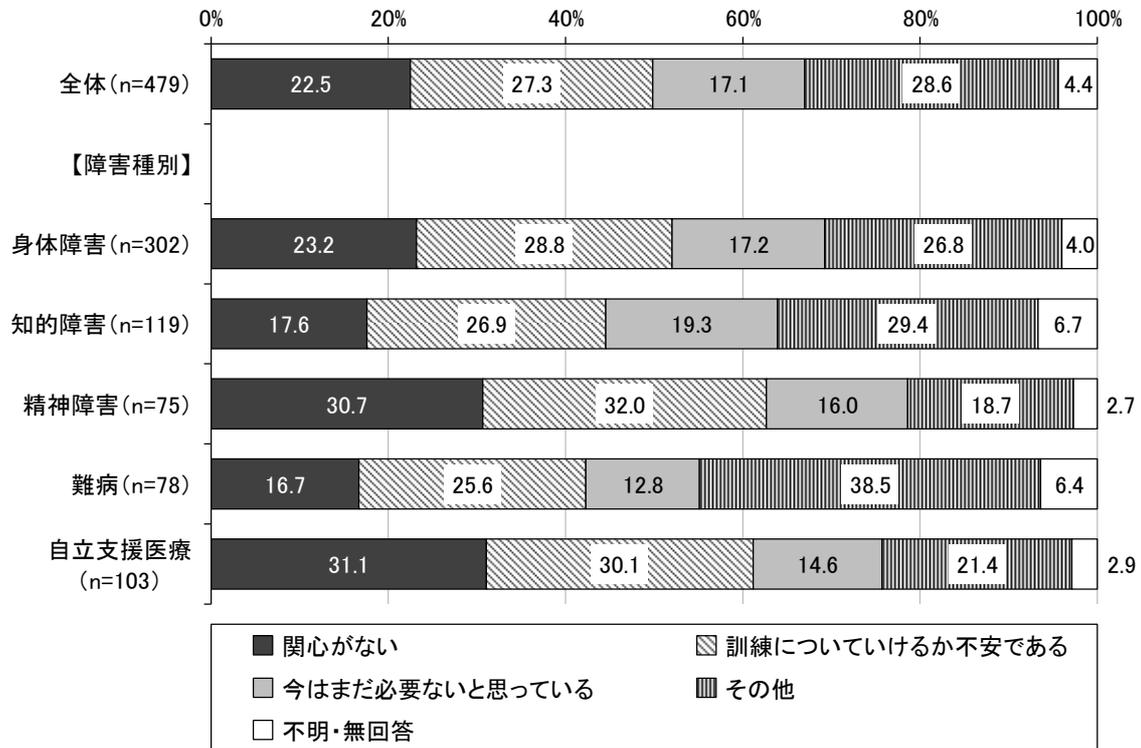


問 56 で、「ない」に○印をつけた方

問 56 (1) 防災訓練に参加しない理由は何ですか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では、「その他」を除き「訓練についていけるか不安である」が 27.3%と最も高く、次いで「関心がない」が 22.5%、「今はまだ必要ないと思っている」が 17.1%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、「その他」を除き、自立支援医療では「関心がない」、その他の区分においては「訓練についていけるか不安である」が最も高くなっています。



問 57 あなたは、地震や台風などの災害時に困ることはありますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

全体では「困ることがあるかわからない」が32.9%と最も高く、次いで「避難先での食事、トイレ、入浴、コミュニケーション」が32.3%、「避難先での介助、医療体制」が22.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、身体障害、難病では「避難先での食事、トイレ、入浴、コミュニケーション」、その他の区分においては「困ることがあるかわからない」が最も高くなっています。

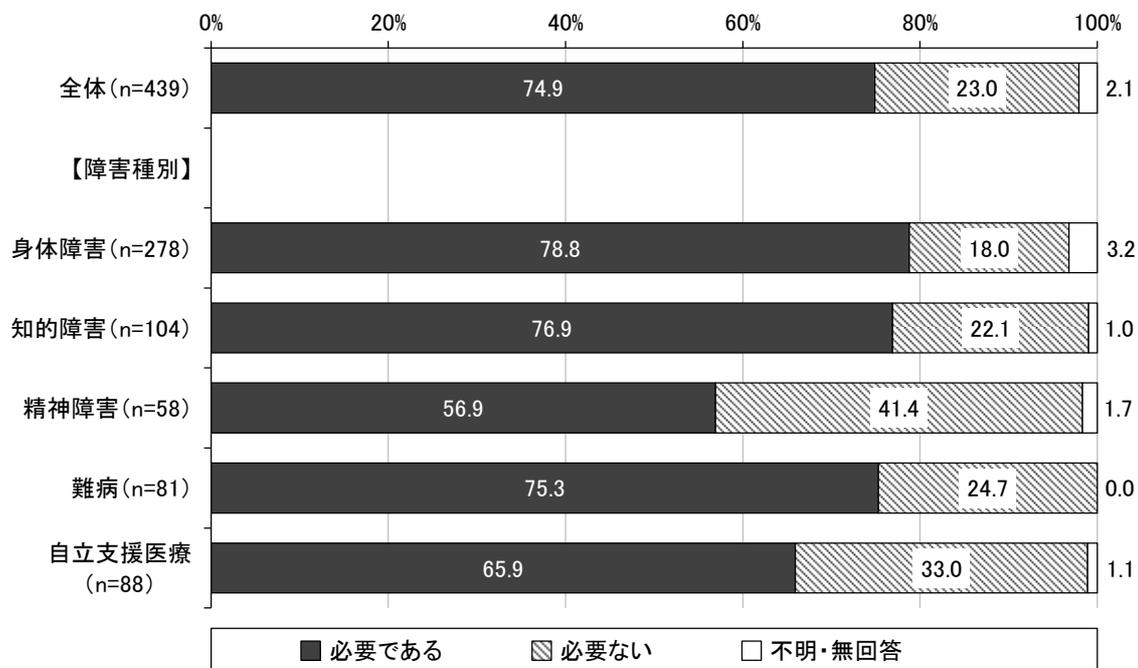
単位：%		頼れる人がいない	周囲の人への情報伝達	情報の収集	避難先への移動手段	浴・避難先での食事、トイレ、入	避難先での介助、医療体制	困ることがあるかわからない	その他	不明・無回答
全体 (n=914)		9.8	10.1	16.7	20.7	32.3	22.8	<b>32.9</b>	4.3	15.5
障害種別	身体障害 (n=572)	8.9	8.6	16.1	21.7	<b>31.1</b>	24.3	30.2	4.7	17.5
	知的障害 (n=219)	7.8	13.7	16.0	21.0	33.3	24.7	<b>34.2</b>	4.1	15.1
	精神障害 (n=135)	14.8	14.1	14.8	20.0	32.6	20.7	<b>43.0</b>	4.4	10.4
	難病 (n=165)	10.3	5.5	16.4	20.0	<b>35.8</b>	22.4	34.5	1.8	14.5
	自立支援医療 (n=192)	15.6	16.1	16.7	19.3	33.9	25.0	<b>39.1</b>	5.7	10.4

問 57 で「困ることがあるかわからない」「その他」以外に○印をつけた方

問 57 (1) あなたが災害に備えるためには、「災害時個別支援計画」の策定が必要だと思いますか。  
(番号に○印を1つだけつけてください。)

全体では「必要である」が74.9%、「必要ない」が23.0%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「必要である」が高くなっています。



## 15. 福祉施策について

問 58 今後、行政に特に力を入れてほしい障がい者福祉施策はどのような分野ですか。  
(特に重要だと思う番号に○印を3つまでつけてください。)

全体では「各種相談・情報提供の充実」が44.5%と最も高く、次いで「介助、援助体制の充実」が31.8%、「非常時の緊急システムの充実」が24.8%となっています。

手帳の種類・診断別にみると、いずれの区分においても「各種相談・情報提供の充実」が最も高くなっています。

単位：%		各種相談・情報提供の充実	介助、援助体制の充実	グループホーム等の住宅施策の推進	就労支援事業所など福祉的就労の場の拡充	一般就労の援助、就労の場の確保	非常時の緊急システムの充実	障がい児教育の充実	文化、スポーツ等の活動への支援	障がい者差別解消に向けた理解促進および啓発	障がい者等に配慮したバリアフリーの推進	ボランティア等の充実	その他	不明・無回答
全体(n=914)		44.5	31.8	16.0	18.1	22.9	24.8	8.0	8.1	21.2	21.4	8.4	3.7	15.0
障害種別	身体障害(n=572)	42.8	33.0	12.9	13.6	20.1	25.7	5.9	7.0	18.4	26.6	7.7	4.2	17.0
	知的障害(n=219)	41.6	29.7	32.0	30.1	21.9	23.3	13.2	12.8	28.3	17.8	9.6	5.0	11.0
	精神障害(n=135)	41.5	20.0	16.3	25.2	32.6	13.3	8.1	8.1	28.1	12.6	9.6	5.2	14.8
	難病(n=165)	49.1	38.8	10.3	12.7	21.8	29.1	6.1	7.9	17.0	25.5	8.5	2.4	13.3
	自立支援医療(n=192)	45.8	26.6	21.9	24.0	27.6	20.3	8.3	9.9	29.2	12.5	9.4	4.7	11.5

## 令和5年度 青梅市障害者地域自立支援協議会 日程表

区分	候補日	会場	時間
第1回	2023年5月15日(月)	205・206会議室	午後2時～午後4時
第2回	2023年8月23日(水)	201・202会議室	午後2時～午後4時
第3回	2023年12月11日(月)	202・203会議室	午後2時～午後4時
第4回	2024年2月2日(金)	201・202会議室	午後2時～午後4時

\*この他に、各専門部会があります。